

CA SiteMinder®

ポリシー サーバリリース ノート

r12.0 SP3



このドキュメント(組み込みヘルプ システムおよび電子的に配布される資料を含む、以下「本ドキュメント」)は、お客様への情報提供のみを目的としたもので、日本 CA 株式会社(以下「CA」)により随時、変更または撤回されることがあります。

CA の事前の書面による承諾を受けずに本ドキュメントの全部または一部を複製、譲渡、開示、変更、複本することはできません。本ドキュメントは、CA が知的財産権を有する機密情報です。ユーザは本ドキュメントを開示したり、(i) 本ドキュメントが関係する CA ソフトウェアの使用について CA とユーザとの間で別途締結される契約または (ii) CA とユーザとの間で別途締結される機密保持契約により許可された目的以外に、本ドキュメントを使用することはできません。

上記にかかわらず、本ドキュメントで言及されている CA ソフトウェア製品のライセンスを受けたユーザは、社内でユーザおよび従業員が使用する場合に限り、当該ソフトウェアに関連する本ドキュメントのコピーを妥当な部数だけ作成できます。ただし CA のすべての著作権表示およびその説明を当該複製に添付することを条件とします。

本ドキュメントを印刷するまたはコピーを作成する上記の権利は、当該ソフトウェアのライセンスが完全に有効となっている期間内に限定されます。いかなる理由であれ、上記のライセンスが終了した場合には、お客様は本ドキュメントの全部または一部と、それらを複製したコピーのすべてを破棄したことを、CA に文書で証明する責任を負います。

準拠法により認められる限り、CA は本ドキュメントを現状有姿のまま提供し、商品性、特定の使用目的に対する適合性、他者の権利に対して侵害のないことについて、黙示の保証も含めいかなる保証もしません。また、本ドキュメントの使用に起因して、逸失利益、投資損失、業務の中断、営業権の喪失、情報の喪失等、いかなる損害(直接損害か間接損害かを問いません)が発生しても、CA はお客様または第三者に対し責任を負いません。CA がかかる損害の発生の可能性について事前に明示に通告されていた場合も同様とします。

本ドキュメントで参照されているすべてのソフトウェア製品の使用には、該当するライセンス契約が適用され、当該ライセンス契約はこの通知の条件によっていかなる変更も行われません。

本ドキュメントの制作者は CA です。

「制限された権利」のもとでの提供:アメリカ合衆国政府が使用、複製、開示する場合は、FAR Sections 12.212、52.227-14 及び 52.227-19(c)(1)及び(2)、ならびに DFARS Section 252.227-7014(b)(3) または、これらの後継の条項に規定される該当する制限に従うものとします。

Copyright © 2010 CA. All rights reserved. 本書に記載された全ての製品名、サービス名、商号およびロゴは各社のそれぞれの商標またはサービスマークです。

CA Technologies 製品リファレンス

このマニュアルでは、以下の CA Technologies 製品に言及しています。

- CA Identity Manager
- CA Single Sign-On
- CA SiteMinder®
- CA SiteMinder® Federation セキュリティサービス

CA への連絡先

テクニカル サポートの詳細については、弊社テクニカル サポートの Web サイト (<http://www.ca.com/jp/support/>) をご覧ください。

目次

第 1 章: はじめに	17
第 2 章: 新機能	19
データストア証明書	19
CA SiteMinder Agent for SharePoint のサポート	19
OSCP と CRL の機能拡張	20
RDB ポリシー ストア自動設定	21
トラステッド ホスト処理の向上	21
第 3 章: 既存の機能の変更	23
SiteMinder ドキュメント	23
キャッシュ管理オプション	23
カスタム CA SSO 認証方式のフェイルオーバーの設定	24
SQL クエリ結果が最大数を越えた場合の警告の出力	24
廃止された機能	24
動的ホスト設定オブジェクト	24
ポリシー サーバ ログ メッセージ	25
PriorityThreadCount レジストリ キー値の増加	25
ODBC 用の監査データ インポート ツール	25
第 4 章: オペレーティング システムのサポート	27
第 5 章: システム要件	29
ポリシー サーバ要件	29
Windows	29
UNIX	30
Federation と OSCP 用に必要な JDK (Windows プラットフォーム)	30
管理 UI の要件	31
Windows スタンドアロン インストール	31
UNIX スタンドアロン インストール	31
Windows での既存アプリケーション サーバのインストール	32

UNIX での既存アプリケーション サーバのインストール	32
レポートサーバ要件	33
Windows	33
UNIX	34
第 6 章: インストールとアップグレードに関する考慮事項	35
ローカライズ版のインストールに関する考慮事項	36
インストール メディア名	37
ETPKI ライブラリのインストール	39
連結されたポリシー サーバと Web エージェントのアップグレード	39
ポリシー サーバのアップグレードによる JVMOptions ファイルの作成	40
UNIX 上の PS と SQL Server 間の接続	40
インストールでのパスワードの文字制限 (72360)	40
分散 CA ディレクトリ サーバ ポリシー ストア	41
イベントハンドラライブラリのインポート	41
FSS 管理 UI のアプリケーション オブジェクト	42
レポートサーバと SunOne Directory Server	43
IPv6 アドレスとオブジェクトストア接続 (65040)	43
日本版ポリシー サーバのアップグレード	44
MDAC バージョン	44
マルチマスタの LDAP ポリシー ストア	44
マルチマスタの LDAP ユーザストア サポート制限 (53677)	45
他の製品との互換性	45
snmptrap ファイルの更新	45
5.x からの変更点	45
失敗したパスワード変更リクエスト	46
テキストファイルへの監査ログ書き込みに対するポリシー サーバプロセスの影響 (19630)	46
iPlanet Web サーバの起動 (24343)	46
デフォルトのポリシー ストアなし	47
リモートサービス変数の置き換え	47
キャッシュ設定の簡略化	47
キャッシュモデルへの変更	47
Windows の留意事項	47
ポリシー サーバインストール時の DEP のエラー	48
Windows Server 2008 システムの考慮事項	48
SiteMinder コンポーネントの展開	50

レポートサーバで必要な更新	50
Solaris に関する考慮事項	50
Solaris 10 のサポート	51
Solaris で必須のオペレーティング システム パッチ (24317/28691)	51
gethostbyname() エラーに起因する SMPS ログ内のエラー (54190)	51
Solaris ポリシー サーバのアップグレード (57935)	52
レポートのサーバの必須パッチ クラスタ	52
Red Hat Enterprise Linux AS および ES に関する考慮事項	53
Red Hat Enterprise Linux AS 3.0 ~ 5.1 用の更新されたデータベースドライバ (42834/47304)	53
SiteMinder SDK および Red Hat Enterprise Linux AS (28203/28268)	53
Red Hat Enterprise Linux AS で Korn シェルが必須 (28782)	53
Red Hat Enterprise Linux AS で除外された機能	53
Red Hat Enterprise Linux AS 上の Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 (28447/29518)	54

第 7 章: 一般的な考慮事項 55

アプリケーション オブジェクトがポリシー サーバ ユーザ インターフェイスに表示される	55
ポリシー ストアでの IdentityMinder オブジェクトのサポート (29351)	55
Windows 認証方式による NTLM 認証方式の置換	56
サポートされていない機能	56
システム管理の制限	56
ポップアップ ブロックによるヘルプ表示の妨害	56
最大接続数の設定でレジストリ設定が不要 (27442)	57
ポリシー サーバの制限	57
パスワード サービスが有効な場合のログオン パスワード変更エラー (26942)	57
ユーザ パスワードの先頭スペースが許可されない場合がある (27619)	58
特定のポリシー ストアの証明書マッピングの問題 (27027/30824/29487)	58
共有秘密鍵ロールオーバーが有効な場合のハンドシェイク エラー (27406)	58
ポリシー ストアを共有するポリシー サーバが一貫して更新されない (39844) (39837)	58
SecureID フォーム認証方式を使用した場合の内部サーバ エラー (39664)	59
X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式の問題 (39669)	59
特定のユーザ名の文字による認証/許可の問題 (39832)	59
SafeWord 認証のデバッグ ログによりポリシー サーバが失敗する (42222/43051)	60
LDAP ネームスペース用の Active Directory 統合拡張機能 (43264/42601)	60
ポリシー サーバで Radius ログのロールオーバーがサポートされない (44398) (43729) (42348)	60

smnssetup ツールの廃止 (44964) (45908) (46489)	60
ポリシー サーバで Red Hat AS 3.0 上の Java 仮想マシンを初期化できない (44649) (44971)	61
既存のポリシー サーバ オブジェクトのコピー作成オプション	61
ユーザ ディレクトリ制限	62
ODBC ユーザ ストアのフェイルオーバー	62
Perl スクリプト インターフェース制限	63
PolicyMgtAPI の Perl use ステートメントは AgentAPI の use ステートメントより前に必要 (24755)	63
配列を返すメソッドによって undef の 1 要素配列が返される問題 (28499)	63
Perl スクリプト インターフェースと複数値をとるエージェント設定パラメータ (37850)	63
互換性の制限	63
Oracle パラレル サーバと Oracle Real Application Clusters がサポートされていない (27510)	64
日本語版ポリシー サーバの制限	64
エージェント共有秘密鍵の文字数は最大 175 文字 (30967/28882)	64

第 8 章: 既知の問題 65

r12.0 SP3 での既知の問題	65
レポート サーバをアンインストールしてもファイルとレジストリ エントリが残る	65
レルムの認証方式変更での再起動の必要性 (125171)	66
SAML 1.1 アーティファクトトランザクションでの JDK メモリリーク	67
ACE サーバでポリシー サーバ認証リクエストが許可されない	67
Active Directory の同期 (115248)	68
ACE クライアントの無効な設定で必要となるポリシー サーバの再起動	68
Windows Server 2008 システムの考慮事項	69
管理 UI インストーラで間違った WebLogic ドメインフォルダを使用	70
SiteMinder エラーでの Oracle RAC Propagation ウィンドウ結果	71
ポリシー サーバで監査データベースに監査イベントを挿入できない	71
管理 UI のアップグレード後に新しい外部ストアで管理者を許可できない	73
Sun Java System Directory Server EE ポリシー ストアを使用したポリシー サーバのパフォーマンス	73
Sun Java System Directory Server EE ログで検索のインデックスについて警告される	74
アプリケーションロールの更新が必要 (76618)	74
多数のポリシー オブジェクトの検索 (63721)	74
XPSEExport による読み取り専用ファイルの作成 (65035)	75
Windows LDAP ドライバ バージョンと FIPS/IPv6 のサポート	75
ポリシー サーバの試用版で FIPS 互換/FIPS 移行モードのみがサポートされる (64416)	76

レポートと SiteMinder パフォーマンス.....	76
IPv6 ODBC データソース	76
カスタム証明書マッピングの CertSerialNumbers の検索に失敗する(59352)	77
ユーザが新規 SecureID PIN の受信後に誤ってリダイレクトされる(56738)	77
証明書ベース認証方式の混在(27997)	77
UserDN の文字数が 1024 文字以上の場合にパスワード変更が失敗する(52424)	78
ポリシー サーバ監査ログ テキストファイルで偽装者イベントが監査されない(52235)	78
Active Directory に保存されたユーザ アカウントのパスワードをロックできない(48125)	78
Windows 上での SunOne Directory Server の接続テスト.....	78
Linux ポリシー サーバで Oracle セッション ストア セッションが削除されない(39143)	79
日本語版システムで 6.0 ポリシー サーバをアップグレードした場合のアフィリエイトドメイン 制限(46338) (45693)	80
ODBC/SQLError コンポーネントが有効な場合にシングル ログアウト サービスでエラーが記録 される(41324)	80
Federation セキュリティ サービスと互換性のない SiteMinder リリース(44790)	80
UNIX プラットフォームでの InfoCard.properties ファイルの編集(72698)	81
webadapter.properties ファイルの手動作成(72353)	81
複数ロールの削除(72207)	83
レスポンスとレスポンス グループの編集または削除.....	83
Enterprise Policy Management (EPM) の制限	84
Active Directory (AD) ユーザ ストアでのパスワード変更の動作(82607)	84
ポリシー分析レポートで結果が返らない(82275)	84
CriticalPath IDS 4.2.5 に SiteMinder 管理者を作成できない(84995)	85
Oracle の問題	85
ポリシー サーバの問題.....	85
Solaris の問題	86

第 9 章: SiteMinder リリースで修正された問題 89

r12.0 SP3 で修正された問題.....	89
HTML フォーム テンプレート認証方式の相対パスに関するリダイレクト問題(86379)	89
管理 UI 登録に失敗する(119848)	90
Solaris 上で SafeWord 認証中にポリシー サーバが失敗する(119381)	90
Oracle 暗号化パスワードを使用した認証でユーザがロックアウトされる(86447/115554)	91
ポリシー サーバのシャットダウンに失敗する(92616/119903)	91
ユーザが開始したパスワード変更が失敗した場合の無効なユーザ ステータス (96197/99640)	92

ユーザ アカウントが誤って無効にされる(96283)	92
誤って変更された OneView モニタ設定(97421)	94
長い URL による ODBC 監査ログ例外の発生(97994/99430)	94
次のユーザ ディレクトリへのポリシー サーバの移動(98585/115557)	94
ユーザ ディレクトリ再接続の問題(99515/112590)	95
ユーザ属性ペアをポリシーに追加できない(98692/114531)	95
ADAM が誤って Active Directory として認識される(100598/115558)	95
キーの週次ロールオーバーが正しくない時間に発生する(109706/101243)	96
パスワードの最終更新時間が更新されない(101445/111175)	96
パスワード ポリシーを作成するとエラー メッセージが発生する(101554)	96
CRL の失効または取り消しの SMAUTHREASONCODE (101568/110563)	97
ロックアウトされたユーザ アカウントに対するポリシー サーバの動作が一貫していない (101702)	97
ポリシー サーバでユーザが見つからない場合の値が無視される(101706/110528)	97
負荷分散とフェイルオーバーが EPM アプリケーションで機能しない(102148)	98
XPSConfig でパスワードがクリア テキストで表示される	98
OCSP チェックの失敗によりユーザが認証できない(92382)	98
管理 UI インストールがセカンダリドライブで失敗する(109637)	99
SNMP イベントハンドラライブラリが使用できない(109789)	99
Microsoft Visual C++ ランタイムでのポリシー サーバの依存性(109840)	99
XPSImport がエラー メッセージで失敗する(109933)	100
検索フィルタを使用したグローバルレスポンスの選択に失敗する(110208)	100
グローバルレスポンスのドキュメント(110663)	101
管理 UI がセカンダリパーティション上で失敗する(111072)	101
ポリシー サーバで循環依存のレスポンスグループが許可される(111130/113577)	102
ポリシー サーバ プロファイラ ログがロールオーバーしない(111119)	102
ポリシー サーバが LDAP ディレクトリに再接続しない(111262/101357)	102
ポリシー サーバで無効なユーザの認証リクエストが処理される(111627)	103
デフォルトのポート番号変更後の OneView モニタの動作(111672/101587)	104
許可ディレクトリが使用できない場合に不明瞭なエラー メッセージが発生する (111757/113035)	104
グローバル ポリシー設定が誤ってクリアされる(112404)	105
パスワード ポリシーが正しく適用されない(112399)	105
Uptime コマンドで正しくない日付が表示される(112999)	105
ポリシー サーバトレース ログにエージェント名が表示されない(112540/113357)	106
JBoss シャットダウン スクリプトが機能しない(113987)	106
アップグレードするとグローバルレスポンスを作成できなくなる(114023)	106

デフォルトの 管理 UI ファイルでのキーストア値の置き換え (115123)	107
プロファイラ設定問題で不明瞭なエラー メッセージが発生する (84984)	107
ポリシーストア移行のドキュメント (115651)	107
Web エージェント通信失敗後にポリシー サーバがハングする (115704)	108
必須の Linux ライブラリのドキュメント (115705)	109
アップグレード後に 'smpolicysrv -starttrace' コマンドでエラーが返される (115708)	109
ポリシーストア スキーマ ファイル名で正しくないリリースが参照されている (115727)	110
レポート サーバのドキュメント (117058)	110
CA SSO 統合のドキュメント (117579)	110
メモリ違反によるポリシー サーバの失敗 (115970)	111
認証方式とパスワード サービスのドキュメント (113302)	111
CA Directory ポリシー ストアのドキュメント	112
監査レポート接続用のデフォルト以外のポートが元に戻る (116412)	112
キー ストアのストレージタイプを変更できない (116678)	112
複数の同一のエントリが監査ログに記録される (116715)	113
Solaris 上のポリシー サーバで SSL 接続を確立できない	113
ポリシーの作成時に許可ディレクトリを作成できない (119755)	113
予期しないポリシー ストア検索 (120001)	114
SM キー データベース パスワードがクリア テキストで表示される (121541/121551)	114
ポリシー サーバ管理コンソール ヘルプの相互参照 (121942/121950)	114
フォーム ポスト変数のドキュメント (122186)	115
外部管理者認証ストアのドキュメント (122570)	115
ネットワーク停止中にポリシー サーバがクラッシュする (121615)	115
管理 UI で外部ユーザ ストア内の無効なユーザが正しくない URL にリダイレクトされる (113800)	116
ユーザ ロール評価中にカスタム スキーマによってポリシー サーバがクラッシュする (120546)	116
ポリシー サーバから LDAP サーバへの SSL 接続が失敗する (119359)	116
管理 UI ログイン ページでのクロスサイト スクリプティングの脆弱性 (120847)	117
XPSRegClient のドキュメント (123400)	117
r12.0 SP1 および r12.0 SP2 で修正された問題	117
ロックアウトされたユーザ アカウントに対するポリシー サーバの動作が一貫していない (101702)	118
OCSP チェックの失敗によりユーザが認証できない (109616)	118
プロファイラ設定問題で不明瞭なエラー メッセージが発生する (115628)	118
LDAP ネームスペースと AD ユーザ ディレクトリで接続エラー発生する (59084)	119
匿名認証方式が失敗する (75269)	119

XPS パラメータの更新がエラーになる(75410)	119
Oracle RAC データベースで監査レポートを実行できない(80739)	120
[レポート]タブ上のフィールドのラベルが間違っている(84381)	120
管理者パスワードがクリア テキストで保存される(84967)	120
Active Directory ネームスペースでページングがサポートされない(86628)	121
アカウントが再有効化された場合にアカウント アクセスが拒否される(86839)	121
ACO でエージェント名が長すぎるためエラーになる(86938)	121
LDAP 式エディタで LDAP 式のスペースが削除される(87370)	122
ポリシー管理者はネストされたレルムを管理できない(87505)	122
エージェント フィルタの選択が正しく機能しない(88102)	122
委任された管理者は接続タスクにアクセスできない(88655)	123
管理 UI でタブの順序が異なる(88763)	123
すべての XPSRegClient フラグがログに記録されない(90505)	123
無効にされたルール設定を保存できない(93613)	124
コンテキスト変数が正しく評価されない(97146)	124
Active Directory ユーザ ディレクトリでエントリを検証できない(98774)	124
IIS NTLM 認証方式のメモリークでエラーが発生する(59283/81045)	125
管理 UI のオプションに変数定義がない(63618)	125
ポリシー サーバでポリシー ストア接続を回復できない(64563)	125
レポート サーバ インストーラで領域の要件を確認しない(65044)	126
エージェント キー生成を無効にするとエラーになる(65387)	126
XPSDDInstall によるコア ダンプ(65459)	126
RADIUS レスポンス属性が保存できない(65534)	127
ドメイン管理者が認証方式を選択できない(65665)	127
同じ名前を持つネストされたレルムによるエラー(65698)	127
SunOne LDAP ユーザ ストアでロール評価が失敗する(65715)	128
セキュリティ カテゴリのセキュリティ範囲が表示されない(65724)	128
ADAM/Active Directory ポリシー ストアに対する XPSImport の一部インポート オプションが 失敗する(65758)	128
Solaris レポートを作成できない(65951)	129
ポリシー管理者がユーザ ディレクトリを選択できない(66008)	129
管理 UI インストール ログに致命的でないエラーが表示される(66106)	129
ロールの説明が保存されない(66274)	130
アプリケーションで複数のロールがサポートされない(66460)	130
SMDIF のアップグレードで SAML 1.x シングル サインオン プロパティが見つからない	130
大規模な XPS ストアでポリシー サーバの初期化が失敗する(66468)	131
ポリシー サーバで NULL 値を含むレスポンス属性が無視される(67558)	131

変数作成ウィザードで余計な手順が追加される(69856)	132
SAML アサーション変数の値が保存されない(69857)	132
変数作成タスクをキャンセルするとエラーになる(69859)	132
管理 UI で評価版の期限切れメッセージが間違っ て表示される(71177/78997)	133
メモリークによりアプリケーションが失敗する(71584)	133
静的変数値が検証されない(71593)	133
r12 SP1 ポリシー サーバが XPSImport の実行時にクラッシュする(71814)	134
[Null に設定]チェック ボックスのデフォルトが正しくない(72038)	134
変数式を更新するとランタイムでエラーになる(72182)	134
smcompliance の実行によるコア ダンプの発生(72295)	135
XPS ツールでポリシー オブジェクトを削除できない(72352)	135
ポリシー サーバでポリシーが適用できないエラーが報告される(72434/80261)	135
パスワード ポリシーの変更ペインで空白フィールドが表示される(72479)	136
コンソール モードでの管理 UI のインストールが失敗する(72760)	136
ルールの削除ペインに情報が見つからない(72903)	136
管理者のフル ネームが表示されない(73071)	136
ユーザ別リソースレポートにリソースが見つからない(73260)	137
エージェントグループにエージェントを追加するとエラーになる(73337)	137
管理 UI ログイン エラーによってポリシー サーバがハングする(73454/80263)	137
表示権限を持つ管理者が変数を更新できる(73551)	138
起動時にポリシー サーバがクラッシュする(73718/80153)	138
XPSDDInstall が OpenLDAP で失敗する(73944)	138
ポリシー サーバでユーザ別リソースが正しく生成されない(74007)	139
レスポンス属性値が正しく表示されない(74333)	139
ポリシー サーバプロセスが停止しない(74637)	139
エラーにより SSO が失敗する(74765/80265)	140
サブレルム領域を作成できない(74932)	140
XPSImport/Export の暗号化機能でクラッシュが発生する(75167)	140
フォーム認証方式設定で失敗する(75493)	141
匿名認証方式でチェックボックスが無効にならない(75509)	141
証明書のための認証方式がカスタム証明書マッピングで失敗する(75552/80266)	141
管理 UI がハングする(75788)	142
ETPKI の管理 UI インストールが失敗する(75954)	142
r12 SP1 CR1 への管理 UI のアップグレードで Framework エラーが発生する(76012)	143
ポリシー サーバの発行コマンドにより正しくないファイル権限でファイルが作成される(76159/80570)	143
ポリシー サーバで OCSP レスポンダ証明書検証を確認しない(76212/80203)	143

ユーザ コンテキストが初期化されているかどうかの戻り型が正しくない(76247)	144
認証方式の変更タスクでフィールドを更新できない(76480)	144
アプリケーション ロールを削除してもポリシーは削除されない(76621)	144
エンコードされた OID 値により証明書認証が失敗する(76629/80264)	145
レール作成タスクが匿名認証方式で失敗する(76634)	145
ビューでフォーム認証方式を変更するとエラーになる(76642)	145
Windows 認証方式で相対ターゲットがサポートされない(76980/81280)	146
レスポンスでユーザ グループが返されない(77151/80571)	146
ユーザが 1 つのディレクトリで無効になるとポリシー サーバが停止する(77175/80272)	147
トレースログに機密データがクリア テキストで表示される(77314)	147
すべてのユーザを手動でポリシーに追加するとエラーになる(77440)	147
ロールの評価が AD ネームスペースでサポートされない(77450)	148
ブールでないメンバシップ式がエラーにならない(77654)	148
ポリシー サーバが DataDirect ドライバの古いバージョンでインストールされる (77656/79073)	148
ポリシー サーバがシャットダウン中に失敗する(77780/80154)	149
パスワード ポリシー作成ペインで選択したユーザが表示されない(77874)	149
共有秘密鍵がセッション キーと共にロールオーバーする(78685/80156)	149
SunONE Web エージェントの負荷分散が適切に機能しない(78821)	150
ポリシー サーバを停止して監査ログを有効にするとハングする(78833/80155)	150
暗号化されたエージェント設定オブジェクト プロパティが XPSExport で破損する(79000)	151
初期化ファイルに未使用の値が含まれている(79073)	151
Oracle RAC への複数のポリシー サーバ接続が失敗する(79316)	152
無効な ID で認証が試行された場合にポリシー サーバが失敗する(79489/80269)	152
-xc/-xd/-xs オプションで作成されたファイルを XPSImport でインポートできない(79833)	152
パスワード変更が AD で失敗した場合にパスワード変更フラグがリセットされる (79852/81042)	153
ポリシー サーバログがロールオーバーしない(80385/82497)	153
許可ディレクトリで無効になっているユーザが許可される(80437/82501)	153
1024 文字より長いログ エントリが連結される(80474/82503)	154
ライセンス期限切れの警告メッセージが誤って表示される(80874)	154
無効なユーザが最大ログイン回数を超過すると有効になる(81291/82101)	154
許可ディレクトリが停止するとポリシー サーバは失敗する(81791/82508)	155
ポリシー サーバトレースログが設定された時間でロールオーバーしない(81978/82573)	155
ACE/SecurID 認証中にポリシー サーバが失敗する(82098)	155
CA SiteMinder SSO 統合が FIPS モードでサポートされない(82141)	155
ポリシー サーバ管理コンソールのプロファイラ出力が過剰(80574/88689)	156

複数のポリシー サーバによるポリシー ストアの共有	157
ポリシー評価が正しくない(85346/87104)	157
第 10 章: 国際化サポート	159
第 11 章: マニュアル	161
SiteMinder マニュアル選択メニュー	161
マニュアルのリリース番号	161
コマンドライン スクリプト(CLI)のドキュメント	162
付録 A: プラットフォーム サポートおよびインストール メディア	163
SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス	163
マニュアル選択メニューの使用	164
インストール メディアの検索	164
付録 B: サードパーティ製品の使用条件	167
AIX JRE 1.4.2	167
Apache	168
Apache Commons Beanutils 1.6.1	175
Apache Commons EL v.1.0	178
ANTLR 3	181
DOM4J	182
ICU4C	183
JBoss	184
JDOM 1.0	188
JWSDP 1.3	189
LDAP SDK 6.0.4	189
MIT Kerberos	202
Open SSL	209
Oracle JDBC Driver 10g Release 2	214
PCRE 6.3	215
RSA	216
Rhino	217
SAXPath	228
SNMP Java Toolkit	229
Sun JDK 1.6.0	230

WSDL4J	238
Zlib 1.2.3	239
ZThread 2.3.2	240

第 1 章: はじめに

このドキュメントでは、ポリシー サーバおよび SiteMinder 管理 UI の機能、オペレーティング システムのサポート、インストールに関する考慮事項、既知の問題、および修正項目について説明します。

第 2 章：新機能

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[データストア証明書 \(P. 19\)](#)

[CA SiteMinder Agent for SharePoint のサポート \(P. 19\)](#)

[OSCP と CRL の機能拡張 \(P. 20\)](#)

[RDB ポリシーストア自動設定 \(P. 21\)](#)

[トラステッド ホスト処理の向上 \(P. 21\)](#)

データストア証明書

サポートされているディレクトリ サーバとデータベースの完全なリストについては、テクニカル サポート サイト上で最新の SiteMinder r12.0 SP3 プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

詳細情報：

[SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 163\)](#)

CA SiteMinder Agent for SharePoint のサポート

SiteMinder r12.0 SP3 は、CA SiteMinder Agent for SharePoint r12.0 をサポートします。

注：詳細については、CA SiteMinder Agent for SharePoint のドキュメントを参照してください。

OSCP と CRL の機能拡張

SiteMinder OSCP と CRL (証明書破棄リスト) では以下の機能をサポートします。

SHA-2 アルゴリズムによる OSCP リクエストの署名

証明書ベースの認証方式を使用している場合、SiteMinder ポリシー サーバでは、より安全な SHA-2 のハッシュアルゴリズムを使用して OSCP リクエストに署名できるようになりました。OSCP リクエストに署名することにより、SiteMinder では、署名されたリクエストを必要とする OSCP レスポンダとの通信が可能になります。

SHA-2 ハッシュ アルゴリズムで作成された OSCP と CRL レスポンスの検証

SiteMinder ポリシー サーバでは、SHA-2 のアルゴリズム (SHA224、SHA256、SHA384、SHA512 を含む) を使用して署名されたあらゆる証明書、CRL、OSCP レスポンスに対応できるようになりました。以前は、SiteMinder では SHA1 のみがサポートされていました。

OSCP での証明機関チェーンの処理のサポート

SiteMinder ポリシー サーバでは、OSCP レスポンス証明書チェーン全体が検証されるようになりました。SiteMinder の旧バージョンでは、OSCP レスポンスの署名は検証されましたが、証明書チェーンは無視されていました。この変更は、SiteMinder 12.0 SP3 で、影響を受けるすべての証明書ベース認証方式に適用されます。

証明書検証での OSCP と CRL 間のフェイルオーバー

SiteMinder ポリシー サーバは、X.509 証明書認証方式に対する証明書検証方法として OSCP および CRL を使用できます。プライマリ検証方法を指定できるようになりました。プライマリ検証方法が失敗した場合、ポリシー サーバではもう一方の方法にフェイルオーバーできます。プライマリ検証方法として OSCP が設定されている場合、CRL チェックにフェイルオーバーできます。プライマリ検証方法として CRL チェック が設定されている場合、OSCP にフェイルオーバーできません。

Red Hat Linux 上での OSCP のポリシー サポート

SiteMinder ポリシー サーバで、Red Hat Linux オペレーティング プラットフォーム上で OSCP がサポートされるようになりました。Red Hat Linux の具体的なバージョンについては、CA テクニカル サポート <http://ca.com/support> サイト上の SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

これらの全機能の詳細については、「ポリシー サーバ設定ガイド」を参照してください。

RDB ポリシー ストア自動設定

ポリシー サーバ インストーラおよびポリシー サーバ設定ウィザードを使用して、Microsoft SQL Server および Oracle RDBMS のポリシー ストアを自動的に設定することができます。

このサポートには、必要なスキーマとデフォルトのポリシー ストア オブジェクトのインポートが含まれます。

注: 詳細については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

トラステッド ホスト処理の向上

1000 以上のトラステッド ホスト エントリが含まれるポリシー ストアにおいて、トラステッド ホストの処理が高速化されました。この処理の向上によって、大規模なポリシー ストアを使用するポリシー サーバとの接続を確立するためにかかる時間が短縮されました。

第 3 章：既存の機能の変更

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SiteMinder ドキュメント](#) (P. 23)

[キャッシュ管理オプション](#) (P. 23)

[カスタム CA SSO 認証方式のフェイルオーバーの設定](#) (P. 24)

[SQL クエリ結果が最大数を越えた場合の警告の出力](#) (P. 24)

[廃止された機能](#) (P. 24)

[動的ホスト設定オブジェクト](#) (P. 24)

[ポリシー サーバ ログ メッセージ](#) (P. 25)

[PriorityThreadCount レジストリ キー値の増加](#) (P. 25)

[ODBC 用の監査データ インポートツール](#) (P. 25)

SiteMinder ドキュメント

旧バージョンでは、ドキュメント インストール キットを使用して、SiteMinder マニュアル選択メニューをインストールしました。

SiteMinder マニュアル選択メニューは、サポート サイトで提供されるようになりました。SiteMinder ドキュメントのインストールは必要なくなりました。

詳細情報：

[マニュアル選択メニューの使用](#) (P. 164)

キャッシュ管理オプション

FSS 管理 UI または 3 つの新しい `smpolicy` コマンドライン オプションによって、ポリシー サーバ キャッシュのリフレッシュ ステータスを表示し、キャッシュのフラッシュを無効または有効にすることができます。これらのオプションを使用してキャッシュのフラッシュを一時停止または再開することにより、ポリシー評価の問題を解決できます。

注：詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

STAR イシュー番号：18297048:01

カスタム CA SSO 認証方式のフェイルオーバーの設定

カスタムの CA SSO 認証方式を作成する場合、CA SSO ポリシー サーバが別の CA SSO ポリシー サーバにフェイルオーバーするよう設定できます。この機能の詳細については、「ポリシー サーバ設定ガイド」を参照してください。

SQL クエリ結果が最大数を越えた場合の警告の出力

多くのレコード数を返す SQL クエリによってポリシー サーバがハングまたはクラッシュする可能性があります。この状況を管理するため、返されるレコードの数が指定した最大値を超えた場合に、SMPS ログに警告メッセージを出力することができます。この警告が表示された場合、必要に応じてユーザは SQL クエリを変更し、返されるレコード数を調整することができます。

注: 詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

STAR イシュー番号: 18413308:01

廃止された機能

SiteMinder r12.0 SP3 では以下の機能が廃止されました。

- CRYPTOCARD™ RB-1 認証方式
- TeleID 認証方式
- ハードウェア キー ストレージ
- 管理 UI での Netscape Web ブラウザのサポート

動的ホスト設定オブジェクト

動的なホスト設定オブジェクト(HCO)の更新により、ポリシー サーバ クラスタに対するポリシー サーバの追加または削除を行う際、変更を適用するために Web サーバを再起動する必要がなくなりました。Web エージェントはポリシー サーバの変更を動的に認識し、ホスト設定オブジェクトは再起動なしで更新されます。詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

ポリシー サーバ ログ メッセージ

トラブルシューティング機能を強化するため、ポリシー サーバによって、3 つのキー ロールオーバー メッセージと、2 つのキャッシュ更新メッセージが `SMPS.log` に記録されるようになりました。詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」の「`SiteMinder`トラブルシューティング」の章を参照してください。

STAR イシュー番号: 18750443-02、18677907-02

PriorityThreadCount レジストリ キー値の増加

`PriorityThreadCount` レジストリ キーのデフォルト値が 2 から 5 に増加されました。このキーの最大値が 5 から 20 に増加されました。これらの変更は、Web サーバとポリシー サーバの間のハンドシェイク エラーに対処するために行なわれました。

注: 詳細については、ポリシー サーバ管理コンソールのヘルプを参照してください。

STAR イシュー番号: 18312198

ODBC 用の監査データ インポート ツール

`smauditimport` ツールで、5.x または 6.x スキーマの監査ストアとして設定された ODBC データベースがサポートされるようになりました。`smauditimport` ツールの詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

STAR イシュー番号: 19002967-01

第 4 章: オペレーティング システムのサポート

ポリシー サーバ、管理 UI、およびレポート サーバをインストールする前に、サポートされているオペレーティング システムおよびサードパーティソフトウェアを使用していることを確認します。

詳細情報:

[SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 163\)](#)

第 5 章: システム要件

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ポリシー サーバ要件 \(P. 29\)](#)

[管理 UI の要件 \(P. 31\)](#)

[レポートサーバ要件 \(P. 33\)](#)

ポリシー サーバ要件

SiteMinder ポリシー サーバを正しくインストールして実行するためには、以下の最小システム要件を満たしている必要があります。

Windows

ポリシー サーバがインストールされる Windows システムは、以下の最小のシステム要件を満たす必要があります。

- CPU - Pentium III 以上
- メモリ - 512 MB RAM
- 使用可能なディスク領域
 - インストール場所に 270 MB の空きディスク領域
 - システムの一時ファイル場所に 180 MB の空き領域

注: これらの要件は、およそ 1,000 ポリシーの中規模ポリシー データベースに基づきます。

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバインストール ガイド」を参照してください。

UNIX

ポリシー サーバがインストールされる UNIX システムは、以下の最小のシステム要件を満たす必要があります。

- メモリ - 512 MB RAM
- 使用可能なディスク領域
 - 300 MB の空きディスク領域
 - /tmp 内に 200 MB の空きディスク領域

注: ポリシー サーバの日常運用には、通常 /tmp 内に最大 10 MB の空きディスク領域が必要です。ポリシー サーバは、/tmp の下にファイルおよび名前付きパイプを作成します。これらのファイルおよびパイプが作成されたパスは変更できません。

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Federation と OCSP 用に必要な JDK (Windows プラットフォーム)

SiteMinder r12.0 SP3 は JDK バージョン 1.6 をサポートします。Federation または OCSP 機能を使用する場合、ポリシー サーバをホストする Windows システム上で JDK を使用します。

注: サポートされている CA およびサードパーティコンポーネントのリストについては、[テクニカル サポート サイト](#)で SiteMinder r12.0 SP3 プラットフォーム サポートマトリックスを参照してください。

テクニカル サポート サイトからサポートマトリックスを参照する方法

1. [Support By Product]をクリックします。
2. [Select a Product]リストから[CA SiteMinder]を選択します。
3. [Product Status]の下の CA SiteMinder Platform Support Matrices をクリックします。

最新の JDK および JRE バージョンは、[Sun Developer Network](#) からダウンロードできます。

管理 UI の要件

管理 UI の最小システム要件は、管理 UI のインストール時に使用されたインストール オプションによって変わります。

注: 管理 UI のインストール オプションの詳細については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Windows スタンドアロン インストール

スタンドアロン インストール オプションを使用する場合、管理 UI のインストール先の Windows システムは、以下の最小システム要件を満たしている必要があります。

- **CPU** - シングルまたはデュアル プロセッサ、Intel Pentium III (またはその互換)、700~900 MHz
- **メモリ** - 512 MB RAM 1 GB をお勧めします。
- **使用可能なディスク領域** - 540 MB
- **一時ディレクトリ領域** - 450 MB

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

UNIX スタンドアロン インストール

スタンドアロン インストール オプションを使用する場合、管理 UI のインストール先の UNIX システムは、以下の最小システム要件を満たしている必要があります。

- **CPU**
 - Solaris - Sparc Workstation 440 MHz
 - Red Hat Linux - シングルまたはデュアル プロセッサ、Intel Pentium III (またはその互換)、700~900 MHz
- **メモリ** - 512 MB RAM 1 GB をお勧めします。
- **使用可能なディスク領域** - 540 MB

- 一時ディレクトリ領域 - 450 MB

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Windows での既存アプリケーション サーバのインストール

管理 UI が既存のアプリケーション サーバ インフラストラクチャにインストールされる場合、管理 UI のインストール先の Windows システムは以下の最小システム要件を満たす必要があります。

- **CPU** - シングルまたはデュアル プロセッサ、Intel Pentium III (またはその互換)、700~900 MHz

- **メモリ** - 512 MB RAM 1 GB をお勧めします。

注: WebSphere を実行している場合、2 GB のシステム RAM が必要です。

- **使用可能なディスク領域** - 540 MB

注: WebSphere を実行している場合、2 GB の使用可能なディスク領域が必要です。

- 一時ディレクトリ領域 - 450 MB

- **JDK** -- 管理 UI をインストールするシステムに必須 JDK バージョンが、インストールされていること。

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

UNIX での既存アプリケーション サーバのインストール

管理 UI が既存のアプリケーション サーバ インフラストラクチャにインストールされる場合、管理 UI のインストール先の UNIX システムは以下の最小システム要件を満たす必要があります。

- **CPU**

- Solaris - Sparc Workstation 440 MHz

- Red Hat Linux - シングルまたはデュアル プロセッサ、Intel Pentium III (またはその互換)、700~900 MHz

- **メモリ** - 512 MB RAM 1 GB をお勧めします。

注: WebSphere を実行している場合、2 GB のシステム RAM が必要です。

- **使用可能なディスク領域 - 540 MB**
注: WebSphere を実行している場合、2 GB の使用可能なディスク領域が必要です。
- **一時ディレクトリ領域 - 450 MB**
- **JDK -- 管理 UI をインストールするシステムに必須 JDK バージョンが、インストールされていること。**

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

レポート サーバ要件

レポート サーバを正しくインストールして実行するためには、以下の最小システム要件を満たしている必要があります。

Windows

レポート サーバをインストールする Windows システムは、以下の最小のシステム要件を満たす必要があります。

- **CPU** - シングルまたはデュアル プロセッサ、Intel Pentium III (またはその互換)、2.5 GHz
- **メモリ** - 2 GB RAM
- **使用可能なディスク領域 - 10 GB**
注: この要件は、レポート サーバをインストールするために必要なスペースです。この要件は、レポートを格納するのに必要なディスク スペースを示したものではありません。
- **一時ディレクトリ領域 - 1 GB**

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

UNIX

レポートサーバをインストールする UNIX システムは、以下の最小のシステム要件を満たす必要があります。

- CPU - Sparc Workstation 2.5 GHz
- メモリ - 2 GB RAM
- 使用可能なディスク領域 - 10 GB

注: この要件は、レポートサーバをインストールするために必要なスペースです。この要件は、レポートを格納するのに必要なディスクスペースを示したものではありません。

- 一時ディレクトリ領域 - 1 GB

注: システム以外のその他要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

第 6 章: インストールとアップグレードに関する考慮事項

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[ローカライズ版のインストールに関する考慮事項](#) (P. 36)

[インストールメディア名](#) (P. 37)

[ETPKI ライブラリのインストール](#) (P. 39)

[連結されたポリシー サーバと Web エージェントのアップグレード](#) (P. 39)

[ポリシー サーバのアップグレードによる JVMOptions ファイルの作成](#) (P. 40)

[UNIX 上の PS と SQL Server 間の接続](#) (P. 40)

[インストールでのパスワードの文字制限\(72360\)](#) (P. 40)

[分散 CA ディレクトリ サーバ ポリシー ストア](#) (P. 41)

[イベントハンドラライブラリのインポート](#) (P. 41)

[FSS 管理 UI のアプリケーション オブジェクト](#) (P. 42)

[レポートサーバと SunOne Directory Server](#) (P. 43)

[IPv6 アドレスとオブジェクトストア接続\(65040\)](#) (P. 43)

[日本版ポリシー サーバのアップグレード](#) (P. 44)

[MDAC バージョン](#) (P. 44)

[マルチマスタの LDAP ポリシー ストア](#) (P. 44)

[マルチマスタの LDAP ユーザ ストア サポート制限\(53677\)](#) (P. 45)

[他の製品との互換性](#) (P. 45)

[snmptrap ファイルの更新](#) (P. 45)

[5.x からの変更点](#) (P. 45)

[Windows の留意事項](#) (P. 47)

[Solaris に関する考慮事項](#) (P. 50)

[Red Hat Enterprise Linux AS および ES に関する考慮事項](#) (P. 53)

ローカライズ版のインストールに関する考慮事項

SiteMinder のローカライズ版のインストールに関しては、多くの制限および考慮事項があります。

英語版以外のオペレーティング システムのシステムに SiteMinder ポリシー サーバをインストールする場合、以下の点を考慮してください。

- SiteMinder のローカライズ版は、対応するオペレーティング システムにインストールする必要があります。

たとえば、SiteMinder ポリシー サーバの日本語版は、日本語版オペレーティング システムにインストールする必要があります。ポリシー サーバの日本語版は、英語のオペレーティング システムでは正常に実行されません。

以下の制限があります。

- SiteMinder は、マルチバイト文字を使用する名前を持つディレクトリにサイレントインストール モードを使用してインストールすることはできません。
- 名前にマルチバイト文字を使用するディレクトリには、管理 UI をどのモード (サイレント、コマンドライン、GUI) でもインストールできません。
- Windows 2008 の場合、ユーザ アカウントごとに異なる地域および言語を設定することができます。ただし、システム アカウントとその他のサービス アカウントは、デフォルトの日本語ロケールを使用するよう設定する必要があります。そうしないと、インストールするコンポーネントが初期化されません。

システム アカウントおよびその他サービス アカウントのロケールの設定については、Microsoft のドキュメントを参照してください。

インストールメディア名

以下の SiteMinder コンポーネント用に提供されているインストール実行ファイルを以下の表に示します。

- マニュアル
- ポリシー サーバ
- 管理 UI
- レポートサーバ

注: 表はプラットフォームによって分類されています。サポートされているオペレーティングシステムの詳細については、テクニカル サポート サイトで **r12.0 SP3 SiteMinder** プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

マニュアル

SiteMinder マニュアル選択メニューはサポート サイトで提供されています。ドキュメント インストーラはありません。詳細については、「[マニュアル選択メニューの使用](#) (P. 164)」を参照してください。

ポリシーサーバ

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Linux	ca-ps-12.0-sp3-cr-linux.bin
Solaris	ca-ps-12.0-sp3-cr-sol.bin
Windows	ca-ps-12.0-sp3-cr-win32.exe

cr

累積リリース番号を指定します。r12.0 SP3 ベース リリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、管理者としてシステムにログインしている場合でも、実行ファイルを管理者権限で実行します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネント用のリリース ノートを参照してください。

管理 UI

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Linux	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.0-sp3-cr-linux.bin■ (管理 UI) ca-adminui-12.0-sp3-cr-linux.bin
Solaris	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.0-sp3-cr-sol.bin■ (管理 UI) ca-adminui-12.0-sp3-cr-sol.bin
Windows	<ul style="list-style-type: none">■ (前提条件) adminui-pre-req-12.0-sp3-cr-win32.exe■ (管理 UI) ca-adminui-12.0-sp3-cr-win32.exe

cr

累積リリース番号を指定します。r12.0 SP3 ベースリリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、管理者としてシステムにログインしている場合でも、実行ファイルを管理者権限で実行します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネント用のリリース ノートを参照してください。

レポート サーバ

プラットフォーム	インストール実行ファイル
Solaris	<ul style="list-style-type: none">■ (レポート サーバ) cabiinstall.sh■ (レポート サーバ環境設定ウィザード) ca-rs-config-12.0-sp3-cr-sol.bin
Windows	<ul style="list-style-type: none">■ (レポート サーバ) install.exe■ (レポート サーバ環境設定ウィザード) ca-rs-config-12.0-sp3-cr-win32.exe

cr

累積リリース番号を指定します。r12.0 SP3 ベースリリースには累積リリース番号が含まれません。

重要: Windows Server 2008 上でこのウィザードを実行している場合は、管理者としてシステムにログインしている場合でも、実行ファイルを管理者権限で実行します。詳細については、お使いの SiteMinder コンポーネント用のリリース ノートを参照してください。

詳細情報:

[SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 163\)](#)

ETPKI ライブラリのインストール

ポリシー サーバおよび Web エージェント インストールには CA ETPKI ライブラリが含まれます。

Windows オペレーティング環境の場合、ポリシー サーバまたは Web エージェントのインストール先のマシンに CA ETPKI ライブラリが存在すれば、インストーラは既存の ETPKI ライブラリをコンポーネントに含まれているバージョンにアップグレードします。CA ETPKI ライブラリの場所を変更されません。

UNIX オペレーティング環境の場合、CA ETPKI ライブラリが UNIX ファイル システム上でどこかに存在していても、インストーラは `installation_location/ETPKI` ディレクトリに CA ETPKI ライブラリをインストールします。

連結されたポリシー サーバと Web エージェントのアップグレード

Windows で有効

症状:

ポリシー サーバと Web エージェントが同じホスト システムにインストールされている場合、ポリシー サーバのアップグレード後に、IIS Web サーバが起動できず、エラーがイベントビューアに記録されます。

解決方法:

Web エージェントをアップグレードします。Web エージェントをアップグレードした後、IIS Web サーバを起動します。

ポリシー サーバのアップグレードによる JVMOptions ファイルの作成

ポリシー サーバアップグレード中に、既存の JVMOptions.txt ファイルの名前が JVMOptions.txt.backup に変更されます。新しい JVMOptions.txt ファイルが作成されます。

元のファイルにカスタマイズされたパラメータが含まれていた場合、これらのカスタムパラメータが含まれるよう、作成されたファイルを変更する必要があります。

UNIX 上の PS と SQL Server 間の接続

Red Hat または Solaris 上の SiteMinder ポリシー サーバを Microsoft SQL Server 2008 データベースに接続しようとする場合、system_odbc.ini ファイルの [ODBC] セクションで指定される TraceFile、TraceDll、InstallDir パラメータへのパスを正しく定義する必要があります。そうしないと、接続エラーが発生する場合があります。

インストールでのパスワードの文字制限(72360)

ポリシー サーバ、CA レポートサーバ、管理 UI をインストールする際、各種コンポーネントのパスワードを指定する必要があります。以下の点について考慮してください。

ポリシー サーバ

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (Windows のみ)パーセント記号(%)
- (InstallAnywhere によって予約)ドル記号(\$)
- (UNIX のみ)アポストロフィ(')
- (UNIX のみ)引用符(“”)

CA レポート サーバ

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (InstallAnywhere によって予約)ドル記号(\$)
- (UNIX のみ)アポストロフィ(')
- (UNIX のみ)引用符(""")

管理 UI

パスワード情報を入力する際、以下の文字は予約または制限されているため使用できません。

- (UNIX のみ)アポストロフィ(')
- (UNIX のみ)引用符(""")

分散 CA ディレクトリ サーバ ポリシー ストア

ポリシー ストアとして機能する複数の DSA を使用している場合、ルータ DSA のホスト情報がポリシー サーバ管理コンソールで最初に表示されていることを確認します。ルータ DSA ホスト情報が最初に表示されていない場合、ポリシー ストア データ定義のインストールを試行するとエラーが発生します。

注: CA Directory Server のポリシー ストアとしての設定の詳細については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

イベント ハンドラ ライブラリのインポート

ポリシー サーバを r12.0 SP3 にアップグレードする前に以下の点を考慮します。

- ポリシー サーバ管理コンソールの[詳細]タブにイベントハンドラライブラリが含まれていない場合、XPSAudit イベントハンドラライブラリ(XPSAudit.dll)が[イベントハンドラ]フィールドに追加されます。ほかに何か実行する必要はありません。

- ポリシー サーバ管理コンソールの[詳細]タブにイベントハンドラライブラリが含まれている場合は、ポリシー サーバのアップグレード後に以下の手順を完了します。

1. ポリシー サーバ管理コンソールを開き、[詳細]タブをクリックします。
2. [イベントハンドラ]フィールドで、現在のイベントハンドラライブラリへのパスを XPSAudit イベントハンドラライブラリへのパスで置換します。

注: XPSAudit イベントハンドラライブラリのデフォルトの場所は `policy_server_home\bin` です。

`policy_server_home`

ポリシー サーバのインストール パスを指定します。

3. [適用]をクリックします。

イベントハンドラライブラリへのパスが保存されます。[イベントハンドラ]フィールドは無効になります。

注: デフォルトでは、[詳細]タブに表示される唯一のイベントハンドラライブラリは XPSAudit.dll です。

4. 以前使用されていたものなど、追加のイベントハンドラライブラリを設定する場合は XPSConfig ユーティリティを使用して XPSAudit リストに追加します。

注: イベントハンドラライブラリを設定するための XPSConfig ユーティリティの使用の詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

FSS 管理 UI のアプリケーション オブジェクト

r12 管理 UI を使用して Enterprise Policy Management (EPM) アプリケーションを作成した場合は、r12.0 SP3 にアップグレードした後に以下の点を考慮します。

- 各アプリケーションに関連する基盤の SiteMinder コンポーネントは FSS 管理 UI に表示されます。たとえば、アプリケーションと関連付けられたポリシードメインは、FSS 管理 UI の[ドメイン]タブに表示されます。
- FSS 管理 UI を使用して、関連する個々のコンポーネントを変更しないでください。
- r12 管理 UI を使用して作成されたアプリケーションを変更するには r12.0 SP3 管理 UI のみを使用します。

r12 アプリケーションに関連する基盤のコンポーネントが FSS 管理 UI に表示されるのを防ぐ方法

1. r12.0 SP3 管理 UI にログインします。
2. [ポリシー]-[アプリケーション]をクリックします。
3. [アプリケーション]-[アプリケーションの追加]をクリックします。
[アプリケーションの変更]画面が表示されます。
4. アップグレードの前に作成された各アプリケーションを検索します。
5. 各アプリケーションごとに以下を実行します。
 - a. アプリケーションを開きます。
 - b. [サブミット]をクリックします。

注: アプリケーションに変更を加える必要はありません。アプリケーションを再サブミットすることだけが必要となります。

アプリケーションが保存され、アプリケーションに関連する基盤のコンポーネントは FSS 管理 UI に表示されなくなります。

注: r12.0 SP3 管理 UI を使用して作成されたアプリケーションに関連する基盤の SiteMinder コンポーネントは、FSS 管理 UI に表示されません。

レポート サーバと SunOne Directory Server

レポートサーバと SunOne Directory Server の間には、以下のインストール上の制限が存在します。

- SunOne LDAP ディレクトリサーバがインストールされているマシンにレポートサーバをインストールすることはできません。
- レポートサーバがインストールされているマシンに SunOne LDAP ディレクトリサーバをインストールすることはできません。

IPv6 アドレスとオブジェクトストア接続(65040)

管理 UI のインストール中にオブジェクトストア接続を指定する場合、IPv6 アドレスは入力できません。代わりにホスト名を入力してください。

オブジェクトストア接続では IPv6 アドレスがサポートされていません。

日本版ポリシー サーバのアップグレード

ポリシー サーバの r12.0 SP3 バージョンは日本語にローカライズされていません。ポリシー サーバを r12.0 SP3 にアップグレードすると、ローカライズされていないバージョンになります。

MDAC バージョン

クライアントおよびサーバにインストールされた MDAC バージョンは互換性をもっている必要があります。

注: 詳細については、Microsoft MDAC のドキュメントを参照してください。

マルチマスタの LDAP ポリシー ストア

マルチマスタ技術を使用する LDAP ディレクトリは、SiteMinder ポリシー ストアとして使用できます。マルチマスタ モードで LDAP ポリシー ストアを設定する場合は、以下の設定が推奨されます。

- 1つのマスタをすべての管理に使用します。
- 1つのマスタをキーのストレージに使用します。

このマスタは、管理に使用されるマスタと同じである必要はありません。ただし、キーと管理の両方に同じマスタ ストアを使用することをお勧めします。この設定では、すべてのキー ストア ノードがレプリカではなくマスタを参照している必要があります。

注: キー ストレージに管理用マスタ以外のマスタを使用する場合、すべてのキー ストアで同じキー ストア値を使用する必要があります。キー ストアは、ポリシー ストアおよびキー ストアの両方として機能するよう設定することはできません。

- ほかのすべてのポリシー ストア マスタは、フェイルオーバー モードに設定する必要があります。

同期の問題が発生する可能性があるため、これ以外の設定では、ポリシー ストアが破損したりエージェントキーが同期されなくなったりと、不整合な結果が生じる場合があります。

他の設定については、SiteMinder サポートまでお問い合わせください。

マルチマスタの LDAP ユーザストア サポート制限 (53677)

マルチマスタの LDAP 拡張機能には以下の制限があります。

- ポリシー サーバでは、バックアップにおいてのみマルチマスタのユーザストアをサポートします。パスワード サービスによってユーザストアへの書き込みが頻繁に行われるため、マルチマスタのインスタンスでユーザ情報を同時に更新することはできません。また、LDAP の実装ではレプリケーション遅延のために古い情報が生成されたり、データ損失が発生したりする可能性があります。
- カスタム認証方式のようなカスタム コードでは、マルチマスタはサポートされていません。

他の製品との互換性

IdentityMinder、Identity Manager、TransactionMinder、および eProvision のような複数の製品を使用する場合、相互運用性を保証するには、各製品の必要なリリースに対するプラットフォーム サポート マトリックスを確認します。プラットフォーム マトリックスは、[テクニカル サポート サイト](#)で参照できます。

snmptrap ファイルの更新

このリリースには、更新された `snmptrap.conf` ファイルが含まれています。インストールの前に、元の `snmptrap.conf` ファイル (`siteminder_installation\config` 内) をバックアップおよび保存してください。

5.x からの変更点

バージョン r12.0 SP3 では、以下の機能の動作が変更されました。

失敗したパスワード変更リクエスト

5.5 の環境では、ユーザがサブミットしたパスワード変更リクエストに含まれている現在のパスワードが無効だった場合、パスワード変更情報画面に、古いパスワードが間違っていることを示すメッセージが表示されます。ユーザは正しいクレデンシアルを指定し、パスワードを変更できます。r12.0 SP3 では、ポリシー サーバはメッセージを表示せずにユーザをログイン画面にリダイレクトします。

レジストリキー `DisallowForceLogin` を有効にすると、r12.0 SP3 環境で 5.5 の動作が可能になります。レジストリキーは以下にあります。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\PolicyServer
```

KeyType は `REG_DWORD` として設定し、値は 0 (無効) または 1 (有効) に設定する必要があります。レジストリキーはデフォルトでは無効になっています。

0 または 1 以外の値が設定された場合、機能は無効になります。このレジストリキーが無効になっている場合、r12.0 SP3 の動作が有効になります。

テキストファイルへの監査ログ書き込みに対するポリシー サーバプロセスの影響 (19630)

SiteMinder 6.0 以前は、監査ログがテキストファイルに書き込まれるよう設定されている場合、ポリシー サーバ プロセスでは、設定されたベースファイル名に追加していきました。その場合、識別のための文字列 (`_Acct`、`_Adm`、`_Auth`、または `_Az`) および現在の日時の文字列が追加されました。r12.0 SP3 のシングルプロセスポリシー サーバでは、設定されたファイル名に識別のための文字列を追加しません (ただし、ログファイルのロールオーバー時には数字が追加されます)。

監査ログでの新規ポリシーストアの影響に関しては、「監査ログ (24116)」を参照してください。

iPlanet Web サーバの起動 (24343)

iPlanet Web サーバは、設定の後に自動的に起動することはなくなりました。これはサポートされているすべてのプラットフォームに該当します。

デフォルトのポリシー ストアなし

r12.0 SP3 ポリシー サーバにはデフォルトのポリシー ストアがありません。また、Microsoft Access は、ポリシー ストアとしてサポートされなくなりました。サポートされているデータベースについては、[テクニカル サポート サイト](#)上で r12.0 SP3 用の SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

リモート サービス変数の置き換え

リモート サービス変数は Web サービス変数によって置き換えられました。

キャッシュ設定の簡略化

ポリシー サーバ管理コンソール内のキャッシュ設定が 1 つの設定に簡略化されました。

キャッシュ モデルへの変更

SiteMinder r12.0 SP3 のキャッシュ モデルは 5.x 用のモデルとは異なります。

- ポリシー ストアのキャッシュは設定可能ではなくなりました。
- L2 キャッシュは、オブジェクトクラスごとの自己チューニング キャッシュで置き換えられます。
- User Authorization (AZ) キャッシュ サイズは、ポリシー サーバ管理コンソールを使用して設定可能です。このキャッシュは、SiteMinder OneView モニタで使用可能な新しいカウンタを使用して調整できます。

Windows の留意事項

Windows 2008 および Windows 2008 SP2 オペレーティング環境には以下の考慮事項が適用されます。

ポリシー サーバ インストール時の DEP のエラー

症状:

データ実行防止 (DEP) エラーが発生すると、ポリシー サーバを Windows 2008 SP2 にインストールできない場合があります。

解決方法:

1. 重要な Windows プログラムおよびサービスにのみ DEP を設定します。
2. ポリシー サーバのインストーラを実行します。

重要なプログラムおよびサービスに DEP を設定する方法

1. [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
[システムのプロパティ]ダイアログ ボックスが表示されます。
2. [詳細設定]をクリックします。
[詳細設定]タブが開きます。
3. [パフォーマンス]の[設定]をクリックします。
[パフォーマンス オプション]ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [データ実行防止]をクリックし、[重要な Windows のプログラムおよびサービスについてのみ有効にする]を選択します。
5. [OK]をクリックします。

システムの再起動を促すメッセージが表示されます。

注: ポリシー サーバが正常にインストールされた後、すべてのプログラムおよびサービスに対して DEP の設定を元に戻すことができます。

Windows Server 2008 システムの考慮事項

Windows Server 2008 では、ユーザ アカウント制御機能によって、許可されていない変更がシステムに加えられるのを防ぎます。ユーザ アカウント制御機能が Windows Server 2008 オペレーティング環境で有効な場合、SiteMinder コンポーネントで以下のタスクのいずれかを実行するには、事前にいくつかの手順を実行しておく必要があります。

- インストール
- 設定

- 管理
- アップグレード

注: Windows Server 2008 をサポートする SiteMinder コンポーネントの詳細については、SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder インストールまたは設定ウィザードを実行する方法

1. 実行ファイルを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可]ボタンをクリックします。
ウィザードが開始します。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder ポリシー サーバ管理コンソールにアクセスする方法

1. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可]ボタンをクリックします。
ポリシー サーバ管理コンソールが開きます。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder コマンド ライン ツールまたはユーティリティを実行する方法

1. [コントロール パネル]を開きます。
2. [タスク バーと[スタート]メニューのプロパティ]で、クラシック[スタート]メニューではなく、[スタート]メニューが設定されていることを確認します。
3. [スタート]をクリックし、検索の開始フィールドに以下を入力します。
Cmd
4. **Ctrl + Shift + Enter** キーを押します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。

5. [続行]をクリックします。

より高い権限でコマンド ウィンドウが表示されます。タイトル バーのテキストは「Administrator」で開始されています。

6. SiteMinder コマンドを実行します。

詳細情報:

[CA への連絡先](#) (P. iii)

SiteMinder コンポーネントの展開

SiteMinder コンポーネントを Windows 2008 SP2 上に展開している場合、同じユーザー アカウントを使用してコンポーネントをインストールおよび管理することをお勧めします。たとえば、ドメイン アカウントを使用してコンポーネントをインストールした場合、コンポーネントの管理にも同じドメイン アカウントを使用します。SiteMinder コンポーネントのインストールおよび管理に同じユーザー アカウントを使用しないと、予期しない動作が発生する可能性があります。

レポート サーバで必要な更新

レポート サーバをインストールするのに必要なシステム要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」に記載されています。SAP BusinessObjects Enterprise では、Windows 2003 R2 用の Windows 更新プログラムが必要です。

レポート サーバをインストールする前に、ホストシステムを更新して [Windows Server 2003 用の更新プログラム \(KB925336\)](#) を適用します。

注: この更新は Windows 2003 SP2 向けですが、Windows 2003 R2 にも適用されます。

Solaris に関する考慮事項

Solaris には以下の考慮事項が適用されます。

Solaris 10 のサポート

ポリシー サーバと Web エージェントは、グローバルおよび非グローバルゾーンに対して認定されます。

注: Solaris 10 のサポートに関する詳細は、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Solaris で必須のオペレーティング システム パッチ(24317/28691)

以下の表は、バージョンごとに必須のパッチおよび推奨されるパッチを示しています。

バージョン	必須	推奨
Solaris 9	<ul style="list-style-type: none"> ■ 111722-04 または任意の該当するパッチ ■ 111711-15 または任意の該当するパッチ 	なし

パッチおよび対応するインストール手順は SunSolve (<http://sunsolve.sun.com>) にあります。

gethostbyname() エラーに起因する SMPS ログ内のエラー (54190)

gethostbyname() がコールされると、ネットワーク接続性エラーが smps ログに表示されます。これらのエラーは、ディレクトリがネットワークで使用可能であっても表示されます。これは Solaris に起因する問題で、Sun バグ ID 4353836 によって解決されています。

Sun は、Solaris 9 用に以下のパッチを提供しています。

Solaris 9

- 112874-16 (libc)
- 113319-12 (libnsl)
- 112970-05 (libresolv)
- 115545-01 (nss_files)

- 115542-01 (nss_user)
- 115544-01 (nss_compat)

Solaris ポリシー サーバのアップグレード(57935)

症状:

お使いのライセンス ファイルが 2005 年 1 月より古い場合、ポリシー サーバではアップグレード後にライセンス ファイルを読み取れない場合があります。ユーザは、有効なエンド ユーザ ライセンスが見つからないというメッセージを受信する可能性があります。

解決方法:

テクニカル サポートに連絡し、新しいライセンス ファイルを要求します。

レポートのサーバの必須パッチ クラスタ

レポートサーバをインストールするのに必要なシステム要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」に記載されています。SAP BusinessObjects Enterprise は、追加のパッチを提供します。レポートサーバをインストールする前に、以下を実行してください。

1. *temporary_location/docs* に移動します。

temporary_location

インストール メディアをコピーした場所を示します。

2. *SAP BusinessObjects Enterprise XI 3.1 SP3 for Solaris – Supported Platforms (supported platforms SP3 - Solaris.pdf)* を開きます。
3. Solaris 9 または 10 のパッチ要件を確認します。

この資料は、Solaris 9 および 10 のパッチ要件にのみ使用します。このドキュメント内のサポートされているオペレーティング システムとハードウェアの要件には、SiteMinder がサポートしないものも含まれています。サポートされているオペレーティング システムについては、SiteMinder r12.0 SP3 プラットフォーム サポート マトリックスを参照します。システム要件については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Red Hat Enterprise Linux AS および ES に関する考慮事項

Red Hat Enterprise Linux AS および ES には、以下の考慮事項が適用されます。

Red Hat Enterprise Linux AS 3.0 ~ 5.1 用の更新されたデータベースドライバ (42834/47304)

6.0 SP3 以前のバージョンからアップグレードしている場合、Red Hat Enterprise Linux AS 用の ODBC データベースドライバは新しいドライバで更新されています。そのため、お使いの Linux ポリシー サーバがこれらのドライバを使用して ODBC ポリシー ストアへ接続している場合、`system_odbc.ini` ファイル内の DSN 接続情報を新しいドライバ設定で更新する必要があります。

SiteMinder SDK および Red Hat Enterprise Linux AS (28203/28268)

SiteMinder SDK は、Red Hat AS 3.0 用の `gcc 3.2.3` を使用して構築されました。

Red Hat Enterprise Linux AS で Korn シェルが必須 (28782)

Red Hat AS にインストールされたポリシー サーバには Korn シェルが必須です。Red Hat AS に Korn シェルがインストールされない場合、ポリシー サーバを制御するコマンド (たとえば `start-all` や `stop-all`) をコマンドラインから実行することができません。

Red Hat Enterprise Linux AS で除外された機能

Red Hat AS 上のポリシー サーバでは以下の機能がサポートされていません。

- Safeword 認証方式
- SiteMinder テストツール

Red Hat Enterprise Linux AS 上の Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 (28447/29518)

Red Hat AS 上で Apache 2.0 Web サーバと ServletExec 5.0 を使用する方法

1. Apache 1.3.x に対して ServletExec 5.0 AS インストーラを実行します。
ServletExec AS Java インスタンスが作成されます。
2. ServletExec および Apache 1.3.x を実行し、/servlet/TestServlet を実行できることを確認します。
3. Apache 1.3.x をシャットダウンし、ServletExec は実行されたままにしておきます。
4. 匿名 FTP を使用して、
`ftp://ftp.newatlanta.com/public/servletexec/4_2/patches` にアクセスし、最新の zip ファイルをダウンロードします。
5. zip から以下を抽出します。
`mod_servletexec2.c`
6. HP-Apache 2.x の `httpd.conf` ファイルを編集し、ServletExec 固有の必要なディレクティブが含まれているようにします。

注: ServletExec インストーラがインストール中に `httpd.conf` を更新した場合、このディレクティブは Apache 1.3.x の `httpd.conf` ファイル内にもあります。
`httpd.conf` ファイルを編集する詳細については、New Atlanta Communication ServletExec のドキュメントを参照してください。
7. Apache 2.x を起動します。
8. 以下にアクセスして、ServletExec で Web サーバをテストします。
`/servlet/TestServlet`

第 7 章：一般的な考慮事項

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[アプリケーション オブジェクトがポリシー サーバ ユーザ インターフェイスに表示される \(P. 55\)](#)

[ポリシー ストアでの IdentityMinder オブジェクトのサポート\(29351\) \(P. 55\)](#)

[Windows 認証方式による NTLM 認証方式の置換 \(P. 56\)](#)

[サポートされていない機能 \(P. 56\)](#)

[システム管理の制限 \(P. 56\)](#)

[ポリシー サーバの制限 \(P. 57\)](#)

[ユーザ ディレクトリ制限 \(P. 62\)](#)

[Perl スクリプト インターフェイス制限 \(P. 63\)](#)

[互換性の制限 \(P. 63\)](#)

[日本語版ポリシー サーバの制限 \(P. 64\)](#)

アプリケーション オブジェクトがポリシー サーバ ユーザ インターフェイスに表示される

6.0 SP5 環境で Enterprise Policy Management を使用している場合、管理 UI を使用して作成したアプリケーション関連オブジェクトが Java アプレット ベースのポリシー サーバ ユーザ インターフェイスにも表示されます。ポリシー サーバ ユーザ インターフェイスからこれらのオブジェクトを変更することはしないでください。アプリケーション関連オブジェクトを変更するには 管理 UI のみを使用する必要があります。

ポリシー ストアでの IdentityMinder オブジェクトのサポート (29351)

IdentityMinder に対して有効になっていないポリシー サーバは、IdentityMinder オブジェクトを含むポリシー ストアに接続できません。IdentityMinder 5.6 SP2 に対して有効になっているポリシー サーバは、IdentityMinder オブジェクトを含む r12.0 SP3 ポリシー ストアに接続できます。

注: IdentityMinder の設定および展開の詳細については、IdentityMinder Web Edition インストール ガイドを参照してください。

Windows 認証方式による NTLM 認証方式の置換

このリリースには、NTLM 認証方式テンプレートは含まれていません。この認証方式タイプは、Windows 認証方式テンプレートによって置き換えられました。NTLM 認証のサポートは、新しい認証方式テンプレートによって提供されるようになります。

サポートされていない機能

SiteMinder では、以下の機能がサポートされていません。

- Red Hat AS 上での SafeWord 認証方式
- Red Hat AS 上での SiteMinder テスト ツール
- Microsoft Active Directory グローバル カタログでのパスワード サービス
- Microsoft Active Directory Application Mode (ADAM)での拡張 LDAP リフェラル
- Novell eDirectory での拡張 LDAP リフェラル
- Siemens DirX での拡張 LDAP リフェラルは、検索と書き込みのみがサポートされています。つまり、パスワード サービス書き込みリフェラルはサポートされています。しかし、バインドの拡張リフェラルはサポートされておらず、したがって認証もサポートされていません。

システム管理の制限

システム管理に関して以下の制限が存在します。

ポップアップ ブロックによるヘルプ表示の妨害

特定のポップアップ ブロックまたは Web ブラウザによって、管理 UI ヘルプ ウィンドウの表示が妨げられる場合があります。多くのポップアップ ブロックでは、リンクをクリックするときに CTRL キーを押すとポップアップが許可されます。また、管理 UI からのポップ アップを許可するよう Web ブラウザを設定することもできます。

最大接続数の設定でレジストリ設定が不要(27442)

ポリシー サーバの旧バージョンでは、ポリシー サーバ サービスごとに 2 つの ODBC 接続が作成されました。以下のレジストリ設定がデフォルト値に代わって使用され、すべてのサービスに対してポリシー サーバによって作成される ODBC の最大数を示しました。

`Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\Database\UserDirectoryConnections`

r12.0 SP3 ポリシー サーバでは、接続の最大数は、ポリシー サーバ管理コンソールに指定されたスレッドの最大数に 5 を掛けることによって、動的に決定されます。(管理コンソールの[設定]タブの[パフォーマンス]グループ ボックスを参照)

5.x ポリシー サーバから **r12.0 SP3** ポリシー サーバにアップグレードしている場合は、`UserDirectoryConnections` レジストリ設定を削除します。削除しないと、設定によって指定されている値が、ポリシー サーバによって計算されたスレッドの最大数より小さい場合、ポリシー サーバログに多くのエラー メッセージが含まれることとなります。これらのメッセージは、レジストリ設定の値が、ポリシー サーバによって計算された接続の最大数より優先して使用されることを示します。

ポリシー サーバの制限

ポリシー サーバには、以下の制限が存在します。

パスワード サービスが有効な場合のログオン パスワード変更エラー(26942)

ポリシー サーバでパスワード サービスが有効になっている場合、古いパスワードおよび新しいパスワードの長さが 160 UTF8 オクテットを超えていると、パスワードの変更に失敗する場合があります。

ユーザ パスワードの先頭スペースが許可されない場合がある(27619)

ユーザのパスワードに先頭のスペースが含まれている場合、以下の状況の組み合わせでは、認証できない場合があります。

- ポリシー サーバが Solaris 上で実行されている。
- 先頭にスペースを含むパスワードは LDAP ユーザ ストアに格納される。

注: パスワード ポリシーは常に有効になっているとは限りません。

特定のポリシー ストアの証明書マッピングの問題(27027/30824/29487)

ポリシー ストアが以下のディレクトリにインストールされている場合、IssuerDN フィールドが 57 文字を超えていると、証明書マッピングが機能しません。

- Novell eDirectory
- Active Directory
- クリティカル パス

共有秘密鍵ロールオーバーが有効な場合のハンドシェイク エラー(27406)

ポリシー サーバ エラー ログで、接続が成功した後に続いて、共有される秘密鍵に関連するハンドシェイク エラーが時々発生している場合があります。これは、ポリシー サーバと通信している Web サーバに対して、共有される秘密鍵ロールオーバー機能が有効だった場合に発生する可能性があります。この動作は、正常な共有秘密鍵ロールオーバーの一貫として予期されるものです。これらのエラーは無視してかまいません。

ポリシー ストアを共有するポリシー サーバが一貫して更新されない(39844) (39837)

複数のポリシー サーバによって共有されるポリシー ストアが頻繁に更新される場合、ポリシー サーバのすべてが一貫して更新されるとは限りません。これは、ポリシー サーバがそのキャッシュを更新する前にサーバコマンドが削除されることによって発生します。

この問題を解決するには、以下の DWORD レジストリ設定を増加させます。

SiteMinder\CurrentVersion\ObjectStore
キー: ServerCommandTimeDelay

値を 10 に変更します。

SecureID フォーム認証方式を使用した場合の内部サーバエラー (39664)

SecureID フォーム認証方式を使用している場合、ユーザが最初のログイン時にパスワードを正しく入力しないと、後のログイン試行で正しいクレデンシャルを提供しても、そのユーザにはリソースへのアクセスが付与されません。ポリシーサーバでは内部サーバエラーが表示され、これらのユーザは、続行するために Web ブラウザを再起動する必要があります。

X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式の問題 (39669)

代替 FCC 場所を使用している場合、ポリシーサーバの X.509 クライアント証明書またはフォーム認証方式は正常に動作しません。

特定のユーザ名の文字による認証/許可の問題 (39832)

ポリシーサーバが LDAP ユーザストアを使用している場合、ユーザ名に &、*、\ および \\ のような文字が含まれていると、そのユーザ名は正常に認証または許可されません。たとえば、ポリシーサーバでは以下のようなユーザを認証または許可しません。

- use&r1
- use*r2
- use\r3
- use\\r4

SafeWord 認証のデバッグ ログによりポリシー サーバが失敗する(42222/43051)

Solaris 上で、リソースが SafeWord 認証方式によって保護されている場合、SafeWord 設定ファイル `SmSWEC.cfg` で `DEBUG` または `ALL` のロギングを有効にすると、ポリシー サーバが失敗します。そのため、SafeWord 認証方式に対して `DEBUG` または `ALL` のロギングを有効にしないでください。SafeWord サーバは、プロトコル 200 または 201 を使用する PremierAccess サーバです。

LDAP ネームスペース用の Active Directory 統合拡張機能(43264/42601)

この制限は、6.0 SP 2 から以下の新しい AD 機能に関連します。

「ユーザアカウント管理およびパスワード サービスの Active Directory との統合の拡張 (SM5504) (28460) (23347) (24047) (25816)」

「Active Directory 統合拡張機能の有効化」セクションの手順に従う際は、この機能が LDAP のみでサポートされ、AD ネームスペースではサポートされないことに注意してください。

ポリシー サーバで Radius ログのロールオーバーがサポートされない(44398) (43729) (42348)

ポリシー サーバには、Radius ログのロールオーバー機能がありません。6.0 以前のリリースでは、`smsservauth -startlog` コマンドの実行によりログをロールオーバーできました。

smnssetup ツールの廃止(44964) (45908) (46489)

`smnssetup` ツールは 6.0 SP 4 で配布されなくなりました。以下の設定にはポリシー サーバ設定ウィザード (`ca-ps-config`) を使用する必要があります。

- OneView モニタの GUI
- SNMP サポート
- ポリシー ストア

ウィザードでは、GUI を使用するか、コンソール ウィンドウを使用するかをユーザーが選択できます。詳細については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

ポリシー サーバで Red Hat AS 3.0 上の Java 仮想マシンを初期化できない (44649) (44971)

Red Hat Linux Enterprise AS 3.0 (Update 5 を含む) 上で、マルチプロセッサ マシン上で実行されている場合、ポリシー サーバが Java 仮想マシンを初期化できないことがあります。その結果、以下の SiteMinder 機能が機能しません。

- Java 認証方式
- Java のアクティブなルール、ポリシー、レスポンス
- SAML Federation

この問題は、Linux および Red Hat の ExecShield (カーネル ベースのセキュリティ機能) 上で Sun JDK の間に互換性がないことが原因で発生します。この問題を回避するには、Linux SMP カーネルのみで ExecShield を無効にします。

ExecShield を無効にするかどうかを判断するには、Red Hat の「New Security Enhancements in Red Hat Enterprise Linux v.3, update 3」(http://www.redhat.com/f/pdf/rhel/WHP0006US_Execshield.pdf)を参照します。

Linux SMP カーネルのみで ExecShield を無効にする方法

1. `/etc/grub.conf` ファイルで、以下の例に示すように、SMP カーネルのみでカーネルパラメータ `noexec=off` を設定します。

```
title Red Hat Enterprise Linux AS (2.4.21-32.ELsmp)
root (hd0,0)
kernel /vmlinuz-2.4.21-32.ELsmp ro root=LABEL=/noexec=off
initrd /initrd-2.4.21-32.ELsmp.img
```

2. マシンを再起動します。

既存のポリシー サーバ オブジェクトのコピー作成オプション

管理 UI でポリシー サーバ オブジェクトを作成する場合、同じタイプの既存オブジェクトのコピーを作成するオプションが提供されています。コピー オプションは以下のオブジェクトには使用できません。

- エージェント タイプ
- 認証/許可ディレクトリ マッピング
- 認証/検証ディレクトリ マッピング

- 証明書マッピング
- ユーザディレクトリ
- アプリケーション
- アプリケーション リソース
- ドメイン
- ポリシー
- レルム
- レスポンス
- レスポンス属性
- Rule
- グローバル ポリシー
- グローバル レスポンス
- グローバル ルール
- パスワード ポリシー
- 管理者

ユーザ ディレクトリ制限

ユーザ ディレクトリには以下の制限が存在します。

ODBC ユーザ ストアのフェイルオーバー

状況

Solaris 上で、2 つの Oracle ベースのユーザ ストアを使用するようポリシー サーバが設定されています。1 つはプライマリユーザ ストアで、もう一方はセカンダリユーザ ストアになります。

結果

ネットワークの障害時に、ポリシー サーバがプライマリからセカンダリにフェイルオーバーするまでに 8 分ほどかかります。

解決方法

この時間を短縮するには、TCP/IP 設定 `tcp_ip_abort_interval` を希望する時間に設定します。

Perl スクリプト インターフェース制限

Perl スクリプト インターフェースには以下の制限が存在します。

PolicyMgtAPI の Perl use ステートメントは AgentAPI の use ステートメントより前に必要 (24755)

Solaris で、PolicyMgtAPI の `use` をコールする前に、AgentAPI の `use` をコールした場合、コア ダンプが生じます。両方のモジュールの `use` をコールする場合は、以下の順で行います。

- `use Netegrity::PolicyMgtAPI;`
- `use Netegrity::AgentAPI;`

配列を返すメソッドによって undef の 1 要素配列が返される問題 (28499)

配列を返すメソッドでは、エラーが発生した場合、返すものが何もない場合は `undef` が返される必要があります。しかし、これらのメソッドによって、`undef` が最初の要素として設定された 1 要素配列が誤って返される場合があります。

Perl スクリプト インターフェースと複数値をとるエージェント設定パラメータ (37850)

Perl スクリプト インターフェースでは、複数の値をとるエージェント設定パラメータをサポートしません。

互換性の制限

互換性について以下の制限が存在します。

Oracle パラレル サーバと Oracle Real Application Clusters がサポートされていない (27510)

r12.0 SP3 ポリシー サーバの Oracle ワイヤ プロトコルドライバでは、Oracle パラレル サーバ または Oracle Real Application Clusters がサポートされていません。

日本語版ポリシー サーバの制限

日本語版ポリシー サーバには以下の制限が存在します。

エージェント共有秘密鍵の文字数は最大 175 文字 (30967/28882)

日本語版オペレーティング システム環境では、SiteMinder エージェントの共有秘密鍵に 175 文字を超える文字数を含めることはできません。

第 8 章：既知の問題

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[r12.0 SP3 での既知の問題 \(P. 65\)](#)

r12.0 SP3 での既知の問題

以下は r12.0 SP3 における既知の問題です。

レポート サーバをアンインストールしてもファイルとレジストリ エントリが残る

Windows で有効

症状：

[assign the value for boe in your book] をアンインストールすると、一部のファイルおよびレジストリ エントリが残ります。

解決方法：

これらのアイテムは意図的に残されています。新規インストールに使用可能な情報が必要な場合、これらのアイテムが必要になります。

Windows 32 ビット プラットフォームでファイルおよびレジストリ エントリを削除する方法

1. [assign the value for boe in your book] をアンインストールした後、インストール ディレクトリ内のファイルをすべて削除します。

注：デフォルトのインストール ディレクトリは C:\Program Files\CA\SC\CommonReporting3 です。

2. 以下のレジストリ エントリを削除します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\ComputerAssociates\Shared\CommonReporting3
HKEY_CURRENT_USER\Software\Business Objects
HKEY_USERS\%.DEFAULT\Software\Business Objects
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\BOE120SIASIANODENAME
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\BOE120MySQL
HKEY_LOCAL_MACHINE\SYSTEM\CurrentControlSet\Services\BOE120Tomcat
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Apache Software Foundation\Procrun
```

```
2.0\B0E120SIA<SIANODENAME>HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Apache Software  
Foundation\Procrun 2.0\B0E120Tomcat  
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Installer\Folder  
s\INSTALLDIR
```

残っていたファイルおよびレジストリ エントリが削除されます。

Windows 64 ビット プラットフォームでファイルおよびレジストリ エントリを削除する
方法

1. [assign the value for boe in your book] をアンインストールした後、以下のディレクトリを削除します。

```
installation_directory\CommonReporting3
```

注: デフォルトのインストール ディレクトリは C:\Program Files(x86)\CA\SC\CommonReporting3 です。

2. 以下のレジストリ エントリを削除します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\WOW6432NODE\Business Objects
```

残っていたファイルおよびレジストリ エントリが削除されます。

レルムの認証方式変更での再起動の必要性(125171)

既存のレルムに関連付けられた認証方式に変更を加える必要があり、そのレルムに以前認証方式が設定されている場合、ポリシー サーバを再起動する必要があります。

この問題は、R12 SP3 CR1 で対応され、ポリシー サーバの再起動は必要なくなりました。

トラッキング ナンバーは 125171 で、リリース予定の R12 SP3 CR1 の Readme ファイルに記述される予定です。

SAML 1.1 アーティファクトトランザクションでの JDK メモリリーク

フェデレーション環境が以下の構成で実行されている場合、SAML 1.1 アーティファクトトランザクションの Identity Provider で JDK 1.6.x メモリリーク(最大 4 KB まで)が発生する可能性があります。

- r12.0 SP3 ポリシー サーバが Solaris 9 にインストールされている。
- Java 1.6.x がポリシー サーバ ホスト システムにインストールされている。
- Oracle データベースが SiteMinder セッション ストア、ユーザ ストア、またはその両方として展開されている。

Solaris 9 上で実行された場合の Sun Java 1.6 リークの問題については、Oracle に報告されています。

上記の構成を使用している場合、この問題を解決する方法についてサポートにお問い合わせください。

このリークは上記の構成に固有の問題です。以下の場合、リークは発生しません。

- Oracle 以外のデータベースが SiteMinder セッション ストア、ユーザ ストア、またはその両方として展開されている。
- ポリシー サーバが Solaris 10 にインストールされている。

ACE サーバでポリシー サーバ認証リクエストが許可されない

症状:

以下の条件を満たす場合、ACE サーバではポリシー サーバ認証リクエストが受け入れられません。

- ACE 環境で ACE Client 7.0 以降を使用している。
- ACE 環境で Node Secret を使用していない。
- 以下のいずれか:
 - ACE で、SiteMinder で保護していない別のアプリケーションを保護している
 - ACE で SiteMinder 以外の別の製品を保護している

ACE にアクセスした最初のアプリケーションが **securid** ファイルを作成して保持するため、ACE サーバでは認証リクエストを受け入れません。そのため、ポリシーサーバは ACE サーバにアクセスできません。

解決方法:

ACE パスを設定して、**securid** ファイルの場所を指すようにします。

Active Directory の同期 (115248)

SiteMinder に Microsoft Active Directory を統合する場合、クラスタリングまたはラウンドロビン負荷分散が設定された Active Directory ユーザストアでは、実行後とに正しく同期されないことがあります。その結果、一部のフィールドが预期されたとおりに動作しない場合があります。この预期しない動作は、Active Directory 同期の既知の制限事項に関連しています。

レプリケーションおよび同期に関する問題を解決するには、Microsoft にお問い合わせください。

STAR イシュー番号: 19249325-01

ACE クライアントの無効な設定で必要となるポリシーサーバの再起動

症状:

管理 UI を使用して RSA SecurID 認証方式を設定した場合、RSA ACE 7.1 クライアントが間違って設定されると、SecurID 認証が適切に機能なくなり、ポリシーサーバの再起動が必要になります。

解決方法:

1. RSA ACE 7.1 クライアントを正しく設定します。
2. ポリシーサーバを再起動します。

Windows Server 2008 システムの考慮事項

Windows Server 2008 では、ユーザ アカウント制御機能によって、許可されていない変更がシステムに加えられるのを防ぎます。ユーザ アカウント制御機能が Windows Server 2008 オペレーティング環境で有効な場合、SiteMinder コンポーネントで以下のタスクのいずれかを実行するには、事前にいくつかの手順を実行しておく必要があります。

- インストール
- 設定
- 管理
- アップグレード

注: Windows Server 2008 をサポートする SiteMinder コンポーネントの詳細については、SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder インストールまたは設定ウィザードを実行する方法

1. 実行ファイルを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可]ボタンをクリックします。
ウィザードが開始します。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder ポリシー サーバ管理コンソールにアクセスする方法

1. ショートカットを右クリックし、[管理者として実行]を選択します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
2. [許可]ボタンをクリックします。
ポリシー サーバ管理コンソールが開きます。

Windows Server 2008 システム上で SiteMinder コマンドライン ツールまたはユーティリティを実行する方法

1. [コントロール パネル]を開きます。
2. [タスク バーと[スタート]メニューのプロパティ]で、クラシック[スタート]メニューではなく、[スタート]メニューが設定されていることを確認します。
3. [スタート]をクリックし、検索の開始フィールドに以下を入力します。
Cmd
4. **Ctrl + Shift + Enter** キーを押します。
[ユーザー アカウント制御]ダイアログ ボックスが表示され、許可を求められます。
5. [続行]をクリックします。
より高い権限でコマンド ウィンドウが表示されます。タイトル バーのテキストは「Administrator」で開始されています。
6. SiteMinder コマンドを実行します。

詳細情報:

[CA への連絡先](#) (P. iii)

管理 UI インストーラで間違った WebLogic ドメイン フォルダを使用

管理 UI インストール中に指定された WebLogic ドメイン フォルダがデフォルトの WebLogic インストール フォルダの下にない場合、インストーラでは指定されたフォルダを使用しない場合があります。その場合、インストーラでは正しくないドメインフォルダを使用する可能性があります。

SiteMinder エラーでの Oracle RAC Propagation ウィンドウ結果

症状:

Oracle RAC ノードでは、変更が 7 秒以内に伝達されます。SiteMinder では、それより高い頻度でポリシーストア、ユーザストア、セッションストア、または監査ストアへオブジェクトを読み書きする場合があります。そのため、デフォルトの Oracle RAC Propagation ウィンドウによって SiteMinder エラーが発生する場合があります。こうしたエラーが発生するのは、書き込み操作が 1 つのノードに対して行われ、書き込み操作のプロパゲーションがまだ行われていない読み取り操作が別のノードに対して実行されたためです。

解決方法:

Oracle RAC クラスタに以下を設定します。

`MAX_COMMIT_PROPAGATION_DELAY=0`

注: この設定の詳細については、Oracle のドキュメントを参照してください。

ポリシー サーバで監査データベースに監査イベントを挿入できない

症状:

負荷の高い状態の場合、ポリシー サーバではキュー内の監査イベントを監査ストアに挿入できないことがあります。その場合場合、SiteMinder ポリシー サーバログ (smpls.log) には以下のエラーが表示されます。

[INFO] Failed attempt to bulk insert audit message: Code: -1044. DB Code: 2

解決方法:

ポリシー サーバが監査データベースに監査イベントを挿入するタイミングは 2 つのレジストリキーによって決定されます。このキーは `SQLBulkInsertFlushInterval` と `SQLBulkInsertFlushRowCount` です。

- `SQLBulkInsertFlushInterval` は、ポリシー サーバがキュー内の監査イベントを監査データベースに挿入する頻度を決定します。このレジストリキーのデフォルト値は 60 秒です。`SQLBulkInsertFlushRowCount` によって定義された値に達する前に 60 秒が経過した場合、ポリシー サーバはキュー内のすべての監査イベントを監査データベースに挿入します。

- `SQLBulkInsertFlushRowCount` は、監査イベントがいくつ発生したら、ポリシー サーバが監査イベントを監査データベースに挿入するかを決定します。このレジストリ キーのデフォルト値は **1,000** です。
`SQLBulkInsertFlushInterval` によって定義された値に達する前に **1,000** の監査イベントがキューに入った場合、ポリシー サーバはキュー内のすべての監査イベントを監査データベースに挿入します。

`SQLBulkInsertFlushRowCount` レジストリ キーを変更すると、エラー メッセージを解決できます。

レジストリキーを変更する方法

1. ポリシー サーバ ホストシステムにアクセスして以下のいずれかを実行します。
 - (Windows)レジストリ エディタを開いて、次の場所に移動します：
`HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\Reports\NamespaceProviders`
 - (UNIX) `sm.registry` ファイルを開きます。このファイルのデフォルトの場所は `siteminder_home/registry` です。

`siteminder_home`

ポリシー サーバのインストールパスを指定します。

2. `SQLBulkInsertFlushRowCount` レジストリ キーの値を増やします。
この値は、SiteMinder ポリシー サーバ ログにエラーが表示されたときに 1 秒あたりに作成された監査イベント数の少なくとも 2 倍になるように設定します。
例: エラーが発生したときに 1,500 件の監査イベントが発生した場合は、この値を 3,000 に増やします。
3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - (Windows) レジストリ キーを保存してレジストリ エディタを終了します。
 - (UNIX) `sm.registry` ファイルを保存します。
4. ポリシー サーバを再起動します。

管理 UI のアップグレード後に新しい外部ストアで管理者を許可できない

管理 UI をアップグレードした後、管理認証ウィザードを使用して外部管理者ユーザーストアを変更した場合は、アプリケーション サーバを再起動してください。アプリケーション サーバを再起動しないと、管理 UI では管理者を許可できません。

Sun Java System Directory Server EE ポリシー ストアを使用したポリシー サーバのパフォーマンス

症状:

Sun Java System Directory Server EE のバージョン 6.0 がポリシー ストアとして機能している場合、ポリシー サーバを起動するのに非常に長い時間がかかります。

解決方法:

このパフォーマンスの問題は、バージョン 6.0 のインデックスに関する既知の問題が原因で発生します。既存のポリシー ストア インデックスを再生成してください。

注: Sun Java Systems Directory Server EE のバージョン 6.3.1 には、インデックスの動作に影響する修正が含まれています。これらの修正を適用すれば問題を回避できます。

重要: ポリシー ストアのインデックスを再作成した場合、サフィックス DN は使用できません。

ポリシー ストアのインデックスを再作成する方法

1. ディレクトリ サーバ ホストにログインします。
2. `directory_server_install/bin` に移動し、以下のコマンドを実行します。

```
dsadm reindex -b -t xpsNumber -t xpsValue -t xpsSortKey -t xpsCategory -t  
xpsParameter -t xpsIndexedObject  
-t xpsTombstone instance_path policysvr4
```

`directory_server_install`

Sun Java System Directory Server EE インストール パスを指定します。

instance_path

ポリシー ストアとして機能するディレクトリ サーバ インスタンスへのパスを指定します。

注: `dsadm` コマンドの詳細については、ベンダーのドキュメントを参照してください。

3. ディレクトリ サーバ インスタンスを再起動します。

Sun Java System Directory Server EE ログで検索のインデックスについて警告される

症状:

ポリシー ストアとして Sun Java System Directory Server EE のバージョン 6.3.1 が設定されています。ディレクトリ ログには、検索がインデックス化されていないという警告が含まれています。

解決方法:

これは予期された動作です。SiteMinder のパフォーマンスには影響しません。ディレクトリ サーバ インスタンスを再起動すれば、警告は停止します。

アプリケーション ロールの更新が必要(76618)

既存の EPM アプリケーション ロールは、複数のロールを含むすべてのアプリケーションで更新される必要があります。管理 UI を使用して、影響を受けた各ロールの説明を変更し、変更をサブミットします。

多数のポリシー オブジェクトの検索(63721)

管理 UI を使用して多数のポリシー オブジェクトを検索する場合、管理 UI とポリシー サーバ間の接続がタイムアウトになるか、ポリシー サーバのトンネル バッファが破損するか、またはその両方が発生することがあります。そのような場合、管理 UI には接続タイムアウト エラーが表示され、検索結果は返されません。この問題を回避するには、管理 UI ポリシー サーバ接続タイムアウトを調整し、ポリシー サーバトンネル バッファ サイズ用のレジストリ キーを作成します。

ポリシー サーバ接続タイムアウトを調整する方法

1. 管理 UI にログインします。
2. [管理]-[管理 UI]-[管理 UI 接続の変更]-[検索]をクリックし、ポリシー サーバ接続オブジェクトを開きます。
3. 該当するポリシー サーバを選択し、[サブミット]をクリックします。
4. [詳細]セクションの[タイムアウト]フィールドを 2,000 秒などの大きな値に設定します。

これで、ポリシー サーバ接続タイムアウトの時間が長くなりました。

トンネル バッファ サイズ用のレジストリ キーを作成する方法

1. 以下のポリシー サーバレジストリ キーを作成します。
`HKLM\SOFTWARE\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\PolicyServer\
Max AdmComm Buffer Size`
2. このレジストリ キーを、5,910,496 バイトのような大きな値に設定します。
3. 変更を保存しレジストリを終了します。

注: 接続タイムアウトおよびバッファ サイズ変更の後もこれらの兆候が続く場合は、管理 UI を再起動してください。

XPSEExport による読み取り専用ファイルの作成 (65035)

XPSEExport は、読み取り専用の XML 出力ファイルを作成しますが、XPSImport ではそのファイルを使用できません。この問題を修正するには、XPSImport を実行する前に、XML 出力ファイルで読み取り/書き込みの権限を変更します。

Windows LDAP ドライババージョンと FIPS/IPv6 のサポート

SiteMinder r12.0 SP3 ポリシー サーバの初期リリースでは、ポリシー ストアおよびユーザ ストア用の Windows LDAP ディレクトリドライバに、IPv6 と FIPS 140 に関連して以下の設定制限があります。

- LDAP ドライバは IPv6 接続をサポートしません。そのため、Windows ベースのポリシー サーバでエージェント IPv6 接続に対応するよう設定されている場合でも、LDAP ストアにアクセスする際は、LDAP 接続が IPv4 に設定されている必要があります。

- Windows ポリシー サーバが FIPS のみの運用に設定され、ポリシー/ユーザストアに対して SSL を介した LDAP を使用している場合、SSL は FIPS のみのアルゴリズムに限定されません。

FIPS-140 アルゴリズムの制限をすべて厳密に守りたい場合は、SSL 設定ファイルを適宜変更し、FIPS 準拠の証明書を展開することができます。

ポリシー サーバの試用版で FIPS 互換/FIPS 移行モードのみがサポートされる (64416)

問題

SiteMinder ポリシー サーバの試用版は、FIPS 互換モードおよび FIPS 移行モードで使用できます。FIPS のみのモードで動作するようポリシー サーバを設定すると、試用版のライセンスがポリシー サーバで拒否されてしまいます。試用版のライセンスは FIPS 互換でないアルゴリズムを使用して暗号化されているためです。

解決方法

FIPS のみのモードに移行する SiteMinder ポリシー サーバで、試用版ライセンスではなく正規の SiteMinder ライセンスを使用していることを確認します。

レポートと SiteMinder パフォーマンス

特定の状況の下では、分析および監査ベースのレポートの実行によって SiteMinder のパフォーマンスが遅くなる場合があります。お使いの環境で負荷のパターンを分析し、レポートの実行に最適な時間を判断することをお勧めします。

IPv6 ODBC データソース

IPv6 ODBC データソースを使用する場合、IP アドレスを角かっこで囲むと接続に失敗します。

例: [fec0::9255:20c:29ff:fe47:8089] ではなく、fec0::9255:20c:29ff:fe47:8089 を使用します。

注: IPv6 がサポートされるデータベースの詳細については、SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスを参照してください。

カスタム証明書マッピングの CertSerialNumbers の検索に失敗する(59352)

症状:

(LDAP)ポリシー サーバのデフォルトの動作は、**CertSerialNumber** の数字を分断された文字列として扱います。このため、ユーザ ディレクトリで、**CertSerialNumber** の数字が分断されていない文字列として格納されている場合、カスタム証明書マッピングは失敗します。デフォルトの LDAP 検索にスペースが含まれているため、ポリシー サーバではユーザを検索できません。

解決方法:

レジストリ設定 **NoSpacesInCertNumbers** を有効にします。このレジストリ設定を有効にすると、ポリシー サーバでは、すべてのシリアル番号の比較において、証明書のシリアル番号を分断されていない文字列として認識します。

場所:

HKEY_LOCAL_MACHINE/SOFTWARE/Netegrity/Siteminder/CurrentVersion/PolicyServer/NoSpacesInCertSerialNumbers

値: 0 (無効)、1 (有効)

デフォルト値: 0

ユーザが新規 SecureID PIN の受信後に誤ってリダイレクトされる(56738)

(**Windows 2003**)ユーザが新しい PIN を受信した後、診断情報ページに誤ってリダイレクトされ、「セキュリティ保護障害: 不明な許可理由」という趣旨のメッセージが表示されます。これは、ユーザおよびシステム生成 PIN の両方で発生します。

証明書ベース認証方式の混在(27997)

以下の認証方式は、FCC 互換モード (FCCCompatMode) の Web エージェントパラメータの値に影響を受けます。

- 証明書または HTML フォーム
- 証明書および HTML フォーム

注: FCC 互換モードがこれらの認証方式にどのように影響するかについては、「Web エージェント設定ガイド」を参照してください。

UserDN の文字数が 1024 文字以上の場合にパスワード変更が失敗する (52424)

新しいパスワード、古いパスワード、ユーザ アイデンティティ(ユーザ ID、クライアント IP、タイムスタンプで構成)の組み合わせが 1024 文字以上である場合、パスワードの変更は失敗し、セキュリティ管理者またはヘルプデスクに連絡するよう通知するエラー メッセージが表示されます。

ポリシー サーバ監査ログ テキスト ファイルで偽装者イベントが監査されない (52235)

Oracle または SQL Server のいずれかのデータベースで偽装者イベントの監査を行うには、監査ログ用の SiteMinder スキーマを作成し、監査ログ記録にそのデータベースを使用します。Oracle または SQL Server データベースを使用した監査ロギングのために監査ログ スキーマを作成し、ポリシー サーバ管理コンソールを設定するための詳細については、「ポリシー サーバ インストール ガイド」を参照してください。

Active Directory に保存されたユーザ アカウントのパスワードをロックできない (48125)

SiteMinder では、ユーザがパスワードを変更できないようにする機能をアカウントに対して有効にした場合でも、引き続きユーザがパスワードを変更できます。

Windows 上での SunOne Directory Server の接続テスト

症状:

ポリシー サーバ管理コンソールから SunOne Directory Server 接続をテストする場合、以下の状況下で問題が発生する可能性があります。

- ポリシー サーバをホストしているマシンで、SunOne LDAP ストアもホストしている。
- `policy_server_home\bin` 以外の場所からポリシー サーバ管理コンソールを起動している。

policy server home

ポリシー サーバのインストール パスを指定します。

この問題は、同じ LDAP SDK ライブラリ (nsldap32v50.dll) の複数のバージョンがマシンに存在するために発生します。

- ポリシー サーバのインストーラは、この DLL の 1 つのバージョンを `policy_server_home\bin` にインストールします。接続テストを試行した場合、この DLL のバージョンは問題を引き起こしません。
- SunOne は、DLL の別のバージョンをシステム ディレクトリ (たとえば `C:\WinNT\system32`) にインストールします。接続テストを試行すると、この DLL のバージョンは問題を引き起こす場合があります。

注: この DLL の競合により、ポリシー サーバプロセスまたは SiteMinder コマンドライン ツールのいずれも影響を受けることはありません。

Windows 上で、プロセスがオペレーティング システム (OS) ライブラリ ロードをコントロールした場合、このロードは DLL をロードするために、以下の順で特定の場所を検索します。

1. プロセスが起動されたディレクトリ
2. カレント ディレクトリ
3. システム ディレクトリ (たとえば `C:\WinNT\system32`)
4. Windows ディレクトリ (たとえば `C:\WinNT\system`)
5. PATH 環境変数にリストされているディレクトリ

そのため、`policy_server_home\bin` 以外の場所からポリシー サーバ管理コンソールを起動した場合、OS ライブラリ ロードはシステム ディレクトリ (たとえば `C:\WinNT\system32`) から DLL をロードします。そのため、ユーザが接続をテストすると、問題を引き起こす場合があります。

解決方法:

`policy_server_home\bin` からポリシー サーバ管理コンソールを起動します。

Linux ポリシー サーバで Oracle セッション ストア セッションが削除されない (39143)

症状:

レルムのアイドル タイムアウト設定が経過した場合、Linux ポリシー サーバでは Oracle セッション ストアからすぐにセッションが削除されないことがあります。

解決方法:

ポリシー サーバは、アイドル タイムアウト設定が経過した後、少し経ってからセッションの削除を開始します。たとえば、アイドル タイムアウト設定が 30 分である場合、ポリシー サーバは 45 分後にセッションの削除を開始することがあります。

日本語版システムで 6.0 ポリシー サーバをアップグレードした場合のアフィリエイトドメイン制限(46338) (45693)

6.0 SP1 以前の日本語版ポリシー サーバから r12.0 SP3 にアップグレードした場合、以前のアフィリエイトドメインのすべてのコンテンツは FSS 管理 UI に表示されません。

ODBC/SQLError コンポーネントが有効な場合にシングル ログアウト サービスでエラーが記録される(41324)

ODBC/SQLError コンポーネントがポリシー サーバトレースログで有効になっている場合、シングル ログアウト サービスによってトレースログに以下のエラーが書き込まれることがあります。

```
[13:42:44.0] [CSmDbODBC.cpp:189] [CSmDbConnectionODBC::MapResult] [] [] [-1]
[Microsoft] [ODBC]
```

これは正常な動作です。データは最終的にセッション サーバ データベースに書き込まれます。

Federation セキュリティ サービスと互換性のない SiteMinder リリース(44790)

SAML 1.x として設定された SiteMinder v6.0 SP 3/6.x QMR 3 以降と、SAML Affiliate Agent 6.x QMR 3 以降は、SAML 1.x プロデューサとして設定された SiteMinder v6.0 SP 2/v6.x QMR 2 以前のバージョンと互換性がありません。互換性がないのは、SiteMinder 6.0 SP 3/6.x QMR での変更が原因です。この変更は、PingID 証明書テストに基づく SAML スペックに準拠するために行われました。

UNIX プラットフォームでの InfoCard.properties ファイルの編集 (72698)

問題

Unix プラットフォームではファイル名の大文字と小文字が区別されます。

解決方法

InfoCard.properties ファイルで、infocard.fcc インスタンスをすべて InfoCard.fcc に変更します。

webadapter.properties ファイルの手動作成 (72353)

問題

必要なファイル `webadapter.properties` が `ServletExec` の設定フォルダに作成されません。そのため、`OneView` モニタが機能しません。

解決方法:

RHAS 4.0 プラットフォーム上で、サポートされる Web サーバで `OneView` モニタを設定した後、`ServletExec` の設定フォルダ内に `webadapter.properties` ファイルを手動で作成します。`ServletExec` アダプタは、このファイル内のプロパティを使用して、HTTP 要求を Web サーバから `ServletExec` アプリケーション サーバ (AS) インスタンスにルーティングします。

`webadapter.properties` ファイルには、以下のプロパティが含まれています。

`servletexec.aliasCheckInterval`

`ServletExec` アダプタが `ServletExec AS` インスタンスをポーリングする間隔の秒数の最小数を指定します。

注: このプロパティを正の数に設定すると、指定された間隔で `ServletExec` アダプタが `AS` インスタンスをポーリングします。その結果、インスタンスの Web アプリケーション データが変更された場合、アダプタは自動的に更新されます。

例:

```
servletexec.aliasCheckInterval=10
```

```
servletexec.aliasCheckInterval=-1
```

この値を使用して、ポーリングを無効にします。

`instance_name`

`ServletExec AS` インスタンスの名前を指定します。

`servletexec.instance_name.hosts`

1 つ以上のホスト名または IP アドレスをカンマ区切りで指定します。

注: これらのホストは、リクエストを処理するように指定された `ServletExec AS` インスタンスが設定されるホストです。

例:

```
servletexec.instance_name.hosts=www.abc.com:9090,www.ca.com
```

```
servletexec.instance_name.hosts=192.168.200.17,192.168.200.43:8000
```

```
servletexec.instance_name.hosts=all
```

この `ServletExec AS` インスタンスが、すべてのホストからのリクエスト処理するよう設定されることを指定します。

`servletexec.instance_name.instances`

`ServletExec AS` インスタンスの IP アドレスおよびポート番号を指定します。

注: この IP アドレスとポート番号は、`Web` サーバから指定の `ServletExec AS` インスタンスへ `HTTP` リクエストを転送する際、`ServletExec` アダプタによって使用されます。インスタンスごとに一意の IP アドレス/ポート番号のペアが必要です。

例:

```
servletexec.instance_name.instances=127.0.0.1:8888
```

IP アドレスとポート番号のデフォルト値を指定します。

`servletexec.instance_name.pool-increment`

接続が必要で接続プールが空の場合に、接続プールに追加できる接続の数を指定します。

注: これらの接続は、指定された `ServletExec AS` インスタンスと通信するために `ServletExec` アダプタによって使用されます。

例:

```
servletexec.instance_name.pool-increment=5
```

`servletexec.instance_name.pool-max-idle`

接続プール内で同時に存在できる未使用接続の最大数を指定します。

注: この数は、指定された `ServletExec AS` インスタンスと通信するために `ServletExec` アダプタによって使用される接続に適用されます。

例:

```
servletexec.instance_name.pool-max-idle=10
```

webadapter.properties ファイルを使用して、ServletExec アダプタは各 HTTP リクエストに以下のアルゴリズムを適用します。

1. HTTP リクエスト内に指定されたホストに対して設定されている ServletExec AS インスタンスをすべて特定します。
2. 手順 1 で見つかったインスタンスのなかで、HTTP リクエスト内の URL と一致する .instances プロパティを見つけます。
3. その ServletExec AS インスタンスへ HTTP リクエストを転送します。

複数ロールの削除(72207)

問題

アプリケーションから複数のロールを削除すると、「タスクが失敗しました」というメッセージが発生する場合があります。これは、1 つまたは複数のロールをポリシーストアから削除できなかったことを意味します。この場合、ポリシーストアにおけるデータの整合性に問題はありません。

解決方法

複数のロールを削除する場合、1 つのロールを削除し、処理のためにタスクをサブミットし、そのタスクの完了を待ってから別のロールを削除します。

レスポンスとレスポンス グループの編集または削除

問題

ドメインの作成またはドメインの編集のタスクを実行する際に、レスポンスおよびレスポンス グループを編集または削除できません。

解決方法:

レスポンスおよびレスポンス グループを編集または削除するには、[ポリシー] タブ-[ドメイン]をクリックし、[レスポンス]または[レスポンス グループ]をクリックします。

Enterprise Policy Management (EPM) の制限

EPM アプリケーションには以下の制限があります。

1. 各アプリケーションには複数のリソースを関連付けることができます。ただし、各リソースには 1 つのレスポンスしか関連付けることができません。
2. レスポンスおよびレスポンスグループをアプリケーションに関連付けると、そのアプリケーションから削除できなくなります。

Active Directory (AD) ユーザストアでのパスワード変更の動作 (82607)

Active Directory (AD) ユーザストアで特定のユーザにパスワード変更フラグを設定すると、ユーザの古いパスワードが無効になります。パスワード変更フラグが設定された場合、ログインダイアログボックスでどのパスワードを入力しても、ユーザはパスワード変更ダイアログボックスにリダイレクトされます。ただし、新しいパスワードを作成するには、パスワード変更ダイアログボックスのフィールドで古いパスワードと一致させる必要があります。

この動作は、AD ユーザストアに含まれているパスワードポリシーによるもので、SiteMinder パスワードポリシーが原因ではないため、変更できません。このポリシーは AD ユーザストアに不可欠であるため、ネームスペースを AD から LDAP に変更しても、この動作には影響がありません。

ポリシー分析レポートで結果が返らない (82275)

LDAP ネームスペース上に設定された Active Directory ユーザ ディレクトリ接続に有効

症状:

ポリシー分析レポートでユーザレコードが返りません。

解決方法:

管理 UI を使用して、inetOrgPerson 属性と、Active Directory の対応する属性との間のエイリアス マッピングを定義します。

例: 対応する属性が「user」である場合、inetOrgPerson という名前のエイリアス属性マッピングを作成し、エイリアスを「user」として定義します。

注: 属性マッピングの詳細については、「ポリシー サーバ設定ガイド」の「ユーザ属性マッピング」を参照してください。

CriticalPath IDS 4.2.5 に SiteMinder 管理者を作成できない(84995)

問題

Sun Microsystems の Logical Domains (LDOMS) 1.1 では、SiteMinder にホスト ID 値 00000000 を返します。SiteMinder では、この値を使用してポリシー サーバオブジェクトの ID を作成します。SiteMinder が 00000000 の値を使用して管理者のオブジェクト ID を作成した場合、作成されたオブジェクト ID は無効になり、新しく作成された管理者はサーバにログインできません。

解決方法

Sun Microsystems に連絡し、SiteMinder に返されるホスト ID を修正するパッチを入手してください。

STAR イシュー番号: 17982871-1

Oracle の問題

Oracle に関連して以下の問題が存在します。

管理 UI と Oracle ポリシー ストア オブジェクト(65782)

Oracle ポリシー ストアを使用している場合、管理 UI でポリシー ストア オブジェクトに変更を加えると、変更はすぐに適用されます。ただし、管理 UI に表示されるまでに最大で 5 分間ほどかかる場合があります。

SiteMinder クエリ タイムアウトと Oracle ユーザ ディレクトリ(68803)

ポリシー サーバが Oracle ユーザ ディレクトリに接続されている場合、SiteMinder クエリタイムアウトはサポートされません。Oracle のレスポンス時間が非常に遅い場合、この制限が発生する可能性があります。

ポリシー サーバの問題

ポリシー サーバに関連して以下の問題が存在します。

動的に更新される system_odbc.ini ファイルが原因でポリシー サーバを起動できない(55265)

症状:

(Linux) system_odbc.ini ファイルが動的に更新されるため、ポリシー サーバを起動できない場合があります。

解決方法:

ポリシー サーバをインストールした後に、このファイルを読み取り専用として保存します。

ポリシー サーバ インストーラでサポートされていないオペレーティング システムがリストに表示される(55924)

ポリシー サーバ インストーラでは、サポートされているオペレーティング システムとして Linux Advanced Server 2.1 が表示されます。Linux Advanced Server 2.1 はサポートされていません。

ポリシー サーバがロード中に停止された場合にハングまたはクラッシュする(64904)

ポリシー サーバは、ロード中に停止された場合、ハングまたはクラッシュします。これは Windows システムのみで発生します。

Solaris の問題

Solaris に関連して以下の問題が存在します。

パスワード画面で複数の SafeWord 認証子を入力できない(56766)

(Solaris 9) SafeWord 認証方式で、固定およびトークンベースの両方の認証子が必要な場合、ユーザは保護されているリソースにアクセスできません。パスワード画面では、1 つの認証子の入力のみをユーザに要求します。そのため、ユーザは両方のタイプのクレデンシャルを指定できず、保護されているリソースにアクセスできません。

Solaris での JCE の Federation 暗号化に関する問題(71293)

問題: Solaris 上の Federation セキュリティサービス ポリシー サーバが JRE 1.5.0.12 を使用している場合、Java Cryptography Extension (JCE) および Federation セキュリティサービス 暗号化に問題が発生します。ポリシー サーバが IdP として動作している場合、SAML アサーションの暗号化に失敗することがあります。ポリシー サーバが SP として動作している場合、SAML アサーションの復号化に失敗することがあります。

解決方法: java.security ファイル (*jre_root/lib/security* 内) を修正し、プロバイダ `sun.security.provider.Sun` が最初のプロバイダとして登録されるようにします。

注: Java の新しいバージョンを備えた他のサポートされているプラットフォームでも、この問題が発生する可能性があります。その場合は、同じ解決方法を適用します。

第 9 章: SiteMinder リリースで修正された問題

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[r12.0 SP3 で修正された問題 \(P. 89\)](#)

[r12.0 SP1 および r12.0 SP2 で修正された問題 \(P. 117\)](#)

r12.0 SP3 で修正された問題

HTML フォーム テンプレート認証方式の相対パスに関するリダイレクト問題 (86379)

症状:

HTML フォーム テンプレート認証方式に追加の属性が設定された場合、このスキームに定義された相対パスによって .fcc ページに正しくリダイレクトされませんでした。代わりに、ポリシー サーバ UI に指定されたサーバ パラメータに属性が追加されます。

解決方法:

この問題は修正されました。追加の属性がパラメータに追加されることはなくなりました。

STAR イシュー番号: 18110089:01

管理 UI 登録に失敗する(119848)

症状:

管理 UI の登録を試行すると、以下のメッセージが返りました。

```
[com.ca.siteminder.webadmin.configuration.ui.InitialLoginBean] Initial login failed.
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19460423:02

Solaris 上で SafeWord 認証中にポリシー サーバが失敗する(119381)

症状:

SiteMinder が ETPKI を使用方法と、SafeWord が OpenSSL を使用する方法が矛盾するため、ポリシー サーバが SafeWord 初期化中に失敗する場合があります。

解決方法:

SafeWord 認証を使用している場合は、回避策として以下の手順に従います。

1. ポリシー サーバが実行中の場合は以下のコマンドで停止します。

```
%ps -ef | grep smpol
```
2. ポリシー サーバの rppt ディレクトリに移動し、以下のスクリプトを実行します。

```
%../ca_ps_env.ksh
```
3. 以下のコマンドを実行します。

```
% export  
LD_PRELOAD_32=$NETE_PS_ROOT/lib/libcrypto.so.0.9.7:$NETE_PS_ROOT/lib/libssl.so.0.9.7
```

注: 上記コマンドは、LD_PRELOAD32 から末尾までスペースを一切含めず、すべてを 1 行にします。

4. start-all シェル スクリプトを使用してポリシー サーバを起動します。
5. SafeWord 認証を実行します。

STAR イシュー番号: 19473695-1

Oracle 暗号化パスワードを使用した認証でユーザがロックアウトされる (86447/115554)

症状:

Oracle 暗号化パスワード機能によって、ユーザが Oracle データベースからロックアウトされます。ユーザが無効なパスワードを入力した場合、そのユーザは認証されません。しかし、ポリシー サーバではこのユーザの接続を繰り返し試行します。認証の試行に 5 回失敗すると、ユーザはロックアウトされます。

解決方法:

この問題は修正されました。無効なパスワードが指定された場合、ユーザは認証されませんがロックアウトされることはありません。

STAR イシュー番号: 18049323

ポリシー サーバのシャットダウンに失敗する(92616/119903)

症状:

ポリシー サーバがシャットダウンしたときに大きな障害が発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー サーバは正しくシャットダウンされるようになりました。

STAR イシュー番号: 18388054-1、18261655-1

ユーザが開始したパスワード変更が失敗した場合の無効なユーザ ステータス (96197/99640)

Active Directory で有効

症状:

ユーザがパスワードの変更を開始し、パスワードが複雑さの要件を満たさなかったために失敗した場合、ユーザ ステータスが誤って変更されます。ユーザ ステータスの変更が必要ないにも関わらず、[次回のログオン時にパスワードの変更が必要]に変更されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18543151-1

ユーザ アカウントが誤って無効にされる (96283)

Active Directory で設定されたパスワード ポリシーに有効。

症状:

パスワード ポリシーがクラスタの一部である Active Directory ユーザ ストアで設定された場合、ユーザがログイン試行失敗の最大数を超過すると、予期しない動作が発生しました。SiteMinder では、ユーザ アカウントがロックされる代わりに無効になりました。

解決方法:

クラスタ化された Active Directory 環境では、クラスタのメンバごとにログイン失敗数がカウントされます。クラスタ ノードの 1 つが制限に達するまで、ユーザはロックアウトされません。たとえば、Active Directory クラスタに 3 人のメンバが含まれており、各メンバに対するロックアウトのしきい値として 3 回のログイン失敗が設定されている場合、3 回から 7 回までログイン試行の失敗が許可されます。

ユーザストアが **Active Directory** の一部である場合にログインの失敗が正しく追跡されユーザアカウントがロックされるために **SiteMinder** を設定する方法

1. ポリシー サーバ ホストシステムにログインします。
2. 以下のいずれかの操作を行います。
 - (Windows)レジストリ エディタを開いて、次の場所に移動します:
HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion
\PolicyServer
 - (UNIX) sm.registry ファイルを開きます。このファイルのデフォルトの場所は *siteminder_home/registry* です。

siteminder_home

ポリシー サーバのインストール パスを指定します。

3. レジストリ キー ADLockoutMode を作成し、値のタイプ DWORD にします。

値: 1 または 0

1

レジストリ キーを有効にします。

0

レジストリ キーを無効にします。

レジストリ値がゼロ(0)または存在しない場合、デフォルトの既存の動作が実行されます。

4. 以下のいずれかを行います。
 - (Windows)レジストリエディタを終了します。
 - (UNIX) sm.registry ファイルを保存します。
5. ポリシー サーバを再起動します。

STAR イシュー番号: 18593389

誤って変更された OneView モニタ設定 (97421)

症状:

ポリシー サーバ管理コンソールで[リモート モニタに接続]の値を設定した後、ポリシー サーバ管理コンソールが開くたびに、元のエントリの文字列の一部が値の先頭に追加されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18649888-01

長い URL による ODBC 監査ログ例外の発生 (97994/99430)

症状:

3,200 文字より長い URL は、ODBC 監査ログに例外を発生させます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18528295

次のユーザ ディレクトリへのポリシー サーバの移動 (98585/115557)

症状:

ユーザが新しい PIN/次のトークン モードで、`authreason` がすでに判断されている場合に、ポリシー サーバが検索順の次のユーザ ディレクトリに移動します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18696894-1

ユーザ ディレクトリ再接続の問題(99515/112590)

症状:

2つのポリシー サーバで、バックエンド ユーザ ストア (ODBC) に対してユーザの認証が開始された場合、1つのポリシー サーバがバックエンド データベースにしばらく接続しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18753939:01

ユーザ属性ペアをポリシーに追加できない(98692/114531)

症状:

ユーザ属性の名前/値の検索であまりにも多くのオブジェクトが返される場合、その名前/値のペアをポリシーに追加できませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18656190-01

ADAM が誤って Active Directory として認識される(100598/115558)

症状:

認証中に、ポリシー サーバによって ADAM が誤って Active Directory として認識されました。その結果、ポリシー サーバでは、存在しなかった可能性のある属性を検索することになり、認証に失敗する場合があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18783667-1

キーの週次ロールオーバーが正しくない時間に発生する(109706/101243)

症状:

毎週のキーの動的ロールオーバーが正しい時間に発生しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18281580-02

パスワードの最終更新時間が更新されない(101445/111175)

症状:

ユーザアカウントが再度有効にされた場合に、パスワードの最終更新時間が正しく更新されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18875875

パスワードポリシーを作成するとエラーメッセージが発生する(101554)

症状:

パスワードポリシーにパスワード有効期間が設定されている場合、トラッキングが成功しないかユーザログインに失敗すると、パスワードポリシーがサブミットされたときにエラーメッセージが表示されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18856389-01

CRL の失効または取り消しの SMAUTHREASONCODE (101568/110563)

症状:

CRL が期限切れになるか取り消された場合、SMAUTHREASON コードが正しく設定されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18737576-01

ロックアウトされたユーザアカウントに対するポリシー サーバの動作が一貫していない(101702)

症状:

ユーザが無効なクレデンシャルを使用してログインした場合と、ロックされたアカウントを使用してログインした場合を比較すると、ポリシー サーバの動作が異なります。セキュリティを確保するため、この動作はどのシナリオでも一貫している必要があります。

解決方法:

この問題は修正されました。この動作は一貫するようになりました。

STAR イシュー番号: 18619507

ポリシー サーバでユーザが見つからない場合の値が無視される(101706/110528)

症状:

ポリシー サーバで、UserNotFound アクティブ ルールからの戻り値が無視されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18838896:01

負荷分散とフェイルオーバーが EPM アプリケーションで機能しない(102148)

症状:

LDAP ユーザストアの負荷分散およびフェイルオーバーが Enterprise Policy Management (EPM) アプリケーションで正しく機能しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18906822-1

XPSConfig でパスワードがクリア テキストで表示される

症状:

XPSConfig ユーティリティで、データベース接続用のパスワードがクリア テキストで表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18885852-01

OCSP チェックの失敗によりユーザが認証できない(92382)

症状:

CR16 からアップグレードした後、OCSP チェックに失敗します。クライアント証明書はレスポンドによってチェックされますが、SiteMinder でレスポンド証明書の取得を試行した後、チェックに失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18167251

管理 UI インストールがセカンダリドライブで失敗する(109637)

症状:

管理 UI が C ドライブ以外のドライブにインストールされた場合、SiteMinder 管理 UI サービスが作成されませんでした。これによりインストールが失敗しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18746415

詳細情報:

[管理 UI がセカンダリパーティション上で失敗する\(111072\)](#) (P. 101)

SNMP イベントハンドラライブラリが使用できない(109789)

Red Hat Linux で有効

症状:

SNMP のイベントハンドラライブラリが XPSConfig ユーティリティによって正しくロードされていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18900679-01

Microsoft Visual C++ ランタイムでのポリシー サーバの依存性(109840)

症状:

ポリシー サーバが Microsoft Visual C++ ランタイムに依存していました。以下のファイルを手動で *policy_server_home\bin* にインストールする必要があります。

- Microsoft.VC80.CRT.manifest
- msvcm80.dll
- msvcp80.dll
- msvcr80.dll

policy_server_home

ポリシー サーバのインストール パスを指定します。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー サーバ インストーラは Microsoft の頒布可能パッケージをインストールします。

STAR イシュー番号: 18960100-1

XPSImport がエラー メッセージで失敗する(109933)

症状:

XPSImport ですべての SiteMinder オブジェクトをインポートできず、以下のエラー メッセージで終了しました:

廃棄対象の削除に失敗しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18942855

検索フィルタを使用したグローバル レスポンスの選択に失敗する(110208)

症状:

レスポンスをルールに追加するために検索フィルタを使用した場合、管理 UI で正しいレスポンスを適用できませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18981323

グローバル レスポンスのドキュメント(110663)

症状:

ドキュメントで、グローバル レスポンスが任意のグローバル レスポンスまたはドメイン固有レスポンスのグループのメンバになることができると記述されていましたが、これは間違いでした。

解決方法:

ドキュメントで、グローバル レスポンスはレスポンス グループに追加できない旨が記述されました。グローバル レスポンス グループというものはありません。

STAR イシュー番号: 18977480

管理 UI がセカンダリ パーティション上で失敗する(111072)

Windows で有効

症状:

セカンドパーティションが作成され(たとえば、E:\ など)、Administrator TEMP および TEMP フォルダが新しいパーティションに設定された場合、管理 UI のインストール時に SiteMinder 管理 UI サービスが作成されませんでした。これによりインストールが失敗しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19024369-1

詳細情報:

[管理 UI インストールがセカンダリドライブで失敗する\(109637\)](#) (P. 99)

ポリシー サーバで循環依存のレスポンス グループが許可される (111130/113577)

症状:

ポリシー サーバでは、SiteMinder 管理者が循環依存を持つレスポンス グループを作成することができました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19042073-01

ポリシー サーバ プロファイラ ログがロールオーバーしない(111119)

症状:

ポリシー サーバ プロファイラ ログが正しくロールオーバーしていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18976129-1

ポリシー サーバが LDAP ディレクトリに再接続しない(111262/101357)

症状:

LDAP ストアが停止され、LDAP コンテンツがすぐに 管理 UI によって参照された場合、ポリシー サーバが LDAP ストアに正しく再接続しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18534066:01

ポリシー サーバで無効なユーザの認証リクエストが処理される(111627)

症状:

ユーザが同じパスワードで複数の LDAP ユーザ ストアに存在する場合、そのユーザがユーザ ストアの 1 つで無効になっても、ポリシー サーバではユーザが認証可能かどうか残りのユーザ ストアへの照会を継続します。デフォルトのポリシー サーバの動作では、すべてのユーザ ストアに照会します。

ユーザがすべてのユーザ ストアで無効になった場合のみ、ポリシー サーバでそのユーザが認証できないと判断されます。

解決方法:

レジストリ キーを作成することによって、このデフォルトのポリシー サーバ動作を防ぐことができます。レジストリ キー `ReturnOnDisabledUser` は、ユーザ ストアの 1 つでユーザが無効であると認識された後、残りのユーザ ストアに対するポリシー サーバの照会を停止します。

レジストリ キーを作成する方法

1. ポリシー サーバ ホスト システムにアクセスして以下のいずれかを実行します。
 - (Windows)レジストリ エディタを開いて、次の場所に移動します:
`HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\PolicyServer`
 - (UNIX) `sm.registry` ファイルを開きます。このファイルのデフォルトの場所は `siteminder_home/registry` です。

`siteminder_home`

ポリシー サーバのインストールパスを指定します。

2. `ReturnOnDisabledUser` を作成し、値のタイプは `DWORD` にします。

値: 1 または 0

1

レジストリ キーを有効にします。

0

レジストリ キーを無効にします。

レジストリ値が 0 または存在しない場合、ポリシー サーバはデフォルト動作で設定されます。

3. 以下のいずれかの操作を行います。
 - (Windows)レジストリエディタを終了します。
 - (UNIX) sm.registry ファイルを保存します。
4. ポリシー サーバを再起動します。

デフォルトのポート番号変更後の OneView モニタの動作(111672/101587)

症状:

ドキュメントでは、conapi.conf ファイル内のデフォルトのポート番号設定が変更された後、ポリシー サーバ 管理コンソールの OneView モニタ設定がどのように変更されるかについて説明されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。詳細については、「ポリシー サーバ管理ガイド」を参照してください。

STAR イシュー番号: 18816072-01

許可ディレクトリが使用できない場合に不明瞭なエラー メッセージが発生する(111757/113035)

症状:

ディレクトリ マッピングが設定されており、許可ディレクトリが使用できなくなった場合、ポリシー サーバ ログ (smpls.log) に表示されるエラー メッセージでは、ユーザ ID を解決できない旨が述べられているだけでした。このエラー メッセージでは、どのユーザ ID が解決できないのかが示されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。エラー メッセージに解決できなかったユーザ ID が示されるようになりました。

STAR イシュー番号: 19056714

グローバル ポリシー設定が誤ってクリアされる(112404)

症状:

ドメインの変更に[変数]タブを使用し、その後[一般]タブに戻った場合、[グローバル ポリシーを適用]設定がクリアされました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19104944-1

パスワード ポリシーが正しく適用されない(112399)

症状:

検索式を使用して、パスワード ポリシーがユーザ ディレクトリの一部に適用された場合、正しく機能しませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19073666-1

Uptime コマンドで正しくない日付が表示される(112999)

症状:

XPS Uptime コマンド(SmCommand CA.XPS::Uptime)で、正しくない月が返されていました。表示される月は、現在の月の1月前でした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19097687-1

ポリシー サーバトレース ログにエージェント名が表示されない(112540/113357)

症状:

ポリシー サーバトレース ログに、エージェント名ではなくトラステッド ホスト名が間違っってエンタリに追加されていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19091889

JBoss シャットダウン スクリプトが機能しない(113987)

Linux で有効

症状:

JBoss シャットダウン スクリプト(shutdown.sh)によって JBoss が停止されませんてした。具体的には、以下のメッセージが表示されました。

JBoss が実行されていません (PID ファイルなし)

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19172916-01

アップグレードするとグローバル レスポンスを作成できなくなる(114023)

症状:

r12.0 SP1 から r12.0 SP2 にアップグレードすると、グローバル レスポンス オブジェクトを作成できなくなていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19150468-1

デフォルトの 管理 UI ファイルでのキーストア値の置き換え(115123)

症状:

デフォルトの `server.xml` ファイルで、キー ストア パスワード (`keystorePassword`) およびキー ストア タイプ (`keystoreType`) の変数値が置き換えられていました。これにより、パスワードが見つからないというエラー メッセージが発生しました。

解決方法:

この問題は修正されました。ファイルには正しい値が含まれます。

STAR イシュー番号: 19246007-1

プロファイラ設定問題で不明瞭なエラー メッセージが発生する(84984)

症状:

プロファイラ設定ファイル (`smtracedefault.txt`) に構文エラーやスペルミスがある場合、または大文字と小文字が正しくない場合、ポリシー サーバでは出力ファイルまたはディレクトリに問題があることを示すエラーを `smps.log` ファイルに生成します。

解決方法:

エラー メッセージが明確になりました。この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18031028:1

ポリシーストア移行のドキュメント(115651)

症状:

「ポリシー サーバ管理ガイド」および「SiteMinder アップグレード ガイド」では、ポリシー ストアの移行によって影響を受ける環境固有のポリシー ストア オブジェクトに関する情報が含まれていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19092239-1

Web エージェント通信失敗後にポリシー サーバがハングする(115704)

症状:

ポリシー サーバリクエストの処理中、たとえばネットワーク停止などで Web エージェントがオフラインになった場合、この通信失敗についてポリシー サーバに通知されないと、ポリシー サーバは、Web エージェント データを待機し続けます。Web エージェントがネットワーク機能を回復してポリシー サーバとの接続を閉じた後も、ポリシー サーバは待機を続けます。

この方法で、1 つまたは複数の Web エージェントから多くのリクエストが失われた場合、リクエストを処理するワーカー スレッドが解放されないため、ポリシー サーバが反応しなくなる可能性があります。

解決方法:

SiteMinder Enable TCP Keep Alive (SM_ENABLE_TCP_KEEPALIVE) 環境変数を作成して有効にすると、アイドル状態の Web エージェント接続に対して KeepAlive パケットを送信するようポリシー サーバが設定されます。ポリシー サーバがパケットを送信する間隔は、OS 固有の TCP/IP パラメータに基づいて決まります。

パラメータを設定する場合には、以下の点を考慮します。

- ポリシー サーバがパケット送信をいつ開始する必要があるか。
- ポリシー サーバがパケットを送信する間隔。
- ポリシー サーバがパケットを何回送信したら、Web エージェント接続が失われたと判断されるか。

注: TCP/IP パラメータの設定の詳細については、お使いの OS のドキュメントを参照してください。

アイドル状態の Web エージェント接続に KeepAlive パケットを送信するようポリシー サーバを設定する方法

1. ポリシー サーバ ホストシステムにログインします。
2. 以下のいずれかを行います。
 - (Windows) 以下のシステム環境変数を作成して値を 1 に設定します。
SM_ENABLE_TCP_KEEPALIVE
 - (UNIX)
 - a. 以下のシステム環境変数を作成します。
SM_ENABLE_TCP_KEEPALIVE=1
 - b. 環境変数をエクスポートします。

注: 値は 0 (無効) または 1 (有効) である必要があります。0 または 1 以外の値が設定された場合、環境変数は無効になります。環境変数が無効になった場合、ポリシー サーバは、アイドル状態の Web エージェント接続に対して KeepAlive パケットを送信しません。

STAR イシュー番号: 18887284-1、18887284-2

必須の Linux ライブラリのドキュメント(115705)

症状:

インストールドキュメントでは、Linux オペレーティングシステム上でサポートされるコンポーネントに必要な Linux ライブラリの一覧が示されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19180227-1

アップグレード後に 'smpolicysrv -starttrace' コマンドでエラーが返される(115708)

Solaris 9 で有効

症状:

Solaris 9 ポリシー サーバを r6.0 SP5 CR 30 以前から r12.0 SP2 にアップグレードした後、'smpolicysrv -starttrace' コマンドを実行すると、以下のようなエラーメッセージが SMPS.log に生成されました。

```
[CServer.cpp:6518][ERROR] エラー 2 サーバ管理メッセージを待機中。  
エラー テキスト: そのようなファイルまたはディレクトリはありません。
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18743503-01

ポリシーストア スキーマ ファイル名で正しくないリリースが参照されている (115727)

症状:

Novell eDirectory および IBM ディレクトリ サーバのポリシー ストア スキーマ ファイル名が誤って r12.0 SP1 を参照していました。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー ストア スキーマ ファイル名で r12.0 SP2 が正しく参照されます。

STAR イシュー番号: 19270387-01

レポート サーバのドキュメント(117058)

症状:

ドキュメントで、レポート サーバのアンインストール後にレポート データベース内のテーブルを手動で削除する必要があることが記述されていませんでした。

解決方法:

ドキュメントに、レポート サーバのアンインストール後にレポート データベース内のテーブルを手動で削除する必要があることが記述されました。

STAR イシュー番号: 19272647-2

CA SSO 統合のドキュメント(117579)

症状:

SiteMinder および CA SSO 統合の前提条件として、LDAP データベースへの CA SSO ポリシー サーバのインストールに関する誤った記述が含まれていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19399328-1

メモリ違反によるポリシー サーバの失敗(115970)

症状:

検証中(保存される前)にポリシー リンクが SDK PM API によってレスポンスグループ用に作成された場合、レスポンスオブジェクトが OID から作成されます。レスポンスオブジェクトは、レスポンスグループオブジェクトの代わりにキャッシュに設定されています。ユーザが UI からレスポンスグループをクリックすると、一時オブジェクト内のレスポンスグループの代わりにキャッシュからレスポンスオブジェクトが取得されます。一時オブジェクトを削除しようとする、削除されるオブジェクトのタイプが「レスポンスグループ」であるにも関わらず、現在のオブジェクトのタイプが「レスポンス」であるため、メモリ違反が発生します。これによりコアダンプが生じます。

解決方法:

オブジェクトが適切に設定されるよう変更が行われ、レスポンスがレスポンスタイプオブジェクトに、レスポンスグループがレスポンスグループタイプオブジェクトに設定されるようになりました。

STAR イシュー番号: 19276710-1

認証方式とパスワード サービスのドキュメント(113302)

症状:

「ポリシー サーバ設定ガイド」で、どの SiteMinder 認証方式でパスワード サービスがサポートされているかが明確に記述されていませんでした。

解決方法:

「ポリシー サーバ設定ガイド」の以下のトピックを参照してください。

サポートされる認証方式およびパスワード ポリシー

STAR イシュー番号: 19002627:01

CA Directory ポリシー ストアのドキュメント

症状:

「ポリシー サーバ インストール ガイド」には、CA Directory をポリシー ストアとして設定するための手順が含まれています。これらの手順が技術的に正確ではありませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19460423-2

監査レポート接続用のデフォルト以外のポートが元に戻る(116412)

症状:

デフォルト以外のポートで監査レポート接続を作成した場合、接続を変更すると、MS SQL Server または Oracle のデフォルト設定(それぞれ 1433 と 1521)にポートが戻っていました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19290973-1

キー ストアのストレージ タイプを変更できない(116678)

Red Hat Linux で有効

症状:

ポリシー サーバのインストール時にポリシー ストアを設定しなかった場合、ポリシー サーバ管理コンソールを使用してキー ストアを設定しようとすると、ODBC からデフォルトのキー ストア ストレージ タイプを変更できませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19235660-1

複数の同一のエントリが監査ログに記録される(116715)

症状:

監査ログが ODBC に対して設定された場合、複数の同一のエントリが監査ストアにログ記録されました。この動作は、成功および失敗したログイン試行で発生しました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19350964-01

Solaris 上のポリシー サーバで SSL 接続を確立できない

症状:

Solaris 10 上の SiteMinder r12.0 SP2 ポリシー サーバで LDAP サーバへの SSL 接続を確立できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19242076-2

ポリシーの作成時に許可ディレクトリを作成できない(119755)

症状:

ドメインに複数のレルムが含まれており、各レルムに異なるディレクトリのディレクトリ マッピングが含まれている場合、管理 UI は予想通りに動作しませんでした。

特定の状況下で、管理 UI にはポリシーの作成時に[ユーザ]タブの許可ディレクトリが表示されませんでした。代わりに、最初のレルムのディレクトリのみがポリシーで利用可能になりました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19468089-1

予期しないポリシー ストア検索(120001)

症状:

ポリシー ストアに対する予期しない LDAP 検索によって SiteMinder r12 展開が失敗していました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19504007

SM キー データベース パスワードがクリア テキストで表示される (121541/121551)

症状:

ポリシー サーバのインストール時に SiteMinder キー データベース (smkeydatabase) を設定した場合、ポリシー ストア ログ (ca-ps-details.log) にパスワードがクリア テキストで表示されました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19555494、19555494-1

ポリシー サーバ管理コンソール ヘルプの相互参照(121942/121950)

症状:

「ポリシー サーバ管理ガイド」には、ポリシー サーバ管理コンソールでの設定手順が説明されています。これらの手順に、ポリシー サーバ管理コンソールのヘルプへの相互参照が含まれていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。それぞれの手順がポリシー サーバ管理コンソールのヘルプが相互参照されています。

STAR イシュー番号: 19579536-1、19582683-1

フォーム ポスト変数のドキュメント(122186)

症状:

「ポリシー サーバ設定ガイド」に、フォーム ポスト変数がレスポンスに使用可能である旨を示唆する記述が含まれていました。

解決方法:

この問題は修正されました。ドキュメントが更新され、フォーム ポスト変数をレスポンスに使用できないことが記述されました。

STAR イシュー番号: 19406145-1

外部管理者認証ストアのドキュメント(122570)

症状:

外部管理者認証ストアへの接続の設定に関するドキュメントに、情報が不足していました。ドキュメントには、複数の 管理 UI インスタンスが同じ外部ストアを共有する場合、各接続で同じネットワーク識別子を使用してディレクトリ サーバを識別する必要があることが記述されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。ドキュメントに、複数の 管理 UI インスタンスが同じ外部ストアを共有する場合、各接続で同じネットワーク識別子を使用してディレクトリ サーバを識別する必要があることが記述されました。同じ外部ストアへの複数の 管理 UI 接続で異なるネットワーク識別子を使用することはサポートされていません。

STAR イシュー番号: 19442469-1

ネットワーク停止中にポリシー サーバがクラッシュする(121615)

症状:

ネットワーク停止中にポリシー サーバがクラッシュしました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19572281:01

管理 UI で外部ユーザストア内の無効なユーザが正しくない URL にリダイレクトされる(113800)

症状:

外部ユーザストアのユーザアカウントが無効になった場合、管理 UI ではそのユーザを以下の URL にリダイレクトしていました。

```
/siteminder//logout.jsp
```

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19051477:03

ユーザロール評価中にカスタムスキーマによってポリシーサーバがクラッシュする(120546)

症状:

ユーザストアでカスタムスキーマが使用されている場合、許可プロセスでのロールの評価中にポリシーサーバがクラッシュしました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19384737:01

ポリシーサーバからLDAPサーバへのSSL接続が失敗する(119359)

Solaris 10 オペレーティング環境上で有効

症状:

ポリシーサーバで、LDAP ディレクトリサーバへの SSL 接続を確立することができませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19242076:02

管理 UI ログイン ページでのクロスサイト スクリプティングの脆弱性(120847)

症状:

管理 UI のログイン ページに、クロスサイト スクリプティングの脆弱性がありました。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19552396:01

XPSRegClient のドキュメント(123400)

症状:

「ポリシー サーバ インストール ガイド」に、XPSRegClient を使用するには、UNIX オペレーティング システム上に SiteMinder 環境変数を設定する必要があることが記述されていませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 19620777

r12.0 SP1 および r12.0 SP2 で修正された問題

SiteMinderr12.0 SP3 リリースには、以下の修正が含まれています。

ロックアウトされたユーザ アカウントに対するポリシー サーバの動作が一貫していない(101702)

症状:

ユーザが無効なクレデンシャルを使用してログインした場合と、ロックされたアカウントを使用してログインした場合を比較すると、ポリシー サーバの動作が異なります。セキュリティを確保するため、この動作はどのシナリオでも一貫している必要があります。

解決方法:

この問題は修正されました。この動作は一貫するようになりました。

STAR イシュー番号: 18619507

OCSP チェックの失敗によりユーザが認証できない(109616)

症状:

CR16 からアップグレードした後、OCSP チェックに失敗します。クライアント証明書はレスポндаによってチェックされますが、SiteMinder でレスポнда証明書の取得を試行した後、チェックに失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18167251

プロファイラ設定問題で不明瞭なエラー メッセージが発生する(115628)

症状:

プロファイラ設定ファイル (smtracedefault.txt) に構文エラーやスペルミスがある場合、または大文字と小文字が正しくない場合、ポリシー サーバでは出力ファイルまたはディレクトリに問題があることを示すエラーを smps.log ファイルに生成します。

解決方法:

エラー メッセージが明確になりました。この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18031028:1

LDAP ネームスペースと AD ユーザ ディレクトリで接続エラー発生する(59084)

症状:

LDAP ネームスペースを使用して Active Directory ユーザ ディレクトリにアクセスすると、LDAP 接続エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

匿名認証方式が失敗する(75269)

症状:

匿名認証方式が失敗し、パスワード サービス エラーがレポートされます。

解決方法:

匿名認証方式に対して、パスワード チェックを無視するフラグを真に設定します。

XPS パラメータの更新がエラーになる(75410)

症状:

XPSConfig を使用して上書き可能な XPS パラメータを更新すると、エラーが発生します。

解決方法:

XPSConfig を使用して上書き可能な XPS パラメータを正常に更新できるようになりました。

Oracle RAC データベースで監査レポートを実行できない(80739)

症状:

管理者が管理 UI で監査レポートの実行を試行し、監査ストアが Oracle RAC 10g データベースである場合、[エージェント]ドロップダウンリストにデータが読み込まれず、実行は失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17755922-1

[レポート]タブ上のフィールドのラベルが間違っている(84381)

症状:

管理 UI で、[レポート]タブ上の「ユーザ DN 開始」フィールドのラベルが間違っています。

解決方法:

このフィールドのラベルは、「ユニバーサル ID」として正しく表示されるようになりました。

STAR イシュー番号: 17892674:01

管理者パスワードがクリア テキストで保存される(84967)

症状:

XPSConfig を使用して管理者のパスワードを変更した場合、パスワードはクリアテキストでレジストリに保存されます。

解決方法:

XPSConfig を使用して管理者のパスワードを変更した場合、パスワードは RC2 形式で暗号化されレジストリに保存されます。

STAR イシュー番号: 18033705-1

Active Directory ネームスペースでページングがサポートされない(86628)

症状:

Active Directory ネームスペースはページングをサポートしません。そのため、ユーザの数が 1000 を超えると、検索が失敗します。

解決方法:

Active Directory ネームスペースで多くのユーザ数の検索をサポートするには、以下の新しいレジストリキーを 1 に設定して有効にします。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\Ds\
LDAPProvider\EnablePagingADNameSpace
```

注: 詳細については、「ポリシー サーバ設定ガイド」の「Active Directory に関する考慮事項」を参照してください。

アカウントが再有効化された場合にアカウント アクセスが拒否される(86839)

症状:

パスワード入力の失敗が続いたためアカウントが無効化され、その後再度有効化された場合、ユーザに対してアカウントのアクセスが拒否されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17995581

ACO でエージェント名が長すぎるためエラーになる(86938)

症状:

管理者がエージェント設定オブジェクトを管理する場合、3,815 文字より長いエージェント名の値はエラーになります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18067972

LDAP 式エディタで LDAP 式のスペースが削除される(87370)

症状:

LDAP ユーザ ディレクトリの検索式エディタで、LDAP 式に含まれているスペースが削除されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18102391

ポリシー管理者はネストされたレルムを管理できない(87505)

症状:

ポリシー管理者は、管理対象ドメインでネストされたレルムを管理することができません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17741022

エージェントフィルタの選択が正しく機能しない(88102)

症状:

エージェントをエージェントグループに追加する場合、選択されたメンバおよび選択可能なメンバの両方にフィルタが適用されます。

解決方法:

選択可能なメンバにのみフィルタが適用されるようになりました。

STAR イシュー番号: 18235722-1

委任された管理者は接続タスクにアクセスできない(88655)

症状:

スーパーユーザ権限を持つ委任された管理者は、管理 UI の[管理]タブ上で [接続]オプションを表示および選択できず、そのため、登録などの接続タスクを実行できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

管理 UI でタブの順序が異なる(88763)

症状:

ドメインを表示および変更する場合、管理 UI でのタブの順序が異なります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18278947-01

すべての XPSRegClient フラグがログに記録されない(90505)

症状:

すべてのフラグが含まれる完全な XPSRegClient コマンドラインがログファイルに正しく出力されません。1 つまたは複数のフラグが出力に見つかりません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18364192

無効にされたルール設定を保存できない(93613)

症状:

ルールが管理 UI で無効にされ、タスクが正常に完了した場合、無効にされた設定が保存されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 18494284-01

コンテキスト変数が正しく評価されない(97146)

症状:

ユーザ コンテキスト変数および要求コンテキスト変数が正しく評価されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17960400-2

注: ユーザ コンテキスト変数および要求コンテキスト変数はパーセント記号(%)で始まる必要があります。詳細については、「[ポリシー サーバ設定ガイド](#)」を参照してください。

Active Directory ユーザ ディレクトリでエントリを検証できない(98774)

症状:

管理 UI でポリシー ストアにユーザおよびユーザ グループを指定している場合、[ユーザ ディレクトリ検索式エディタ]ペインで **Active Directory ユーザ ディレクトリ** にエントリを追加すると検証に失敗します。

解決方法:

[ユーザ ディレクトリ検索式エディタ]ペインで新しい[エントリの検証]チェックボックスをオフにすると、この問題を解決できます。

IIS NTLM 認証方式のメモリリークでエラーが発生する(59283/81045)

症状:

IIS NTLM 認証方式の小さなメモリリークが原因でポリシー サーバが失敗する場合があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

管理 UI のオプションに変数定義がない(63618)

症状:

管理 UI の[レスポンス属性の作成]画面の[属性の種類]グループボックスに、変数定義がオプションとして含まれていません。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシー サーバでポリシー ストア接続を回復できない(64563)

症状:

ポリシー サーバで、ネットワーク障害後にポリシー ストアへの接続を回復できません。

解決方法:

この問題は解決されました。

レポート サーバ インストーラで領域の要件を確認しない(65044)

UNIX のみで有効

症状:

レポートサーバのインストーラでは、インストールを正常に完了するための十分な領域があるかどうかを判断するために /opt 内の使用可能領域をチェックしません。そのため、十分な領域がない場合はインストールがエラーで完了します。

解決方法:

レポートサーバ インストーラが /opt 内の使用可能領域を確認します。領域の要件が満たされない場合、インストーラはユーザにメッセージを表示し、インストールを終了して使用可能領域を増やすように促します。

エージェント キー生成を無効にするとエラーになる(65387)

症状:

エージェント キー生成がポリシー サーバ管理コンソールで無効にされた場合、管理 UI は、この変更を反映するために更新されません。その結果、管理 UI ではユーザが引き続きエージェントキーの生成を試行し、エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

XPSDDInstall によるコア ダンプ(65459)

症状:

ポリシー サーバが FIPS のみのモードで動作するよう設定された場合、ポリシーストア管理者パスワードが再暗号化されないと、XPSDDInstall はコアをダンプします。

解決方法:

この問題は修正されました。

RADIUS レスポンス属性が保存できない(65534)

症状:

RADIUS エージェントによって保護されているレスポンスに対してレスポンス属性を保存できません。

解決方法:

この問題は解決されました。

ドメイン管理者が認証方式を選択できない(65665)

症状:

ドメイン管理に制限された管理者は、レルムの作成時に認証方式を選択することができません。

解決方法:

この問題は修正されました。ドメイン管理者は、レルム作成時に認証方式を選択することができます。

同じ名前を持つネストされたレルムによるエラー(65698)

症状:

同じ親ドメインの下に、同じ名前のネストされたレルムを作成すると、「属性の値が重複しています」というエラーが発生します。このエラーは、アップグレード時に、同じ親ドメインにネストされた既存のレルムが同じ名前を持っている場合にも表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。同じ親ドメインのに同じ名前のネストされたレルムが存在してもエラーは発生しません。

SunOne LDAP ユーザストアでロール評価が失敗する(65715)

症状:

SunOne LDAP ユーザストア上のロール評価がロード中に失敗することがあります。

解決方法:

この問題は修正されました。

セキュリティカテゴリのセキュリティ範囲が表示されない(65724)

症状:

管理 UI 管理者を作成する場合、それぞれのセキュリティカテゴリに対してセキュリティ範囲を指定できません。オブジェクト範囲の選択画面で、セキュリティカテゴリの有効なドメインまたはアプリケーションが表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。セキュリティカテゴリにセキュリティ範囲を割り当てようとすると、適切なドメインまたはアプリケーションが表示されます。

ADAM/Active Directory ポリシーストアに対する XPSImport の一部インポートオプションが失敗する(65758)

症状:

ADAM または Active Directory のポリシーストアで XPSImport の実行を試行する場合、XPSImport の ADD/OVERLAY/REPLACE オプションを使用すると、オブジェクトが正しくインポートまたは更新されませんでした。

解決方法:

この問題は修正されました。ADD/OVERLAY/REPLACE オプションを使用して、ADAM または Active Directory のポリシーストア内のポリシーストアオブジェクトを正常にインポートまたは更新できます。

Solaris レポートを作成できない(65951)

症状:

ポリシー サーバが、サポートされている Solaris システムにインストールされている場合、「リソース別ユーザ」または「ユーザ別リソース」レポートで有効な情報が返されません。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシー サーバがインストールされているプラットフォームにかかわらず、両方のレポートで有効な情報が返されます。

ポリシー管理者がユーザ ディレクトリを選択できない(66008)

症状:

ポリシーを作成する際、ポリシー管理に制限された管理者はユーザ ディレクトリを選択することができません。

解決方法:

この問題は修正されました。ポリシーを作成する際、ポリシー管理者はユーザ ディレクトリを選択できます。

管理 UI インストール ログに致命的でないエラーが表示される(66106)

症状:

管理 UI インストール ログに致命的ではないエラーが表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。致命的ではないエラー メッセージは、管理 UI インストール ログに表示されません。

ロールの説明が保存されない(66274)

症状:

ロールを作成する際に説明を保存することができません。

解決方法:

この問題は修正されました。

アプリケーションで複数のロールがサポートされない(66460)

症状:

複数のロールが含まれるようにアプリケーションを変更することができません。

解決方法:

この問題は修正されました。アプリケーションに複数のロールを含めることができます。

SMDIF のアップグレードで SAML 1.x シングル サインオン プロパティが見つからない

症状:

6.0 SP5 CR 04 では、SAML 1.x シングル サインオン用のリダイレクト URL の使用をサポートするために、新規プロパティが `smppolicy.smdif` ファイルに追加されました。ただし、このプロパティはアップグレード SMDIF ファイルには含まれていませんでした。そのため、フェデレーション環境では、このプロパティを取得するため、ポリシー ストアをアップグレードした後に `smppolicy.smdif` の再インポートが必要でした。

解決方法:

この問題は修正されました。アップグレード SMDIF ファイルには、SAML 1.x シングル サインオン用のリダイレクト URL の使用をサポートするプロパティが含まれるようになりました。ポリシー ストアを r12.0 SP3 にアップグレードした後に `smppolicy.smdif` を再度インポートする必要はありません。

大規模な XPS ストアでポリシー サーバの初期化が失敗する(66468)

症状:

大規模な XPS LDAP ストアでは、ポリシー サーバの初期化に失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシー サーバで NULL 値を含むレスポンス属性が無視される(67558)

症状:

ポリシー サーバでは、NULL 値を含むレスポンス属性をすべて無視し、NULL 値を含むレスポンス属性を Web エージェントに送信しません。

解決方法:

レジストリ キー「Enable Null Value Response」を作成および編集することにより、ポリシー サーバが NULL 値を含むレスポンス属性を Web エージェントに送信するよう設定します。

レジストリ キーを作成および有効化する方法

1. 以下の場所に Enable Null Value Response レジストリ キーを作成します。

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\PolicyServer

注: キー タイプを REG_DWORD として設定します。

2. 値を 1 (有効) に設定します。

注: 値は 0 (無効) または 1 (有効) である必要があります。0 または 1 以外の値が設定された場合、レジストリ キーは無効になります。レジストリ キーが無効になった場合、ポリシー サーバは NULL 値を含むレスポンス属性をすべて無視します。

変数作成ウィザードで余計な手順が追加される(69856)

症状:

ドメインの作成タスクで変数を作成する際、変数作成ウィザードでは、誤って手順が 1 つ追加されます。

解決方法:

変数作成ウィザードは表示されなくなったため、この問題も発生しなくなりました。

SAML アサーション変数の値が保存されない(69857)

症状:

管理 UI で SAML アサーションタイプの変数を作成すると、[クエリ]フィールドに入力した値が保存されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

変数作成タスクをキャンセルするとエラーになる(69859)

症状:

[変数の定義]ペインで[変数の作成]タスクをキャンセルすると、エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

管理 UI で評価版の期限切れメッセージが間違っ表示される(71177/78997)

問題

管理 UI で、ポリシー サーバに有効なライセンスが存在する場合でも、SiteMinder 評価期間が期限切れになったことを示すメッセージが表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

メモリリークによりアプリケーションが失敗する(71584)

症状:

Windows および Linux のポリシー サーバ上で、Oracle、SQL、SunOne のユーザーストアを使用してアプリケーションが実行されている場合、メモリリークが発生し、アプリケーションは失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

静的変数値が検証されない(71593)

症状:

静的な変数に割り当てられた値は、変数の戻り型に対して比較および検証されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

r12 SP1 ポリシー サーバが XPSImport の実行時にクラッシュする(71814)

症状:

XPSExport および r12 SP1 より古いポリシー サーバを使用して別のポリシー ストアからエクスポートされたポリシー ストア データに対して XPSImport を実行すると、r12 SP1 ポリシー サーバがクラッシュします。

解決方法:

エクスポートの後、およびインポートの前に、TrustedHost オブジェクトを含む XPS インポートファイルから以下の 2 つの属性を削除します。

- SecretGenTime
- SecretUsedTime

[Null に設定]チェック ボックスのデフォルトが正しくない(72038)

症状:

[変数の作成]ペイン上で[変数のタイプ]に「スタティック」が設定されている場合、[Null に設定]チェック ボックスが誤ってデフォルトで選択されてしまいます。

解決方法:

[Null に設定]チェック ボックスはデフォルトでは選択されません。

変数式を更新するとランタイムでエラーになる(72182)

症状:

管理 UI でポリシーの変数式が更新された場合、UI は変数リストをポリシー サーバに渡さないため、ランタイムで式が失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

smcompliance の実行によるコア ダンプの発生 (72295)

症状:

smcompliance ツールを実行すると、シャットダウンおよびクリーンアップ時にコア ダンプが生じることがあります。

解決方法:

この問題は修正されました。

XPS ツールでポリシー オブジェクトを削除できない (72352)

症状:

ポリシー ストアがノベル eDirectory であるとき、XPS ツールは政策目的を削除することができず、エラーをレポートすることができます。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシー サーバでポリシーが適用できないエラーが報告される (72434/80261)

症状:

ポリシー サーバで、実際にはポリシーが適用されていても「ポリシーが適用されない」というエラーが報告されます。

解決方法:

ポリシー サーバでは、実際のエラーの状況を示すメッセージが報告されるようになりました。たとえば、ポリシー サーバが許可ディレクトリに接続できない場合、「許可ディレクトリにアクセスできませんでした」という内容のメッセージが報告されます。

STAR イシュー番号: 17166455-1

パスワードポリシーの変更ペインで空白フィールドが表示される(72479)

症状:

[パスワードポリシーの変更]ペインで、[最小文字数]および[最小の文字数または桁数]フィールドに、設定済みの値ではなく空白が表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

コンソールモードでの管理 UI のインストールが失敗する(72760)

症状:

オブジェクトおよび管理ストアが SQL2005 である場合、管理 UI をコンソールモードでインストールすると失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ルールの削除ペインに情報が見つからない(72903)

症状:

[ルールの削除]ペインで、ドメイン名およびレルム名が表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

管理者のフルネームが表示されない(73071)

症状:

[管理者の作成]ペインで、管理者にするユーザを検索および選択する際、ユーザのフルネームが[名前]フィールドに表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

ユーザ別リソース レポートにリソースが見つからない(73260)

症状:

「ユーザ別リソース」レポートに、1 つまたは複数のリソースが表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

エージェントグループにエージェントを追加するとエラーになる(73337)

症状:

エージェントグループにエージェントを追加すると、管理 UI がハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

管理 UI ログイン エラーによってポリシー サーバがハングする(73454/80263)

症状:

「xerces-c_1_5_1.dll が見つかりません。アプリケーションを再インストールするとこの症状:が修正される場合があります」という管理 UI ログイン エラーによってポリシー サーバがハングします。

解決方法:

このエラーが表示されなくなり、ポリシー サーバもハングしなくなりました。

STAR イシュー番号: 17097843:01

表示権限を持つ管理者が変数を更新できる(73551)

症状:

2つのセキュリティカテゴリ(ドメイン管理および変数管理)で表示権限を持つ管理者は、変数を作成、変更、削除できます。

解決方法:

これらのセキュリティカテゴリで表示権限を持つ管理者は変数を更新することができなくなりました。

起動時にポリシー サーバがクラッシュする(73718/80153)

症状:

ポリシー サーバが起動時にクラッシュします。

解決方法:

この動作は、複数の大規模なハードウェア プラットフォーム上で発生していましたが、修正されました。

STAR イシュー番号: 17237873-01

XPSDDInstall が OpenLDAP で失敗する(73944)

症状:

XPSDDInstall を使用して OpenLDAP ディレクトリ サーバでポリシー ストア データ定義をインポートすると、複数のエラーがレポートされます。

解決方法:

サポートされている LDAP ディレクトリで、サーバ側の並べ替えをサポートしていないのは OpenLDAP のみです。そこで、OpenLDAP では、すべての並べ替えをクライアント側で実行する必要があります。これを可能にするため、すべての XPS オブジェクトは、サーバ側のページングを使用して起動時に取得されます。クライアント側での並べ替えをサポートするには、OpenLDAP ディレクトリ管理者は slapd.conf ファイルを編集する必要があります。

注: 詳細については、「ディレクトリ設定ガイド」を参照してください。

ポリシー サーバでユーザ別リソースが正しく生成されない(74007)

症状:

リソースフィルタが正規表現である場合、ポリシー サーバでは「ユーザ別リソース」レポートを正しく生成できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

レスポンス属性値が正しく表示されない(74333)

症状:

レスポンス属性がタイプ `WebAgent-OnAccept-Redirect` である場合、レスポンス属性値は正しく表示されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシー サーバプロセスが停止しない(74637)

ODBC ユーザストアが設定された Windows ポリシー サーバで有効

問題

ポリシー サーバは正しく停止しますが、サービスは引き続き実行されます。ポリシー サーバを停止した後に、手動でポリシー サーバ サービスを停止する必要があります。

解決方法:

この問題は修正されました。

エラーにより SSO が失敗する(74765/80265)

症状:

Cookie 名が一致しないというエラーによって SSO が失敗します。

解決方法:

このエラーは、ユーザの DN および Cookie DN が一致し、大文字小文字が一致しない場合に発生しました。この問題を解決するため、両方の DN は小文字に変換されてから比較されます。

STAR イシュー番号: 17367123-2

サブレルム領域を作成できない(74932)

症状:

最上位のレルムのアクティブなエージェントがエージェント グループである場合、サブレルムの作成は失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

XPSImport/Export の暗号化機能でクラッシュが発生する(75167)

症状:

暗号プロバイダのバグが原因で、XPSImport および XPSExport で使用される暗号化機能によってクラッシュが発生することがあります。

解決方法:

この問題は修正されました。

フォーム認証方式設定で失敗する(75493)

症状:

形式認証方式を作成する際、[この認証方式に対してパスワード ポリシーを有効にする]というチェックボックスがデフォルトでオンになっています。しかし、この設定が原因でパスワード サービスが失敗します。

解決方法:

[この認証方式に対してパスワード ポリシーを有効にする]チェックボックスは設計どおりに機能します。

- チェックボックスが選択されている場合、ユーザはパスワード変更ページにアクセスできます。
- チェックボックスが選択されていない場合、ユーザはパスワード変更ページにアクセスできません。

匿名認証方式でチェックボックスが無効にならない(75509)

症状:

[認証方式の変更]ペインで匿名認証方式を変更する場合、[この認証方式に対してパスワード ポリシーを有効にする]チェックボックスは選択不可である必要がありますが、選択可能な状態になります。

解決方法:

このチェックボックスは無効になり、選択できなくなりました。

証明書のための認証方式がカスタム証明書マッピングで失敗する(75552/80266)

症状:

LDAP ユーザ ディレクトリにカスタムの証明書マッピングを作成すると、その結果として作成される検索クエリ文字列には、[証明書マッピングの作成]ペインで指定したマッピング式に加えて、LDAP ユーザ DN 検索の先頭文字列およびユーザ DN 検索の終端文字列が含まれます。作成されたクエリは無効で、検索に失敗します。

解決方法:

以下のレジストリ キーを設定することにより、検索クエリ文字列から DN 先頭文字列および終端文字列を除外できます。

`\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion\PolicyServer\EnableCustomExprOnly`

以下のように値を設定します。

- value = 1
検索クエリ文字列から DN 検索の先頭文字列および終端文字列を除外します。
- 値/=1 (デフォルト)
検索クエリ文字列に DN 検索の先頭文字列および終端文字列を含めます。

STAR イシュー番号: 17360040-01

管理 UI がハングする(75788)

症状:

レコードを抽出する際、レコードの番号が 500 の倍数の場合に管理 UI がハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

ETPKI の管理 UI インストールが失敗する(75954)

症状:

管理 UI が ETPKI をインストールする場合、インストールは失敗し、エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

r12 SP1 CR1 への管理 UI のアップグレードで Framework エラーが発生する (76012)

症状:

WebSphere 管理 UI を r12 から r12 SP1 CR1 にアップグレードした後、ポリシーサーバに管理 UI を登録すると Framework エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシーサーバの発行コマンドにより正しくないファイル権限でファイルが作成される (76159/80570)

問題

ポリシーサーバの発行コマンドによって、`smpublish.xml` ファイルが作成されますが、デフォルトのファイル権限の値が正しくありません。

解決方法

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17505881-1

ポリシーサーバで OCSP レスポンド証明書検証を確認しない (76212/80203)

症状:

ポリシーサーバでは、OCSP レスポンド証明書検証をチェックせず、ユーザディレクトリに指定されている認証機関 (CA) によって発効された DER でエンコードされたバイナリ証明書が有効かどうかを確認しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17461668:01

ユーザ コンテキストが初期化されているかどうかの戻り型が正しくない(76247)

症状:

[変数の定義] ペインで、[変数のタイプ] ドロップダウンリストから [ユーザ コンテキスト] を選択し、[項目] ドロップダウンから [ユーザ コンテキストは初期化されていますか] を選択した場合、デフォルトで戻り型がブール値ではなく文字列に設定されます。

解決方法:

戻り型がデフォルトでブール値に設定されます。

認証方式の変更タスクでフィールドを更新できない(76480)

症状:

認証方式の変更タスクで、[相対ターゲットを使用] が選択されている場合、[方式のセットアップ] グループボックスのフィールドを更新できません。

解決方法:

この問題は修正されました。

アプリケーション ロールを削除してもポリシーは削除されない(76621)

症状:

管理 UI でアプリケーションを作成する場合、[ポリシー] タブでロールとリソースを関連付けてポリシーを作成することができます。[ポリシー] タブでは、ロールの選択を解除することによってアプリケーションを変更できます。しかし、その場合、関連付けられているポリシーは削除されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

エンコードされた OID 値により証明書認証が失敗する(76629/80264)

症状:

ポリシー サーバで証明書認証に対して X.509 クライアント証明書サブジェクト DN の OID 値を抽出すると、OID 値が必要な文字列の形式ではなくエンコードされた形式になっています。このため、認証に失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17515216;01+17490798;01

レールム作成タスクが匿名認証方式で失敗する(76634)

症状:

匿名認証方式でレールムを作成すると、エラー メッセージが表示されます。このエラーは、Internet Explorer を使用して管理 UI にアクセスすると発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ビューでフォーム認証方式を変更するとエラーになる(76642)

症状:

管理 UI でフォーム認証方式を表示し、[変更]をクリックすると、エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

Windows 認証方式で相対ターゲットがサポートされない(76980/81280)

症状:

Windows 認証方式を作成する場合、この認証方式で保護するターゲットまたはリソースに対して相対パスを指定できません。

解決方法:

Windows 認証方式を作成する場合、[相対ターゲットを使用]チェックボックスを選択し、この認証方式で保護するターゲットまたはリソースの相対パス名を指定できるようになりました。このチェック ボックスをオンにすると、[サーバ名]フィールドは淡色表示になります。

STAR イシュー番号: 16829145-01

レスポンスでユーザグループが返されない(77151/80571)

症状:

レスポンスが呼び出されたときにユーザが属するユーザグループを返しません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17515653-1;+16652769-1

ユーザが1つのディレクトリで無効になるとポリシー サーバが停止する (77175/80272)

症状:

事例: 1人のユーザが2つのユーザ ディレクトリに存在し、両方のディレクトリで同じパスワードを持っています。2つのディレクトリの1番目で、ユーザが無効になったとします。2つのユーザ ディレクトリは1つの認証ポリシーにバインドされています。

正しい動作: ユーザが最初のユーザ ディレクトリで無効になっても、ポリシー サーバは2番目のユーザ ディレクトリに対してユーザを認証できます。

問題のある動作: ユーザが認証しようとする、ポリシー サーバは「ユーザが無効」というエラーを返し、処理を停止します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17405689:01

トレース ログに機密データがクリア テキストで表示される(77314)

問題

SiteMinderトレースログで、認証されたユーザのパスワードがクリア テキストで表示されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

すべてのユーザを手動でポリシーに追加するとエラーになる(77440)

症状:

1つのディレクトリでユーザを認証し、ディレクトリ マッピングを使用して別のディレクトリでユーザを許可するポリシーを作成する場合、すべてのユーザを許可ディレクトリに手動で追加すると、エラーが発生します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ロールの評価が AD ネームスペースでサポートされない(77450)

症状:

ユーザ ディレクトリ接続が AD ネームスペースを使用して設定されている場合、ロールの評価に失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ブールでないメンバシップ式がエラーにならない(77654)

症状:

アプリケーションでロールを作成する場合、メンバシップ式にブールでない式を指定してもエラーになりません。

解決方法:

メンバシップ式にブール以外の式を指定するとエラーになります。

ポリシー サーバが DataDirect ドライバの古いバージョンでインストールされる(77656/79073)

HP-UX にインストールされたポリシー サーバで有効

問題

HP-UX 上へのポリシー サーバのインストール

- DataDirect ドライバのバージョン 2.1 がインストールされます。
- sqlserverwire.ini および oraclewire.ini ファイルで Wire プロトコルのバージョン 5.1 が参照されます。

解決方法:

この問題は修正されました。HP-UX 上へのポリシー サーバのインストール

- DataDirect ドライバのバージョン 2.3 がインストールされます。
- sqlserverwire.ini および oraclewire.ini ファイルで Wire プロトコルのバージョン 5.3 が参照されます。

ポリシー サーバがシャットダウン中に失敗する(77780/80154)

症状:

シャットダウン中に監査ログ ファイルにアクセスすると、ポリシー サーバが失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

パスワード ポリシー作成ペインで選択したユーザが表示されない(77874)

症状:

ODBC ユーザ ディレクトリの一部に適用されるパスワード ポリシーを作成する場合、[ユーザの検索]ペインで特定のユーザを選択しても、[パスワード ポリシーの作成]ペインで[ユーザ ディレクトリ情報]グループボックスが更新されません。

解決方法:

この問題は修正されました。

共有秘密鍵がセッション キーと共にロールオーバーする(78685/80156)

症状:

セッション キーがロールオーバーすると、共有秘密鍵もロールオーバーします。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17642192:01

SunONE Web エージェントの負荷分散が適切に機能しない(78821)

Solaris にインストールされた SunONE Web エージェントで有効

問題

ポリシー サーバ クラスタと通信するよう設定された Web エージェントで、ポリシー サーバからの応答時間に基づいてリクエストを適切に配分していません。ポリシー サーバが使用不可の状態になった場合、Web エージェントは、引き続きそのポリシー サーバにアクセスし、クラスタ内の他の使用可能なポリシー サーバに負荷を分散しません。そのため、パフォーマンスが著しく低下します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17608164

ポリシー サーバを停止して監査ログを有効にするとハングする(78833/80155)

症状:

ポリシー サーバを停止し、監査ログをすべてのポリシー ストア オブジェクトに有効にすると、ポリシー サーバがハングします。

解決方法:

この問題は修正されました。

暗号化されたエージェント設定オブジェクト プロパティが XPSExport で破損する (79000)

問題

XPSExport ユーティリティを使用したエクスポート中に、6.x ポリシー サーバ管理 UI で作成された暗号化されたエージェント設定オブジェクト プロパティが破損します。

解決方法:

この問題は修正されました。

注: CR3 以前に XPS でエクスポートされたファイル内にある暗号化されたエージェント設定プロパティは、今後も破損します。これらのファイルがリストアされた場合、それぞれのプロパティは手動で再入力される必要があります。

初期化ファイルに未使用の値が含まれている (79073)

UNIX ポリシー サーバ インストールで有効

問題

oraclewire (oraclewire.ini) および system_odbc (system_odbc.ini) 初期化ファイルに、ログイン ID とパスワードの値が含まれています。これらの値は使用されません。これらの値は、監査、ポリシー、セッション、ユーザ ストアを設定するときに 管理 UI およびポリシー サーバ管理コンソールに入力します。

解決方法:

この問題は修正されました。初期化ファイルにログイン ID とパスワードの値は含まれなくなりました。

Oracle RAC への複数のポリシー サーバ接続が失敗する(79316)

Windows ポリシー サーバ インストールで有効

問題

ポリシー サーバで、Oracle RAC への複数のデータストア接続がサポートされません。最初の接続が確立されたら、後続の接続は失敗します。DataDirect エラーが表示され、SiteMinder 以外のアプリケーションで DataDirect ドライバを使用するためのライセンスがない旨が通知されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

無効な ID で認証が試行された場合にポリシー サーバが失敗する (79489/80269)

症状:

無効なユーザ ID で認証が試行された場合、ポリシー サーバは失敗します。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17687684-01

-xc/-xd/-xs オプションで作成されたファイルを XPSImport でインポートできない (79833)

問題

XPSImport は、-xc、-xd、または -xs のいずれかのオプションを使用して作成されたエクスポート ファイルをインポートしません。

解決方法

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17669667

パスワード変更が AD で失敗した場合にパスワード変更フラグがリセットされる (79852/81042)

症状:

パスワード変更が Active Directory (AD) で失敗すると、パスワード変更フラグがリセットされ、新しいパスワードが必要な場合でも古いパスワードを使用してそのユーザを認証することが可能になります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17651196-1

ポリシー サーバ ログがロールオーバーしない (80385/82497)

症状:

ロールオーバー間隔が時間ベースで設定されていても、ポリシー サーバ ログがロールオーバーしません。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17730333-1

許可ディレクトリで無効になっているユーザが許可される (80437/82501)

症状:

ディレクトリ マッピングが設定されている場合、許可ディレクトリで無効になっているユーザが許可されます。

解決方法:

この問題は修正されました。

1024 文字より長いログ エントリが連結される(80474/82503)

症状:

1024 文字より長いログ エントリは、ログ ファイル内で次の行と連結されます。

症状:

4096 文字を保持するためにバッファ サイズが増加されたため、この問題は解決しました。

STAR イシュー番号: 17602184

ライセンス期限切れの警告メッセージが誤って表示される(80874)

問題

ライセンスが 60 日間の警告期間内に期限切れにならない場合でも、ライセンス期限切れ警告メッセージが管理 UI に表示されます。

解決方法

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17749732-1、17706769-1

無効なユーザが最大ログイン回数を超過すると有効になる(81291/82101)

症状:

無効なユーザがログインを試行し、パスワード ポリシーによって許可されている最大回数より多く失敗した場合、パスワード ポリシーによって決められている時間だけ待機すると有効になります。

解決方法:

この問題は修正されました。

STAR イシュー番号: 17738132-1

許可ディレクトリが停止するとポリシー サーバは失敗する(81791/82508)

症状:

ディレクトリ マッピングが設定され、許可ディレクトリが停止した場合、保護されているリソースにユーザがアクセスしようとする時ポリシー サーバが失敗し、再起動または停止します。

解決方法:

この問題は修正されました。

ポリシー サーバトレース ログが設定された時間でロールオーバーしない(81978/82573)

症状:

ポリシー サーバトレース ログのロールオーバー時間が 00: 00 に設定されている場合、ログは設定されたとおりにロールオーバーされません。

解決方法:

この問題は修正されました。

ACE/SecurID 認証中にポリシー サーバが失敗する(82098)

問題

RSA ACE/SecurID 認証方式を使用した認証中にポリシー サーバが失敗します。

解決方法

この問題は修正されました。

CA SiteMinder SSO 統合が FIPS モードでサポートされない(82141)

問題

CA SiteMinder SSO 統合が FIPS モードでサポートされていません。

解決方法

CA SiteMinder SSO 統合は、CR03 以降のリリースにおいて FIPS モードでサポートされています。

ポリシー サーバ管理コンソールのプロファイラ出力が過剰(80574/88689)

症状:

SiteMinder 6.0 以降から SiteMinder 12.0 以降にアップグレードする場合、ポリシー サーバ管理コンソールの[プロファイラ]タブで設定されたトレース出力が過剰になります。

解決方法:

トレース出力の管理に役立つ 2 つの新機能がポリシー サーバ管理コンソールに追加されました。これは、[プロファイラ]タブで[設定構成]をクリックして表示される画面の[コンポーネント]および[フィルタ]タブにそれぞれ追加されています。

[コンポーネント]タブでは、Login_Logout/Authorization および isAuthorized コンポーネントが選択されている場合、以下の 2 つの新しいサブコンポーネントを個別に選択したり選択解除したりすることができます。

- Receive_Request
- Send_Response

[フィルタ]タブでは、2 つの新しいフィルタを含む 4 つのフィルタを選択できるようになりました。既存のフィルタ「等しい」および「等しくない」に加え、以下の新規フィルタが追加されました。

- 次を含む
- 次を含まない

新規サブコンポーネントの選択を解除するか、または新しいフィルタを使用することによって、トレース出力を減らすことができます。

STAR イシュー番号: 17523948-2

複数のポリシー サーバによるポリシー ストアの共有

症状:

複数のポリシー サーバが 1 つのポリシー ストアまたは複製された 2 つのポリシー ストアを共有する場合、予期したとおりに動作しません。

解決方法:

FlushObjCache という名前の DWORD レジストリ キーを以下の場所に追加します。

```
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Netegrity\SiteMinder\CurrentVersion  
\ObjectStore
```

このキー値が 1 に設定され、Flush All コマンドが実行されると、プライマリおよびセカンダリのポリシー サーバのキャッシュがフラッシュされ、ポリシー ストアから再構築されます。プライマリ キャッシュはオブジェクト キャッシュです。詳細については、ポリシー サーバ管理ガイドを参照してください。

STAR イシュー番号: 16957333

ポリシー評価が正しくない(85346/87104)

症状:

ポリシーの評価が正しくありません。

解決方法:

実行時にコマンド `smpolicysrv` を新しいコマンドライン オプション `-flushcache` と共に使用して、ポリシー サーバ キャッシュをフラッシュします。このオプションを指定すると、ポリシー サーバでは、ポリシー ストアからの最新のデータでキャッシュが再構築されます。

STAR イシュー番号: 18075700-01

第 10 章：国際化サポート

「国際化」製品とは、所定のローカル言語版オペレーティング システムおよびサードパーティ製品上で正常に動作し、データの入出力においてローカル言語をサポートする英語版製品です。また、国際化製品は、日付、時間、通貨、および番号形式のローカル言語変換を指定できる機能をサポートしています。

「翻訳済み」製品（「ローカライズ済み」製品とも言います）とは、製品のユーザーインターフェース、オンラインヘルプ、その他ドキュメントのローカル言語サポートに加えて、日付、時刻、通貨、数値に関してローカル言語でのデフォルトの書式設定をサポートする国際化製品です。

SiteMinder は、SiteMinder r12sp3 J 用のプラットフォーム サポート マトリックスで示されているとおりに、国際化およびローカライズが行われています。

第 11 章: マニュアル

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) (P. 161)

[マニュアルのリリース番号](#) (P. 161)

[コマンドライン スクリプト\(CLI\)のドキュメント](#) (P. 162)

SiteMinder マニュアル選択メニュー

SiteMinder に関する詳細情報は [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) から参照できます。[SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を使用すると、以下のことを実行できます。

- 1 つのコンソールを使用して [SiteMinder](#) について公開されているすべてのドキュメントを表示する。
- 1 つのアルファベット順索引を使用して、任意のマニュアル内のトピックを見つける。
- すべてのマニュアルで 1 つ以上の単語を検索する。

[CA テクニカル サポート サイト](#) から [SiteMinder マニュアル選択メニュー](#) を表示してダウンロードします。マニュアル選択メニューにアクセスするためにサイトにログインする必要はありません。

ドキュメントをダウンロードする予定である場合は、インストールを開始する前にダウンロードすることをお勧めします。

マニュアルのリリース番号

マニュアルの表紙に記載されているリリース番号は、必ずしも現在の製品リリース番号に対応するとは限りません。しかし、製品と併せて提供されるすべてのドキュメントは、表紙に記載されているリリース番号に関係なく、その製品リリースをサポートします。

リリース番号は、新規または更新された製品のリリースをサポートするためにマニュアルが大幅に変更される場合のみ変更されます。マニュアルに実質的な変更が加えられていない場合、リリース番号は変わりません。たとえば、**r12** 用のマニュアルは、**r12 SP1** でも有効です。マニュアルのブックシェルフは常に現在の製品リリース番号を反映しています。

場合によっては、新規または更新のリリース以外でマニュアルが更新されることもあります。サポートするすべてのリリースでマニュアルの記述が無効にならないよう、わずかな変更が施されたことを示すために、カバー ページの版番号が更新されます。最初のエディションには、エディション番号はありません。

コマンドライン スクリプト(CLI)のドキュメント

Perl CLI API のガイダンスおよび参照情報は「Perl Programming Guide」に統合されました。このドキュメントは SiteMinder マニュアル選択メニューから参照可能です。CLI 参照の Perl POD 形式はサポートされなくなりました。

付録 A: プラットフォーム サポートおよびインストール メディア

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス \(P. 163\)](#)

[マニュアル選択メニューの使用 \(P. 164\)](#)

[インストールメディアの検索 \(P. 164\)](#)

SiteMinder プラットフォーム サポート マトリックスへのアクセス

SiteMinder によりサポートされる CA およびサードパーティコンポーネントの全体的なリストについては、テクニカル サポート サイトを参照してください。

サポート サイトからサポート マトリックスを参照する方法

1. [テクニカル サポート サイト](#)にログインします。
2. [Support]の下で、[Support By Product]をクリックします。
3. [Select a Product Page]フィールドに「CA SiteMinder」を入力し、Enter キーを押します。

CA SiteMinder 製品ページが表示されます。

4. [Product Status]セクションをスクロールし、CA SiteMinder Family of Products Platform Support Matrices をクリックします。

注: 最新の JDK および JRE バージョンは、[Sun Developer Network](#) でダウンロードできます。

マニュアル選択メニューの使用

SiteMinder マニュアル選択メニューはテクニカル サポート サイトで提供されています。

サポート サイトからサポート マトリックスを参照する方法

1. [テクニカル サポート サイト](#)にアクセスします。
注: ログインする必要はありません。
2. (任意) [Get Support] タブが前面にない場合は、[Get Support] をクリックします。
3. [Find Product News and Support] の下で [Product Pages] をクリックします。
[Support by Product] ページが表示されます。
4. [Select a Product Page] フィールドに CA SiteMinder を入力して Enter キーを押します。
CA SiteMinder 製品 ページが表示されます。
5. マニュアル選択メニューをクリックします。
6. 必要なリリースのリンクをクリックします。
SiteMinder マニュアル選択メニューのメイン ページが表示されます。

インストール メディアの検索

SiteMinder インストール メディアの全体的なリストは、テクニカル サポート サイトで見つけることができます。

サポート サイトからサポート マトリックスを参照する方法

1. [テクニカル サポート サイト](#)にログインします。
2. [Support] の下で、[Download Center]-[Products] をクリックします。
[Download Center] 画面が表示されます。
3. [Select a Product] フィールドに SiteMinder を入力します。
4. [Select a Release] リストからリリースを選択します。

5. [Select a Gen Level]リストからサービス パックを選択します。
6. [Go]をクリックします。

[Product Downloads]画面が表示されます。SiteMinder のインストール実行可能ファイルがすべて一覧表示されます。

付録 B: サードパーティ製品の使用条件

このセクションには、以下のトピックが含まれています。

[AIX JRE 1.4.2](#) (P. 167)
[Apache](#) (P. 168)
[Apache Commons Beanutils 1.6.1](#) (P. 175)
[Apache Commons EL v.1.0](#) (P. 178)
[ANTLR 3](#) (P. 181)
[DOM4J](#) (P. 182)
[ICU4C](#) (P. 183)
[JBoss](#) (P. 184)
[JDOM 1.0](#) (P. 188)
[JWSDP 1.3](#) (P. 189)
[LDAP SDK 6.0.4](#) (P. 189)
[MIT Kerberos](#) (P. 202)
[Open SSL](#) (P. 209)
[Oracle JDBC Driver 10g Release 2](#) (P. 214)
[PCRE 6.3](#) (P. 215)
[RSA](#) (P. 216)
[Rhino](#) (P. 217)
[SAXPath](#) (P. 228)
[SNMP Java Toolkit](#) (P. 229)
[Sun JDK 1.6.0](#) (P. 230)
[WSDL4J](#) (P. 238)
[Zlib 1.2.3](#) (P. 239)
[ZThread 2.3.2](#) (P. 240)

AIX JRE 1.4.2

CONTAINS IBM(R) 32-bit Runtime Environment for AIX(TM), Java(TM) 2
Technology Edition, Version 1.4 Modules (c) Copyright IBM Corporation 1999,
2002 All Rights Reserved

Apache

Portions of this product include software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>):

- Apache Ant
- Apache Axis 1.2.1
- Apache Commons Beanutils
- Apache Commons CLI v.1.2
- Apache Commons Codec 1.3
- Apache Commons Collections 3.1
- Apache Commons DBCP
- Apache Commons Discovery
- Apache Commons Digester
- Apache Commons FileUpload 1.2
- Apache Commons HTTP Client 2.0.2
- Apache Commons Lang 2.1
- Apache Commons Logging 1.0.4
- Apache Commons Pool v.1.3
- Apache Commons Validator 1.2.0
- Apache Commons SSL (Incubator)
- Apache DS v.1.5.4
- Apache Jakarta Taglibs Standard 1.0.6
- Apache JSTL
- Apache Log4j
- Apache Myfaces v.1.1.4
- Apache ORO
- Apache Slide
- Apache SOAP
- Apache Struts v.1.2.9
- Apache Tomcat 5.5.20

- Apache Tomahawk
- Apache Velocity Engine 1.4
- Apache Xalan-C
- Apache Xalan-J v.2.7.1
- Apache Xerces-C v2.8
- Apache Xerces2 Java Parser 2.9.0, as well as the Apache Xerces2 Java Parser 2.9.0 subcomponents set forth below.
- Apache XML Security

The Apache software is distributed in accordance with the following license agreement.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

- a. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
- b. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
- c. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
- d. If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

<http://www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-documents-20021231>

Public documents on the W3C site are provided by the copyright holders under the following license. By using and/or copying this document, or the W3C document from which this statement is linked, you (the licensee) agree that you have read, understood, and will comply with the following terms and conditions:

Permission to copy, and distribute the contents of this document, or the W3C document from which this statement is linked, in any medium for any purpose and without fee or royalty is hereby granted, provided that you include the following on ALL copies of the document, or portions thereof, that you use:

A link or URL to the original W3C document.

The pre-existing copyright notice of the original author, or if it doesn't exist, a notice (hypertext is preferred, but a textual representation is permitted) of the form: "Copyright[©] [\$date-of-document] World Wide Web Consortium, (Massachusetts Institute of Technology, European Research Consortium for Informatics and Mathematics, Keio University). All Rights Reserved.
<http://www.w3.org/Consortium/Legal/2002/copyright-documents-20021231>"

If it exists, the STATUS of the W3C document.

When space permits, inclusion of the full text of this NOTICE should be provided. We request that authorship attribution be provided in any software, documents, or other items or products that you create pursuant to the implementation of the contents of this document, or any portion thereof.

No right to create modifications or derivatives of W3C documents is granted pursuant to this license. However, if additional requirements (documented in the Copyright FAQ) are satisfied, the right to create modifications or derivatives is sometimes granted by the W3C to individuals complying with those requirements.

THIS DOCUMENT IS PROVIDED "AS IS," AND COPYRIGHT HOLDERS MAKE NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, NON-INFRINGEMENT, OR TITLE; THAT THE CONTENTS OF THE DOCUMENT ARE SUITABLE FOR ANY PURPOSE; NOR THAT THE IMPLEMENTATION OF SUCH CONTENTS WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY PATENTS, COPYRIGHTS, TRADEMARKS OR OTHER RIGHTS.

COPYRIGHT HOLDERS WILL NOT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, SPECIAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF ANY USE OF THE DOCUMENT OR THE PERFORMANCE OR IMPLEMENTATION OF THE CONTENTS THEREOF.

The name and trademarks of copyright holders may NOT be used in advertising or publicity pertaining to this document or its contents without specific, written prior permission. Title to copyright in this document will at all times remain with copyright holders.

Apache Commons Beanutils 1.6.1

Apache Commons Beanutils 1.6.1

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>).

The Apache software is distributed in accordance with the following license agreement:

/*

* \$Header: /home/cvspublic/jakarta-commons/beanutils/LICENSE.txt,v 1.3
2003/01/15 21:59:38 rdonkin Exp \$

* \$Revision: 1.3 \$

* \$Date: 2003/01/15 21:59:38 \$

*

*

=====
===

*

* The Apache Software License, Version 1.1

*

* Copyright (c) 1999-2003 The Apache Software Foundation. All rights

* reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

- *
 - * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- *
 - * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- *
 - * 3. The end-user documentation included with the redistribution, if any, must include the following acknowledgement:
 - * "This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."
 - * Alternately, this acknowledgement may appear in the software itself, if and wherever such third-party acknowledgements normally appear.
- *
 - * 4. The names "The Jakarta Project", "Commons", and "Apache Software Foundation" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact apache@apache.org.
- *

* 5. Products derived from this software may not be called "Apache"
* nor may "Apache" appear in their names without prior written
* permission of the Apache Group.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED
* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES
* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT
* LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF
* USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
* AND
* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY,
* OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT
* OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.

*

=====
===

*

* This software consists of voluntary contributions made by many
* individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more

* information on the Apache Software Foundation, please see

* .

*

*/

Apache Commons EL v.1.0

Apache Commons EL v.1.0

This product includes software developed by the Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>). It was obtained under the following terms:

/*

* \$Header: /home/cvs/jakarta-commons/el/LICENSE.txt,v 1.1.1.1 2003/02/04 00:22:24 luehe Exp \$

* \$Revision: 1.1.1.1 \$

* \$Date: 2003/02/04 00:22:24 \$

*

*

=====
===

* The Apache Software License, Version 1.1

*

* Copyright (c) 1999-2002 The Apache Software Foundation. All rights

* reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

- * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
 - * notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 - *
- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
 - * notice, this list of conditions and the following disclaimer in
 - * the documentation and/or other materials provided with the
 - * distribution.
 - *
- * 3. The end-user documentation included with the redistribution, if
 - * any, must include the following acknowledgement:
 - * "This product includes software developed by the
 - * Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)."
 - * Alternately, this acknowledgement may appear in the software itself,
 - * if and wherever such third-party acknowledgements normally appear.
 - *
- * 4. The names "The Jakarta Project", "Commons", and "Apache Software
 - * Foundation" must not be used to endorse or promote products derived
 - * from this software without prior written permission. For written
 - * permission, please contact apache@apache.org.
 - *

* 5. Products derived from this software may not be called "Apache"

* nor may "Apache" appear in their names without prior written

* permission of the Apache Group.

*

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS|&"&| AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED

* WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES

* OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE

* DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE APACHE SOFTWARE FOUNDATION OR

* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT

* LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF

* USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED
AND

* ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY,

* OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
OUT

* OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF

* SUCH DAMAGE.

```

*
=====
===
*
* This software consists of voluntary contributions made by many
* individuals on behalf of the Apache Software Foundation. For more
* information on the Apache Software Foundation, please see
* <http://www.apache.org/>.
*
*/

```

ANTLR 3

This product includes Antlr which is distributed in accordance with the following license agreement:

ANTLR 3 License

[The BSD License]

Copyright (c) 2005, Terence Parr

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the author nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

DOM4J

This product includes dom4j which is distributed in accordance with the following license agreement:

BSD Style License

Redistribution and use of this software and associated documentation ("Software"), with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain copyright statements and notices.

Redistributions must also contain a copy of this document. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

The name "DOM4J" must not be used to endorse or promote products derived from this Software without prior written permission of MetaStuff, Ltd. For written permission, please contact dom4j-info@metastuff.com.

Products derived from this Software may not be called "DOM4J" nor may "DOM4J" appear in their names without prior written permission of MetaStuff, Ltd. DOM4J is a registered trademark of MetaStuff, Ltd.

Due credit should be given to the DOM4J Project - <http://www.dom4j.org> THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY METASTUFF, LTD. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL METASTUFF, LTD. OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 2001-2005 (C) MetaStuff, Ltd. All Rights Reserved.

ICU4C

ICU4C is distributed in accordance with the following:

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1995-2009 International Business Machines Corporation and others

All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

JBoss

JBoss v.4.2.3

This product is shipped with JBoss v.4.2.3 ("JBoss"), the use of which is governed by the following terms:

LICENSE AGREEMENT

JBOS[®]

This License Agreement governs the use of the Software Packages and any updates to the Software Packages, regardless of the delivery mechanism. Each Software Package is a collective work under U.S. Copyright Law. Subject to the following terms, Red Hat, Inc. ("Red Hat") grants to the user ("Client") a license to the applicable collective work(s) pursuant to the GNU Lesser General Public License v. 2.1 except for the following Software Packages:

(a) JBoss Portal Forums and JBoss Transactions JTS, each of which is licensed pursuant to the GNU General Public License v.2;

(b) JBoss Rules, which is licensed pursuant to the Apache License v.2.0;

(c) an optional download for JBoss Cache for the Berkeley DB for Java database, which is licensed under the (open source) Sleepycat License (if Client does not wish to use the open source version of this database, it may purchase a license from Sleepycat Software); and (d) the BPEL extension for JBoss jBPM, which is licensed under the Common Public License v.1, and, pursuant to the OASIS BPEL4WS standard, requires parties wishing to redistribute to enter various royalty-free patent licenses.

Each of the foregoing licenses is available at <http://www.opensource.org/licenses/index.php>.

1. The Software. "Software Packages" refer to the various software modules that are created and made available for distribution by the JBoss.org open source community at <http://www.jboss.org>. Each of the Software Packages may be comprised of hundreds of software components. The end user license agreement for each component is located in the component's source code. With the exception of certain image files identified in Section 2 below, the license terms for the components permit Client to copy, modify, and redistribute the component, in both source code and binary code forms. This agreement does not limit Client's rights under, or grant Client rights that supersede, the license terms of any particular component.

2. Intellectual Property Rights. The Software Packages are owned by Red Hat and others and are protected under copyright and other laws. Title to the Software Packages and any component, or to any copy, modification, or merged portion shall remain with the aforementioned, subject to the applicable license. The "JBoss" trademark, "Red Hat" trademark, the individual Software Package trademarks, and the "Shadowman" logo are registered trademarks of Red Hat and its affiliates in the U.S. and other countries. This agreement permits Client to distribute unmodified copies of the Software Packages using the Red Hat trademarks that Red Hat has inserted in the Software Packages on the condition that Client follows Red Hat's trademark guidelines for those trademarks located at

<http://www.redhat.com/about/corporate/trademark/>. Client must abide by these trademark guidelines when distributing the Software Packages, regardless of whether the Software Packages have been modified.

If Client modifies the Software Packages, then Client must replace all Red Hat trademarks and logos identified at <http://www.jboss.com/company/logos>, unless a separate agreement with Red Hat is executed or other permission granted. Merely deleting the files containing the Red Hat trademarks may corrupt the Software Packages.

3. Limited Warranty. Except as specifically stated in this Paragraph 3 or a license for a particular component, to the maximum extent permitted under applicable law, the Software Packages and the components are provided and licensed "as is" without warranty of any kind, expressed or implied, including the implied warranties of merchantability, non-infringement or fitness for a particular purpose.

Red Hat warrants that the media on which Software Packages may be furnished will be free from defects in materials and manufacture under normal use for a period of 30 days from the date of delivery to Client. Red Hat does not warrant that the functions contained in the Software Packages will meet Client's requirements or that the operation of the Software Packages will be entirely error free or appear precisely as described in the accompanying documentation. This warranty extends only to the party that purchases the Services pertaining to the Software Packages from Red Hat or a Red Hat authorized distributor.

4. Limitation of Remedies and Liability. To the maximum extent permitted by applicable law, the remedies described below are accepted by Client as its only remedies. Red Hat's entire liability, and Client's exclusive remedies, shall be: If the Software media is defective, Client may return it within 30 days of delivery along with a copy of Client's payment receipt and Red Hat, at its option, will replace it or refund the money paid by Client for the Software. To the maximum extent permitted by applicable law,

Red Hat or any Red Hat authorized dealer will not be liable to Client for any incidental or consequential damages, including lost profits or lost savings arising out of the use or inability to use the Software, even if Red Hat or such dealer has been advised of the possibility of such damages. In no event shall Red Hat's liability under this agreement exceed the amount that Client paid to Red Hat under this Agreement during the twelve months preceding the action.

5. Export Control. As required by U.S. law, Client represents and warrants that it:
 - a. understands that the Software Packages are subject to export controls under the U.S. Commerce Department's Export Administration Regulations ("EAR");
 - b. is not located in a prohibited destination country under the EAR or U.S. sanctions regulations (currently Cuba, Iran, Iraq, Libya, North Korea, Sudan and Syria);
 - c. will not export, re-export, or transfer the Software Packages to any prohibited destination, entity, or individual without the necessary export license(s) or authorizations(s) from the U.S. Government;
 - d. will not use or transfer the Software Packages for use in any sensitive nuclear, chemical or biological weapons, or missile technology end-uses unless authorized by the U.S. Government by regulation or specific license;
 - e. understands and agrees that if it is in the United States and exports or transfers the Software Packages to eligible end users, it will, as required by EAR Section 740.17(e), submit semi-annual reports to the Commerce Department's Bureau of Industry & Security (BIS), which include the name and address (including country) of each transferee; and
 - f. understands that countries other than the United States may restrict the import, use, or export of encryption products and that it shall be solely responsible for compliance with any such import, use, or export restrictions.
6. Third Party Programs. Red Hat may distribute third party software programs with the Software Packages that are not part of the Software Packages and which Client must install separately. These third party programs are subject to their own license terms. The license terms either accompany the programs or can be viewed at

<http://www.redhat.com/licenses/>. If Client does not agree to abide by the applicable license terms for such programs, then Client may not install them. If Client wishes to install the programs on more than one system or transfer the programs to another party, then Client must contact the licensor of the programs.

7. General. If any provision of this agreement is held to be unenforceable, that shall not affect the enforceability of the remaining provisions. This License Agreement shall be governed by the laws of the State of North Carolina and of the United States, without regard to any conflict of laws provisions, except that the United Nations Convention on the International Sale of Goods shall not apply.

Copyright 2006 Red Hat, Inc. All rights reserved.

"JBoss" and the JBoss logo are registered trademarks of Red Hat, Inc.

All other trademarks are the property of their respective owners.

JBoss is open source software that is used with this CA software program (the CA Product). JBoss is not owned by CA, Inc. ("CA"). Use, copying, distribution and modification of JBoss are governed primarily by the GNU Lesser General Public License ("LGPL") version 2.1. A copy of the applicable JBoss license in its entirety can be found in the same directory on the installation disk or electronic download on which JBoss is distributed. CA makes the source code for JBoss available at http://opensrcd.ca.com/ips/06056_1/, and includes a copy of the source code on the same disk or electronic download as the executable code.

Use of the CA Product is governed solely by the CA end user license agreement ("EULA"), not by the JBoss license. You cannot use, copy, modify or redistribute any CA Product code except as may be expressly set forth in the CA EULA. JBoss is provided "AS IS" WITHOUT WARRANTY OR CONDITION OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Further details of the disclaimer of warranty with respect to JBoss can be found in the JBoss license itself. To the full extent permitted under applicable law, CA disclaims all warranties and liability arising from or related to any use of JBoss.

JDOM 1.0

本製品には、JDOM Project (<http://www.jdom.org/>) によって開発されたソフトウェアが含まれています。The JDOM software is distributed in accordance with the following license agreement.

Copyright (C) 2000-2004 Jason Hunter & Brett McLaughlin. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the disclaimer that follows these conditions in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "JDOM" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact .
4. Products derived from this software may not be called "JDOM", nor may "JDOM" appear in their name, without prior written permission from the JDOM Project Management .

In addition, we request (but do not require) that you include in the end-user documentation provided with the redistribution and/or in the software itself an acknowledgement equivalent to the following: "This product includes software developed by the JDOM Project (<http://www.jdom.org/>)." Alternatively, the acknowledgment may be graphical using the logos available at <http://www.jdom.org/images/logos>.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE JDOM AUTHORS OR THE PROJECT CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the JDOM Project and was originally created by Jason Hunter and Brett McLaughlin . For more information on the JDOM Project, please see <http://www.jdom.org>.

JWSDP 1.3

This Product is distributed with JAVA WEB SERVICES DEVELOPER PACK, VERSION 1.3, from Sun Microsystems, Inc. (JWSDP).

The JWSDP is distributed in accordance with the Sun Microsystems, Inc. Software License Agreement. Sun has provided additional copyright notices and disclaimers, and other information that may be applicable to portions of the JWSDP in the THIRDPARTYLICENSEREADME.txt file that accompanies the JWSDP.

LDAP SDK 6.0.4

LDAP SDK 6.0.4

LDAP SDK 6.0.4 is distributed by CA for use with this CA product in unmodified, object code form in accordance with the Netscape Public License 1.1. Source code for LDAP SDK 6.0.4 may be obtained from its authors at <ftp://ftp.mozilla.org/pub/mozilla.org/directory/c-sdk/releases/>. Any provisions in the CA license agreement that differ from the Netscape Public License are offered by CA alone and not by any other party.

AMENDMENTS

The Netscape Public License Version 1.1 ("NPL") consists of the Mozilla Public License Version 1.1 with the following Amendments, including Exhibit A-Netscape Public License. Files identified with "Exhibit A-Netscape Public License" are governed by the Netscape Public License Version 1.1.

Additional Terms applicable to the Netscape Public License.

I. Effect.

These additional terms described in this Netscape Public License -- Amendments shall apply to the Mozilla Communicator client code and to all Covered Code under this License.

II. "Netscape's Branded Code" means Covered Code that Netscape distributes and/or permits others to distribute under one or more trademark(s) which are controlled by Netscape but which are not licensed for use under this License.

III. Netscape and logo.

This License does not grant any rights to use the trademarks "Netscape", the "Netscape N and horizon" logo or the "Netscape lighthouse" logo, "Netcenter", "Gecko", "Java" or "JavaScript", "Smart Browsing" even if such marks are included in the Original Code or Modifications.

IV. Inability to Comply Due to Contractual Obligation.

Prior to licensing the Original Code under this License, Netscape has licensed third party code for use in Netscape's Branded Code. To the extent that Netscape is limited contractually from making such third party code available under this License, Netscape may choose to reintegrate such code into Covered Code without being required to distribute such code in Source Code form, even if such code would otherwise be considered "Modifications" under this License.

V. Use of Modifications and Covered Code by Initial Developer.

V.1. In General.

The obligations of Section 3 apply to Netscape, except to the extent specified in this Amendment, Section V.2 and V.3.

V.2. Other Products.

Netscape may include Covered Code in products other than the Netscape's Branded Code which are released by Netscape during the two (2) years following the release date of the Original Code, without such additional products becoming subject to the terms of this License, and may license such additional products on different terms from those contained in this License.

V.3. Alternative Licensing.

Netscape may license the Source Code of Netscape's Branded Code, including Modifications incorporated therein, without such Netscape Branded Code becoming subject to the terms of this License, and may license such Netscape Branded Code on different terms from those contained in this License.

VI. Litigation.

Notwithstanding the limitations of Section 11 above, the provisions regarding litigation in Section 11(a), (b) and (c) of the License shall apply to all disputes relating to this License.

EXHIBIT A-Netscape Public License.

"The contents of this file are subject to the Netscape Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/NPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is Mozilla Communicator client code, released March 31, 1998.

The Initial Developer of the Original Code is Netscape Communications Corporation. Portions created by Netscape are Copyright (C) 1998-1999 Netscape Communications Corporation. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License?"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the NPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the NPL or the [] License."

MOZILLA PUBLIC LICENSE

Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant. The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant. Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2.

The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License.

If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant.

If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT

LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions.

With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses.

The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/Software> distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.

Portions created by _____ are Copyright (C) _____
_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

MIT Kerberos

This product includes MIT Kerberos v5 r1.5, excluding the OpenVision Kerberos Administration System donated by Kerberos to MIT for inclusion in the standard Kerberos 5 distribution.

Copyright Notice and Legal Administrivia

Copyright (C) 1985-2007 by the Massachusetts Institute of Technology.

All rights reserved.

Export of this software from the United States of America may require a specific license from the United States Government. It is the responsibility of any person or organization contemplating export to obtain such a license before exporting.

WITHIN THAT CONSTRAINT, permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of M.I.T. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Furthermore if you modify this software you must label your software as modified software and not distribute it in such a fashion that it might be confused with the original MIT software.

M.I.T. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED ``AS IS|&"&| AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

Individual source code files are copyright MIT, Cygnus Support, OpenVision, Oracle, Sun Soft, FundsXpress, and others.

Project Athena, Athena, Athena MUSE, Discuss, Hesiod, Kerberos, Moira, and Zephyr are trademarks of the Massachusetts Institute of Technology (MIT). No commercial use of these trademarks may be made without prior written permission of MIT.

"Commercial use" means use of a name in a product or other for-profit manner. It does NOT prevent a commercial firm from referring to the MIT trademarks in order to convey information (although in doing so, recognition of their trademark status should be given).

---- The implementation of the Yarrow pseudo-random number generator in src/lib/crypto/yarrow has the following copyright:

Copyright 2000 by Zero-Knowledge Systems, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in

supporting documentation, and that the name of Zero-Knowledge Systems, Inc. not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Zero-Knowledge Systems, Inc. makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO

THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND

FITNESS, IN NO EVENT SHALL ZERO-KNOWLEDGE SYSTEMS, INC. BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES

ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES

ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTUOUS ACTION, ARISING OUT

OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- The implementation of the AES encryption algorithm in src/lib/crypto/aes has the following copyright:

Copyright (c) 2001, Dr Brian Gladman , Worcester, UK.

All rights reserved.

LICENSE TERMS

The free distribution and use of this software in both source and binary form is allowed (with or without changes) provided that:

1. distributions of this source code include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
2. distributions in binary form include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer
3. the copyright holder's name is not used to endorse products or services, this list of conditions and the following disclaimer

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of any properties, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

--- The implementations of GSSAPI mechglue in GSSAPI-SPNEGO in src/lib/gssapi, including the following files:

lib/gssapi/generic/gssapi_err_generic.et

lib/gssapi/mechglue/g_accept_sec_context.c

lib/gssapi/mechglue/g_acquire_cred.c

lib/gssapi/mechglue/g_canon_name.c

lib/gssapi/mechglue/g_compare_name.c

lib/gssapi/mechglue/g_context_time.c

lib/gssapi/mechglue/g_delete_sec_context.c

lib/gssapi/mechglue/g_dsp_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_dsp_status.c
lib/gssapi/mechglue/g_dup_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_exp_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_export_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_glue.c
lib/gssapi/mechglue/g_imp_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_imp_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_init_sec_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_initialize.c
lib/gssapi/mechglue/g_inq_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_inq_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_inq_names.c
lib/gssapi/mechglue/g_process_context.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_buffer.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_name.c
lib/gssapi/mechglue/g_rel_oid_set.c
lib/gssapi/mechglue/g_seal.c
lib/gssapi/mechglue/g_sign.c
lib/gssapi/mechglue/g_store_cred.c
lib/gssapi/mechglue/g_unseal.c

lib/gssapi/mechglue/g_verify.c

lib/gssapi/mechglue/mglueP.h

lib/gssapi/mechglue/oid_ops.c

lib/gssapi/spnego/gssapiP_spnego.h

lib/gssapi/spnego/spnego_mech.c

are subject to the following license:

Copyright (c) 2004 Sun Microsystems, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS

OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF

MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT.

IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE

SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Acknowledgments

Thanks to Russ Allbery for contributing and integrating patches from Debian and other places.

Thanks to Michael Calmer for contributing patches for code clean-up.

Thanks to Novell for donating the KDB abstraction layer.

Thanks to Sun Microsystems for donating their implementations of mechglue and SPNEGO.

Thanks to the numerous others who reported bugs and/or contributed patches.

Thanks to iDefense for notifying us about the vulnerability in MITKRB5-SA-2007-002.

Thanks to the members of the Kerberos V5 development team at MIT, both past and present: Danilo Almeida, Jeffrey Altman, Justin Anderson, Richard Basch, Jay Berkenbilt, Mitch Berger, Andrew Boardman, Joe Calzaretta, John Carr, Don Davis, Alexandra Ellwood, Nancy Gilman, Matt Hancher, Sam Hartman, Paul Hill, Marc Horowitz, Eva Jacobus, Miroslav Jurisic, Barry Jaspán, Geoffrey King, Kevin Koch, John Kohl, Peter Litwack, Scott McGuire, Kevin Mitchell, Cliff Neuman, Paul Park, Ezra Peisach, Chris Provenzano, Ken Raeburn, Jon Rochlis, Jeff Schiller, Jen Selby, Brad Thompson, Harry Tsai, Ted Ts'o, Marshall Vale, Tom Yu.

Open SSL

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>). This product also includes libraries from an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
OpenSSL is distributed in accordance with the following:

OpenSSL License

/*

=====
===

* Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.

*

* Redistribution and use in source and binary forms, with or without

* modification, are permitted provided that the following conditions

* are met:

*

* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*

* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright

* notice, this list of conditions and the following disclaimer in

* the documentation and/or other materials provided with the

* distribution.

*

- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this
- * software must display the following acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
- * endorse or promote products derived from this software without
- * prior written permission. For written permission, please contact
- * openssl-core@openssl.org.
- *
- * 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"
- * nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
- * permission of the OpenSSL Project.
- *
- * 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
- * acknowledgment:
- * "This product includes software developed by the OpenSSL Project
- * for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS|&"&| AND
- ANY
- * EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
- PARTICULAR

* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*
=====
===

*
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*
*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.
*

- * This package is an SSL implementation written
- * by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
- * The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.
- *
- * This library is free for commercial and non-commercial use as long as
- * the following conditions are aheared to. The following conditions
- * apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
- * lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
- * included with this distribution is covered by the same copyright terms
- * except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).
- *
- * Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
- * the code are not to be removed.
- * If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
- * as the author of the parts of the library used.
- * This can be in the form of a textual message at program startup or
- * in documentation (online or textual) provided with the package.
- *
- * Redistribution and use in source and binary forms, with or without
- * modification, are permitted provided that the following conditions
- * are met:
- * 1. Redistributions of source code must retain the copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
- * notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
- * documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
- * must display the following acknowledgement:
- * "This product includes cryptographic software written by
- * Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
- * The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
- * being used are not cryptographic related :-).
- * 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
- * the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
- * "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
- *
- * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS|&"&| AND
- * ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO,
- THE
- * IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A
- PARTICULAR PURPOSE
- * ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE
- LIABLE
- * FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR
- CONSEQUENTIAL
- * DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
- SUBSTITUTE GOODS
- * OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

- * HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
- * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
- * OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
- * SUCH DAMAGE.
- *
- * The licence and distribution terms for any publically available version or
- * derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
- * copied and put under another distribution licence
- * [including the GNU Public Licence.]
- */

Oracle JDBC Driver 10g Release 2

This Product is distributed with Oracle 10G JDBC Driver Release 2 version 10.2.0.3.0 from Oracle USA, Inc. ('Oracle')

The following additional terms and conditions apply to your use of the Oracle software product ("Oracle Product"):

(1) you may only use the Oracle Product to run the CA Product; (2) to the extent permitted by applicable law, Oracle disclaims liability for any damages, whether direct, indirect, incidental, or consequential, arising from your use of the Oracle Product; (3) at the termination of this Agreement, you must discontinue use and destroy or return to CA all copies of the Product; (4) Oracle is not obligated to provide technical support, phone support, or updates to the Oracle Product hereunder; (5) CA reserves the right to audit your use of the Oracle Product and report such use to Oracle or to assign this right to audit your use of the Oracle Product to Oracle; (6) Oracle shall be a third party beneficiary of this Agreement.

PCRE 6.3

Portions of this product include software developed by Philip Hazel. The University of Cambridge Computing Service software is distributed in accordance with the following license agreement.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel

Email local part: ph10

Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service,

Cambridge, England. Phone: +44 1223 334714.

Copyright (c) 1997-2006 University of Cambridge

All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2006, Google Inc.

All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.



This product includes code licensed from RSA Data Security.

Portions of this product include the following products licensed by RSA, the Security Division of EMC:

- BSAFE Cert-J
- BSAFE Crypto-C
- BSAFE SSL-J

Rhino

Rhino 1.6R4

Rhino is distributed by CA for use with this CA product in unmodified, object code form in accordance with the Mozilla Public License 1.1. Source code for Rhino may be obtained from its authors at <http://www.mozilla.org/rhino/download.html>. Any provisions in the CA license agreement that differ from the MPL are offered by CA alone and not by any other party.

MOZILLA PUBLIC LICENSE

Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. Any addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1. For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant. The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant. Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such a notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear than any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2.

The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License.

If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the Initial Developer or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant.

If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT

LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions.

With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses.

The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A -Mozilla Public License.

``The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/Software> distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.

Portions created by _____ are Copyright (C) _____
_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

SAXPath

This product includes SAXPath 1.0 distributed in accordance with the following terms:

/*--

\$Id: LICENSE,v 1.1 2002/04/26 17:43:56 jstrachan Exp \$

Copyright (C) 2000-2002 werken digital.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the disclaimer that follows these conditions in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The name "SAXPath" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact license@saxpath.org.
4. Products derived from this software may not be called "SAXPath", nor may "SAXPath" appear in their name, without prior written permission from the SAXPath Project Management (pm@saxpath.org).

In addition, we request (but do not require) that you include in the end-user documentation provided with the redistribution and/or in the software itself an acknowledgement equivalent to the following:

"This product includes software developed by the SAXPath Project (<http://www.saxpath.org/>)."

Alternatively, the acknowledgment may be graphical using the logos available at <http://www.saxpath.org/>

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE SAXPath AUTHORS OR THE PROJECT CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software consists of voluntary contributions made by many individuals on behalf of the SAXPath Project and was originally created by bob mcwhirter and James Strachan . For more information on the SAXPath Project, please see .

*/

SNMP Java Toolkit

This product contains copyright material licensed from AdventNet, Inc. <http://www.adventnet.com>. All rights to such copyright material rest with AdventNet.

Sun JDK 1.6.0

This Product is distributed with Sun JDK 1.6.0 (JAVA SE DEVELOPMENT KIT (JDK), VERSION 6) (Sun JDK). The Sun JDK is distributed in accordance with the Sun Microsystems, Inc. (Sun) Binary Code License Agreement set forth below. As noted in Section G of the Supplemental License Terms of this license, Sun has provided additional copyright notices and license terms that may be applicable to portions of the Sun JDK in the THIRDPARTYLICENSEREADME.txt file that accompanies the Sun JDK.

Sun Microsystems, Inc. Binary Code License Agreement for the JAVA SE DEVELOPMENT KIT (JDK), VERSION 6

SUN MICROSYSTEMS, INC. ("SUN") IS WILLING TO LICENSE THE SOFTWARE IDENTIFIED BELOW TO YOU ONLY UPON THE CONDITION THAT YOU ACCEPT ALL OF THE TERMS CONTAINED IN THIS BINARY CODE LICENSE AGREEMENT AND SUPPLEMENTAL LICENSE TERMS (COLLECTIVELY "AGREEMENT"). PLEASE READ THE AGREEMENT CAREFULLY. BY DOWNLOADING OR INSTALLING THIS SOFTWARE, YOU ACCEPT THE TERMS OF THE AGREEMENT. INDICATE ACCEPTANCE BY SELECTING THE "ACCEPT" BUTTON AT THE BOTTOM OF THE AGREEMENT. IF YOU ARE NOT WILLING TO BE BOUND BY ALL THE TERMS, SELECT THE "DECLINE" BUTTON AT THE BOTTOM OF THE AGREEMENT AND THE DOWNLOAD OR INSTALL PROCESS WILL NOT CONTINUE.

1. DEFINITIONS. "Software" means the identified above in binary form, any other machine readable materials (including, but not limited to, libraries, source files, header files, and data files), any updates or error corrections provided by Sun, and any user manuals, programming guides and other documentation provided to you by Sun under this Agreement. "Programs" mean Java applets and applications intended to run on the Java Platform, Standard Edition (Java SE) on Java-enabled general purpose desktop computers and servers.

2. LICENSE TO USE. Subject to the terms and conditions of this Agreement, including, but not limited to the Java Technology Restrictions of the Supplemental License Terms, Sun grants you a non-exclusive, non-transferable, limited license without license fees to reproduce and use internally Software complete and unmodified for the sole purpose of running Programs. Additional licenses for developers and/or publishers are granted in the Supplemental License Terms.

3. RESTRICTIONS. Software is confidential and copyrighted. Title to Software and all associated intellectual property rights is retained by Sun and/or its licensors. Unless enforcement is prohibited by applicable law, you may not modify, decompile, or reverse engineer Software. You acknowledge that Licensed Software is not designed or intended for use in the design, construction, operation or maintenance of any nuclear facility. Sun Microsystems, Inc. disclaims any express or implied warranty of fitness for such uses. No right, title or interest in or to any trademark, service mark, logo or trade name of Sun or its licensors is granted under this Agreement. Additional restrictions for developers and/or publishers licenses are set forth in the Supplemental License Terms.

4. LIMITED WARRANTY. Sun warrants to you that for a period of ninety (90) days from the date of purchase, as evidenced by a copy of the receipt, the media on which Software is furnished (if any) will be free of defects in materials and workmanship under normal use. Except for the foregoing, Software is provided "AS IS". Your exclusive remedy and Sun's entire liability under this limited warranty will be at Sun's option to replace Software media or refund the fee paid for Software. Any implied warranties on the Software are limited to 90 days. Some states do not allow limitations on duration of an implied warranty, so the above may not apply to you. This limited warranty gives you specific legal rights. You may have others, which vary from state to state.

5. DISCLAIMER OF WARRANTY. UNLESS SPECIFIED IN THIS AGREEMENT, ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED, EXCEPT TO THE EXTENT THAT THESE DISCLAIMERS ARE HELD TO BE LEGALLY INVALID.

6. LIMITATION OF LIABILITY. TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT WILL SUN OR ITS LICENSORS BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE, PROFIT OR DATA, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR RELATED TO THE USE OF OR INABILITY TO USE SOFTWARE, EVEN IF SUN HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. In no event will Sun's liability to you, whether in contract, tort (including negligence), or otherwise, exceed the amount paid by you for Software under this Agreement. The foregoing limitations will apply even if the above stated warranty fails of its essential purpose. Some states do not allow the exclusion of incidental or consequential damages, so some of the terms above may not be applicable to you.

7. **TERMINATION.** This Agreement is effective until terminated. You may terminate this Agreement at any time by destroying all copies of Software. This Agreement will terminate immediately without notice from Sun if you fail to comply with any provision of this Agreement. Either party may terminate this Agreement immediately should any Software become, or in either party's opinion be likely to become, the subject of a claim of infringement of any intellectual property right. Upon Termination, you must destroy all copies of Software.

8. **EXPORT REGULATIONS.** All Software and technical data delivered under this Agreement are subject to US export control laws and may be subject to export or import regulations in other countries. You agree to comply strictly with all such laws and regulations and acknowledge that you have the responsibility to obtain such licenses to export, re-export, or import as may be required after delivery to you.

9. **TRADEMARKS AND LOGOS.** You acknowledge and agree as between you and Sun that Sun owns the SUN, SOLARIS, JAVA, JINI, FORTE, and iPLANET trademarks and all SUN, SOLARIS, JAVA, JINI, FORTE, and iPLANET-related trademarks, service marks, logos and other brand designations ("Sun Marks"), and you agree to comply with the Sun Trademark and Logo Usage Requirements currently located at <http://www.sun.com/policies/trademarks>. Any use you make of the Sun Marks inures to Sun's benefit.

10. **U.S. GOVERNMENT RESTRICTED RIGHTS.** If Software is being acquired by or on behalf of the U.S. Government or by a U.S. Government prime contractor or subcontractor (at any tier), then the Government's rights in Software and accompanying documentation will be only as set forth in this Agreement; this is in accordance with 48 CFR 227.7201 through 227.7202-4 (for Department of Defense (DOD) acquisitions) and with 48 CFR 2.101 and 12.212 (for non-DOD acquisitions).

11. **GOVERNING LAW.** Any action related to this Agreement will be governed by California law and controlling U.S. federal law. No choice of law rules of any jurisdiction will apply.

12. **SEVERABILITY.** If any provision of this Agreement is held to be unenforceable, this Agreement will remain in effect with the provision omitted, unless omission would frustrate the intent of the parties, in which case this Agreement will immediately terminate.

13. INTEGRATION. This Agreement is the entire agreement between you and Sun relating to its subject matter. It supersedes all prior or contemporaneous oral or written communications, proposals, representations and warranties and prevails over any conflicting or additional terms of any quote, order, acknowledgment, or other communication between the parties relating to its subject matter during the term of this Agreement. No modification of this Agreement will be binding, unless in writing and signed by an authorized representative of each party.

SUPPLEMENTAL LICENSE TERMS

These Supplemental License Terms add to or modify the terms of the Binary Code License Agreement. Capitalized terms not defined in these Supplemental Terms shall have the same meanings ascribed to them in the Binary Code License Agreement. These Supplemental Terms shall supersede any inconsistent or conflicting terms in the Binary Code License Agreement, or in any license contained within the Software.

A. Software Internal Use and Development License Grant. Subject to the terms and conditions of this Agreement and restrictions and exceptions set forth in the Software "README" file incorporated herein by reference, including, but not limited to the Java Technology Restrictions of these Supplemental Terms, Sun grants you a non-exclusive, non-transferable, limited license without fees to reproduce internally and use internally the Software complete and unmodified for the purpose of designing, developing, and testing your Programs.

B. License to Distribute Software. Subject to the terms and conditions of this Agreement and restrictions and exceptions set forth in the Software README file, including, but not limited to the Java Technology Restrictions of these Supplemental Terms, Sun grants you a non-exclusive, non-transferable, limited license without fees to reproduce and distribute the Software, provided that (i) you distribute the Software complete and unmodified and only bundled as part of, and for the sole purpose of running, your Programs, (ii) the Programs add significant and primary functionality to the Software, (iii) you do not distribute additional software intended to replace any component(s) of the Software, (iv) you do not remove or alter any proprietary legends or notices contained in the Software, (v) you only distribute the Software subject to a license agreement that protects Sun's interests consistent with the terms contained in this Agreement, and (vi) you agree to defend and indemnify Sun and its licensors from and against any damages, costs, liabilities, settlement amounts and/or expenses (including attorneys' fees) incurred in connection with any claim, lawsuit or action by any third party that arises or results from the use or distribution of any and all Programs and/or Software.

C. License to Distribute Redistributables. Subject to the terms and conditions of this Agreement and restrictions and exceptions set forth in the Software README file, including but not limited to the Java Technology Restrictions of these Supplemental Terms, Sun grants you a non-exclusive, non-transferable, limited license without fees to reproduce and distribute those files specifically identified as redistributable in the Software "README" file ("Redistributables") provided that: (i) you distribute the Redistributables complete and unmodified, and only bundled as part of Programs, (ii) the Programs add significant and primary functionality to the Redistributables, (iii) you do not distribute additional software intended to supersede any component(s) of the Redistributables (unless otherwise specified in the applicable README file), (iv) you do not remove or alter any proprietary legends or notices contained in or on the Redistributables, (v) you only distribute the Redistributables pursuant to a license agreement that protects Sun's interests consistent with the terms contained in the Agreement, (vi) you agree to defend and indemnify Sun and its licensors from and against any damages, costs, liabilities, settlement amounts and/or expenses (including attorneys' fees) incurred in connection with any claim, lawsuit or action by any third party that arises or results from the use or distribution of any and all Programs and/or Software.

D. Java Technology Restrictions. You may not create, modify, or change the behavior of, or authorize your licensees to create, modify, or change the behavior of, classes, interfaces, or subpackages that are in any way identified as "java", "javax", "sun" or similar convention as specified by Sun in any naming convention designation.

E. Distribution by Publishers. This section pertains to your distribution of the Software with your printed book or magazine (as those terms are commonly used in the industry) relating to Java technology ("Publication"). Subject to and conditioned upon your compliance with the restrictions and obligations contained in the Agreement, in addition to the license granted in Paragraph 1 above, Sun hereby grants to you a non-exclusive, nontransferable limited right to reproduce complete and unmodified copies of the Software on electronic media (the "Media") for the sole purpose of inclusion and distribution with your Publication(s), subject to the following terms: (i) You may not distribute the Software on a stand-alone basis; it must be distributed with your Publication(s); (ii) You are responsible for downloading the Software from the applicable Sun web site; (iii) You must refer to the Software as Java™ SE Development Kit 6; (iv) The Software must be reproduced in its entirety and without any modification whatsoever (including, without limitation, the Binary Code License and Supplemental License Terms accompanying the Software and proprietary rights notices contained in the Software); (v) The Media label shall include the following information: Copyright 2006, Sun Microsystems, Inc. All rights reserved. Use is subject to license terms. Sun, Sun Microsystems, the Sun logo, Solaris, Java, the Java Coffee Cup logo, J2SE, and all trademarks and logos based on Java are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries. This information must be placed on the Media label in such a manner as to only apply to the Sun Software; (vi) You must clearly identify the Software as Sun's product on the Media holder or Media label, and you may not state or imply that Sun is responsible for any third-party software contained on the Media; (vii) You may not include any third party software on the Media which is intended to be a replacement or substitute for the Software; (viii) You shall indemnify Sun for all damages arising from your failure to comply with the requirements of this Agreement. In addition, you shall defend, at your expense, any and all claims brought against Sun by third parties, and shall pay all damages awarded by a court of competent jurisdiction, or such settlement amount negotiated by you, arising out of or in connection with your use, reproduction or distribution of the Software and/or the Publication. Your obligation to provide indemnification under this section shall arise provided that Sun: (a) provides you prompt notice of the claim; (b) gives you sole control of the defense and settlement of the claim; (c) provides you, at your expense, with all available information, assistance and authority to defend; and (d) has not compromised or settled such claim without your prior written consent; and (ix) You shall provide Sun with a written notice for each Publication; such notice shall include the following information: (1) title of Publication, (2) author(s), (3) date of Publication, and (4) ISBN or ISSN numbers. Such notice shall be sent to Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, M/S USCA12-110, Santa Clara, California 95054, U.S.A , Attention: Contracts Administration.

F. Source Code. Software may contain source code that, unless expressly licensed for other purposes, is provided solely for reference purposes pursuant to the terms of this Agreement. Source code may not be redistributed unless expressly provided for in this Agreement.

G. Third Party Code. Additional copyright notices and license terms applicable to portions of the Software are set forth in the THIRDPARTYLICENSEREADME.txt file. In addition to any terms and conditions of any third party open source/freeware license identified in the THIRDPARTYLICENSEREADME.txt file, the disclaimer of warranty and limitation of liability provisions in paragraphs 5 and 6 of the Binary Code License Agreement shall apply to all Software in this distribution.

H. Termination for Infringement. Either party may terminate this Agreement immediately should any Software become, or in either party's opinion be likely to become, the subject of a claim of infringement of any intellectual property right.

I. Installation and Auto-Update. The Software's installation and auto-update processes transmit a limited amount of data to Sun (or its service provider) about those specific processes to help Sun understand and optimize them. Sun does not associate the data with personally identifiable information. You can find more information about the data Sun collects at <http://java.com/data/>.

For inquiries please contact: Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A.

ADDITIONAL TERMS AND CONDITIONS FOR THE USE OF

Sun JDK 1.6

(JAVA 2 PLATFORM STANDARD EDITION RUNTIME ENVIRONMENT 6.0)

Licensee agrees that the following terms (in addition to the applicable provisions above) shall apply with respect to any open source code provided by Sun Microsystems, Inc. contained within the Product. Notwithstanding anything contained in the CA End User License Agreement, solely with respect to such open source, these terms are not superseded by any written agreement between CA and Licensee:

"Software" means Java' 2 Platform Standard Edition Version 1.6_X and any user manuals, programming guides and other documentation provided to Licensee.

Title to Software and all associated intellectual property rights is retained by Sun Microsystems, Inc. ('Sun') and/or its licensors. Licensee acknowledges that Software is not designed or intended for use in the design, construction, operation or maintenance of any nuclear facility. Sun disclaims any express or implied warranty of fitness for such uses. No right, title or interest in or to any trademark, service mark, logo or trade name of Sun or its licensors is granted under this agreement.

The Software is provided "AS IS". As to any claim made by Licensee against Sun respecting Software, Licensee's exclusive remedy and Sun's entire liability under this limited warranty will be at Sun's option to replace Software media or refund the fee paid for Software by Licensee to Sun which Licensee acknowledges is \$0.

UNLESS SPECIFIED IN THIS AGREEMENT, ALL EXPRESS OR IMPLIED CONDITIONS, REPRESENTATIONS AND WARRANTIES, INCLUDING ANY IMPLIED WARRANTY OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED, EXCEPT TO THE EXTENT THAT THESE DISCLAIMERS ARE HELD TO BE LEGALLY INVALID. The foregoing limitations shall not affect any warranties provided in any other applicable agreement between Licensee and CA.

TO THE EXTENT NOT PROHIBITED BY LAW, IN NO EVENT WILL SUN OR ITS LICENSORS BE LIABLE FOR ANY LOST REVENUE, PROFIT OR DATA, OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED REGARDLESS OF THE THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR RELATED TO THE USE OF OR INABILITY TO USE SOFTWARE, EVEN IF SUN HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. In no event will Sun's liability to you, whether in contract, tort (including negligence), or otherwise, exceed the amount paid for Software by Licensee to Sun which Licensee acknowledges is \$0. The foregoing limitations will apply even if the above stated warranty fails of its essential purpose.

Licensee acknowledges that Licensee's use of the Software will terminate immediately without notice if Licensee fails to comply with any provision of this agreement. Licensee acknowledges that Sun may terminate this agreement immediately should the Software become, or in Sun's opinion be likely to become, the subject of a claim of infringement of any intellectual property right. Upon termination, Licensee must destroy all copies of Software.

Licensee acknowledges and agrees as between Licensee and Sun that Sun owns the SUN, SOLARIS, JAVA, JINI, FORTE, and iPLANET trademarks and all SUN, SOLARIS, JAVA, JINI, FORTE, and iPLANET-related trademarks, service marks, logos and other brand designations ("Sun Marks"), and Licensee agrees to comply with the Sun Trademark and Logo Usage Requirements currently located at <http://www.sun.com/policies/trademarks>. Any use Licensee makes of the Sun Marks inures to Sun's benefit.

Notwithstanding anything to the contrary contained in any agreement between Licensee and CA, any action related to this agreement in which Sun is a party will be governed by California law and controlling U.S. federal law. No choice of law rules of any jurisdiction will apply.

Licensee acknowledges that additional copyright notices and license terms applicable to portions of the Software are set forth in the THIRDPARTYLICENSEREADME.txt file.

For inquiries please contact: Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A.

WSDL4J

This product includes wsdl4j 1.5.1 which was obtained under the Common Public License v.1.0, and is distributed by CA for use with this CA product in unmodified, object code form, under the CA license agreement. Any provisions in the CA license agreement that differ from the Common Public License are offered by CA alone and not by any other party.

The third party licensors of this component provide it on an "AS-IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, and disclaim liability for any claim or loss, including, without limitation, direct, indirect, special, punitive, exemplary or consequential damages.

CA makes the source code for this component available at http://opencsd.ca.com/ips/06056_15 under the terms of the Common Public License v.1.0. Alternatively, you may obtain the source code from <http://sourceforge.net/projects/wsdl4j/>.

Zlib 1.2.3

This product includes zlib developed by Jean-loup Gailly and Mark Adler.

```
/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version
1.2.1, November 17th, 2003
```

Copyright (C) 1995-2003 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org

Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

```
*/
```

ZThread 2.3.2

Portions of this product include software developed by Eric Crahen. The ZThread software is distributed in accordance with the following license agreement.

Copyright (c) 2005, Eric Crahen

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.